





Ⅱ ． 建築改修工事仕様

1．共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版〔令和4年制定〕」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版〔令和4年制定〕」（以下「標準仕様書」という。）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項に記載の〔...〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3) 特記事項に記載の（...）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。

上記事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）の規定による。

章

項 目

特 記 事 項

① 各章共通事項

① 適用基準

1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。  
・ 建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部  
・ 2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。  
建築工事標準詳細図（平成28年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

② 適用区分

○建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

○風圧力  
風速（Vo= 34m/s）  
地表面粗度区分（Ⅲ）

○積雪荷重  
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（Ⅰ）

③ 環境への配慮

(1.4.1) [1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi) からiv) を満たすものとする。  
i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド（ホルムアルデヒドの放散量）」の区分に応じた材料を使用する。  
ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。  
iii) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジノープチル及びフタル酸ジノーエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。  
iv) i) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi) )又はii) に該当する材料を指し、同区分「第三种」とは次のiii) )又はiv) に該当する材料を指す。  
i) 建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第一種、第二種及び第三种ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料  
ii) 建築基準法施行令第20 条の7 第4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料  
iii) 建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第三种ホルムアルデヒド発散建築材料  
iv) 建築基準法施行令第20 条の7 第3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

④ 材料の品質等

(1.4.2) [1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。  
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。  
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。  
4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次のi) からvi) の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出しての承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。  
i) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。  
ii) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。  
iii) 安定的な供給が可能であること。  
iv) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
v) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
vi) 販売、保守等の営業体制を整えていること。  
5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料

① 各章共通事項

⑤ 施工調査

※施工計画調査  
本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管を含む）について事前調査、情報収集を行う。  
報告書 監督職員に2部提出  
立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付  
調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする  
・埋設配管の試掘  
範囲、復旧方法 ※図示

6 PCB含有シーリング材の調査

① 化学物質の濃度判定

⑧ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの  
・金属類  
・PCBを含む機器類（  
・PCB含有シーリング材 使用箇所（  
○特別管理産業廃棄物  
○廃石棉 9章による  
・廃油  
・臭化リチウム水溶液等  
・現場において再利用を図るもの  
・建設汚泥 ※再生資源化施設に搬出  
○再資源化を図るもの  
・小型蓄電池  
・蛍光ランプ及びHIDランプ  
○廃せっこうボード  
○ガラス  
○硬質塩化ビニル管及び継手  
※せっこうボード  
i) 廃せっこうボードの裏面の表示を確認し、石棉、ヒ素、カドミウムを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問い合わせの上、監督職員と協議する。  
ii) 石棉含有廃せっこうボード 9章による  
・その他の含有物質（ 搬出先（  
上記搬出先については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。  
本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令」（平成12年11月29日政令第495号）又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年 5月31日法律第104号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。  
・分別解体等の方法（解体工事）

○分別解体等の方法（新築、増築、修繕、模様替工事）

工程ごとの作業内容及び解体方法

工程ごとの作業内容及び解体方法

・特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類

再資源化等をする施設の名称

所 在 地

コンクリート

コンクリート及び鉄から成る建設資材

木材

アスファルト・コンクリート

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

① 各章共通事項

10 建設発生土の処理方法

① 完成写真

② 騒音・粉じん等の対策

② 足場等

③ 既存部分の養生

4 仮設間仕切

⑤ その他

(3.2.5)  
※「建設発生土情報交換システム」を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。なお、次の運搬に相当する経費を見込んでいる。  
搬出距離（ ） DI D区間（ ）  
仮置場（ ）  
・場外指定場所に搬出する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。  
搬出場所（ ）  
受入条件（ ）  
仮置場（ ）  
・場内指定場所に敷き均し（ ）  
・場内指定場所に堆積  
・撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者  
撮影箇所数 ※（ ）箇所 ・航空写真（ ）箇所  
※電子データ（JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度）1部  
画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの  
・カラー印画紙キャビネ版（ ）枚  
・四つ切（ ）枚 ※アルミ額縁  
・半切（ ）枚 ※アルミ額縁  
○撮影者：任意  
撮影箇所数 ※（ 各室2 ）箇所  
※電子データ（JPEGフルカラー）1部  
画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上  
・カラー印画紙キャビネ版（ ）枚

[2.1.3]  
・防音パネル ○メッシュシート  
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面  
[2.2.1] [表2.2.1]  
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。  
外部足場 ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・ ）  
・設置しない  
防護シート ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・ ）  
・設置しない  
内部足場 ○設置する（ ※脚立、足場板等 ・ ） ・設置しない  
材料、撤去材等の運搬方法  
種別（ ・ A種 ○B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ）  
C種：利用可能なエレベーター（ ）  
D種：利用可能な階段（ ）

[2.3.1]  
1) 養生方法等  
○既存部分 養生方法（ ※ビニルシート、合板 ・ ）  
○既存家具、既存設備等 養生方法（ ※ビニルシート等 ・ ）  
○既存ブラインド、カーテン等 養生方法（ ○ビニルシート等 ・ ）  
保管場所（ ・ 図示 ・ ）  
○固定された備品、机、ロッカー等の移動（ ○図示 ・ ）  
2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

[2.3.2] [表 2.3.1]  
1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 ・  
2) 仮設間仕切りの種別と材質等

種 別 仕上げ（厚さmm） 塗 装 充 填  
・ A種 ・せっこうボード（9.5mm） ・片面 グラスウール  
種類（ ） ・なし 厚さ（ ）mm  
・ B種 ・合板（9.0mm） 材種（ ）  
※C種 防災シート

3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材 質 仕上げ 塗 装 設置箇所  
※木製 ・ 合板張り程度 ・ なし ・ 片面 ・ 図示

竣工時清掃の際、既設換気扇のクリーニングを行う。

③ 防水改修工事

① 施工数量調査

調査範囲 ・ 図示 ○防水改修範囲  
調査方法 ・ 図示 ・  
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・  
調査報告書 提出部数 ・ 2部 ・

② 降雨等に対する養生方法（とい共）

③ 既存防水の処理

④ 既存下地の処理

5 アスファルト防水

[1.5.2、3]  
調査範囲 ・ 図示 ○防水改修範囲  
調査方法 ・ 図示 ・  
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・  
調査報告書 提出部数 ・ 2部 ・

[3.1.3]  
※改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。 ・

[3.2.3、4、6]  
既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ）  
○行わない  
既存防水層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ）  
○行わない  
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去  
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X ）  
・ 行わない

[3.2.6]  
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 ・  
POS工法及びPOSI工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理  
※改修標準仕様書3.2.6(4) (7) (g) ①～③による ・  
設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・、丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理  
※監督職員と協議する ・ 図示

[3.3.2～5]  
屋根保護防水  
防水層の種類

工法 種 別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護  
・ P2A ・ A－1 ・ A－2 ・ A－3 図 示 ※ポリエチレンフィルム  
厚さ  
・ 0.15mm以上  
・  
・ PIB ・ B－1 ・ B－2 ・ B－3 (種類) JIS A 9521に基づく押出法  
ポリスチレンフォーム断熱材  
3種 b A（スギン層付き）  
※フラットヤーンクロス  
70g/m2程度  
・  
・ P2A1 ・ A I－1 ・ A I－2 ・ A I－3 ※フラットヤーンクロス  
70g/m2程度  
・  
・ PIB1 ・ B I－1  
・ TIB1 ・ B I－2  
・ B I－3 (厚さmm)  
・ 25 ・ 50

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる  
平場の保護コンクリートの厚さ  
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・  
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・  
・ 乾式保護材  
・ 窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様） 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm  
・ 窯業系パネルⅡ類（一般地仕様） 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm  
・ 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したものの  
・ 金属複合板 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm  
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの  
品質・性能 建築材料等品質性能表による  
試験方法 建築材料等品質性能表による

屋根露出防水  
防水層の種類

工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 毎日反射率防水の適用 備考  
種類 使用量  
・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4 図 示 ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
・ M3D ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
・ POD ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
・ POD1 ・ DI-1  
・ M3D1 ・ DI-2  
・ M4D1 改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
・ (厚さmm)  
・ 25 ・ 50

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
設置数量 ・ 個  
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・  
屋内防水

工法 種別 施工箇所 保護層  
・ PIE ・ E－1  
・ P2E ・ E－2  
・ E-1の工程3を行う部位（ ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ ）  
押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・  
屋根排水溝 ・ 図示 ・

特記事項

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原図:A2)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称

図面名称

特記仕様書（その1）

設計日

図面番号

(原



防水改修工事

6改質アスファルトシート防水

[3. 4. 2、3]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-U2	図示	<div></div>	種類	使用量	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による
	種類			使用量			
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		<div></div>	種類	使用量	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による
	種類			使用量			
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		<div></div>	種類	使用量	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による
	種類			使用量			
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	(厚さmm) ・25 ・50	改修標準仕様書 3. 3. 2(3) (ウ)(種類)	種類	使用量	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による
種類	使用量						

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3による  
・粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3による  
・部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3による  
・屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※改質アスファルトシート製造所の指定  
・設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定  
・個  
・屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート（ ・設置する ・設置しない ）  
押え金物 の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L－30×15×2. 0(mm)程度  
・

防水層の種類

[3. 5. 2～4][表3. 5. 1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示	<div></div>	種類	使用量	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	種類			使用量			
・SSS	・S-F1 ・S-F2		<div></div>	種類	使用量	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない
	種類			使用量			
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3		<div></div>	種類	使用量	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない
	種類			使用量			
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2	改修標準仕様書 3. 5. 2(3) (イ)(a)(種類)	<div></div>	種類	使用量	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
種類	使用量						
・SI-M1 ・SI-M2	(厚さmm) ・25 ・50						

・S-M2の場合で立上りが接着工法の場合  
立上り面のシート厚さ（ ※1. 5mm ）  
・SI-M1及びSI-M2の場合における防湿用フィルム  
・設置する ・設置しない

屋内防水

防水層の種類

種別	施工箇所	保護層	
		平場のモルタル塗り 工法	立上り部の 保護モルタル塗厚
・S-CI	図示	床塗り工法 ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

床塗りの場合の床の目地  
目地割り（ ※2m2程度 最大目地間隔3m程度 ）  
目地の種類（ ※押し目地 ）

ルーフィングシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3. 5. 1から表3. 5. 3による  
・絶縁用シート  
・絶縁用シート  
※発泡ポリエチレンシート  
・固定金具の材質及び寸法形状  
※厚さ0. 4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板  
・

脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様  
・設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様  
・個  
・接着工法の目地処理  
・プレキャストコンクリート下地（ ・）  
・プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）  
・行う（ ・図示 ）  
・行わない  
・機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け  
建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1. 15 ・1. 3）倍の風圧力に対応した工法

③

⑧塗膜防水

④

①施工数量調査

[3. 6. 2、3]

外壁改修工事（共通事項）

調査範囲

○外壁改修範囲 ・図示の範囲

調査内容

ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。  
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。  
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。  
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。  
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・  
調査報告書の部数 ・2部 ・

性能

工事建築材料等品質性能表による

品質・性能

工事建築材料等品質性能表による

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

品質・性能 工事建築材料等品質性能表による

試験方法 工事建築材料等品質性能表による

4-1

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁改修）

1

ひび割れ部改修工法

[4. 1. 4][4. 2. 2][4. 3. 4、5]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上 1. 0未満	※200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上 0. 3未満	・50～100 ・	・40 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上 0. 5未満	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5以上 1. 0未満	・150～250 ・	・130 ・

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形  
注入状況の確認方法 ※コアの抜き取り  
・抜き取り回数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個  
・抜き取り部の補修方法 ※図示 ・

・Uカットシール材充填工法  
・シーリング材  
充填材料の種類 ※1成形又は2成形分ポリウレタン系  
・シーリング材のうゑにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない  
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法  
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

2

欠損部改修工法

[4. 1. 4][4. 2. 2][4. 3. 7]

・充填工法  
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル  
・

4-2

外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）

1

ひび割れ部改修工法

[4. 1. 4][4. 2. 4][4. 4. 5、6]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上 1. 0未満	※200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上 0. 3未満	・50～100 ・	・40 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上 0. 5未満	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5以上 1. 0未満	・150～250 ・	・130 ・

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形  
注入状況の確認方法 ※コアの抜き取り  
・抜き取り回数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個  
・抜き取り部の補修方法 ※図示 ・

・Uカットシール材充填工法  
・シーリング材  
充填材料の種類 ※1成形又は2成形分ポリウレタン系  
・シーリング材のうゑにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない  
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法  
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

2

欠損部改修工法

[4. 1. 4][4. 2. 2][4. 4. 9]

・充填工法  
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル  
・モルタル塗替え工法  
・現場調査材料 ・既調査材料  
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示

3

浮き部改修工法

[4. 1. 4][4. 2. 2][4. 4. 10～15]

アンカービンの材質  
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの  
・  
注入口付アンカービンの材質  
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

充填工法  
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル  
モルタル塗替え工法  
・現場調査材料 ・既調査材料  
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示

特 記 事 項		<div><div><div><div>MAENO</div></div><div>株式会社 前野建築設計</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作			法適合確認	<div><div>作図</div><div><div><div>三橋</div><div>前野</div></div></div><div>検図</div><div><div><div>三橋</div><div>前野</div></div></div></div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事			設計日 R7/03/17
										図面名称 特記仕様書（その2）		縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A003 (原図: A2)



[illegible]

特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>MAENO</div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div><div>設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子</div><div>設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作</div><div>設計担当</div><div>設計担当</div><div>法適合確認</div></div>	<div>作図 <div><div>三橋</div><div>五百子</div></div></div> <div>工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事</div>		設計日 R7/03/17
			<div>図面 <div><div>前野</div><div>将輝</div></div></div> <div>図面名称 特記仕様書（その3）</div> <div>縮 尺 A2: NS A3: NS</div>		図面番号 A004 (原図: A2)



⑥

内装改修工事

⑮ 特殊機能床

[6. 8. 2]

・帯電防止床シート  
種類（ ）  
性能（ ）  
厚さ（ ）mm  
  
○帯電防止床タイル  
種類（仕上げ表による）  
性能（ ）  
寸法（ × ）mm 厚さ（ ）mm  
  
・視覚障害者用床タイル  
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による  
種類（ ）  
形状（ ）  
  
・耐動荷重性床シート  
種類（ ）  
厚さ（ ）mm  
  
○防滑性床シート  
種類（仕上げ表による）  
厚さ（ ）mm  
  
・防滑性床タイル  
種類（ ）  
寸法（ × ）mm 厚さ（ ）mm

[6. 8. 2]

材質の種類 ○軟質 ・硬質  
高さ(mm) ※60 ・75 ・100  
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

[6. 8. 2]

種類 ・単層品 ・積層品  
色柄（ ）  
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0  
寸法(mm)（ ）

[6. 9. 2、3] [表6. 9. 1]

・織じゅうたん

織り方		バイル形状	
・ウィルトンカーベット	・カットバイル	・ダブルフェースカーベット	・ループバイル
・アキスミンスターカーベット	・カット/ループバイル		

  
色柄（ ）※模様のない無地)  
バイル糸の種類等  
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）  
・  
帯電性 ・適用する ・適用しない  
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・  
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm  
・  
・タフテッドカーベット

バイル形状	バイル長さ (mm)	工 法	帯電性
・カットバイル	・5～7	・全面接着工法	・適用する
・ループバイル	・4～6	・グリッター工法	・適用しない
・カット、ループ併用	・	・	・

  
下敷き材(グリップー工法の場合)  
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm  
・  
・ニードルパンチカーベット  
厚さ (mm) （ ）  
帯電性 ・適用する ・適用しない

○タイルカーベット

バイルの形状	種 類	施工箇所	寸 法	総厚さ (mm)
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6. 5 ・
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6. 5 ・
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6. 5 ・

  
タイルカーベットの敷き方  
平場 ※市松敷き ・模様流し ・  
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・  
見切り、押え金物  
材質（ ）  
種類（ ）  
形状等 ※図示 ・

[6. 10. 2～3]

⑬ 合成樹脂塗床

⑥

内装改修工事

20 フローリング張り

[6. 11. 2～6]

・単層フローリング（フローリングボード1等）  
工 法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り）  
・接着工法  
樹種 ※なら ・  
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない  
  
・単層フローリング（フローリングブロック1等）  
樹種 ・  
厚さ ・  
大きさ ・  
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない  
  
・複合フローリング  
工 法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り）  
・接着工法  
樹種 ※なら ・  
種別 ・A種 ・B種 ・C種  
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない  
  
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・  
接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート  
・現場塗装仕上げ  
※ウレタン樹脂ワニス塗り  
・オイルステインの上、ワックス塗り  
・生地そのままワックス塗り

[6. 12. 2]

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ○D種（畳床：・KT-I ○XT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）  
下地の種類 ・標準仕様書 表12. 6. 1による床組  
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロ）  
・  
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

[6. 13. 2、3]

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外 ・  
  
・木質系セメント板 種類・厚さ（※図示 ・）  
・繊維板 種類・厚さ（※図示 ・）  
・パーティクルボード 種類・厚さ（※図示 ・）  
・吸音材料 種類・厚さ（※図示 ・）  
○せっこうボード 種類・厚さ（※図示 ・）  
・普通合板  
表板の樹種名 ・  
板面の品質 ・  
厚さ ※図示 ・  
接着の程度 ・1類 ・2類  
防虫処理 ・行う ・行わない  
・天然化粧合板  
化粧板の樹種名 ・  
厚さ ※図示 ・  
接着の程度 ・1類 ・2類  
防虫処理 ・行う ・行わない  
・特殊加工化粧合板  
化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・）  
表面性能 ・  
厚さ ※図示  
接着の程度 ・1類 ・2類  
防虫処理 ・行う ・行わない

せっこうボード等の下地 ※図示  
遮音シール材 ・適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）  
・適用しない  
合板類の張付け ※B種 ・A種  
せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による ・

[6. 14. 2～3]

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備 考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
図示	・	・	・	○	・	○不燃・準不燃	
図示	・	・	○	・	・	・不燃○準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

  
モルタル・プaster面の下地調整の種別 ※R B種 ・  
コンクリート面の下地調整の種別 ※R B種 ・  
せっこうボードの下地調整の種別 ※R B種 ・

材種 ○塩化ビニル製 ・アルミニウム製

[6. 15. 3、5、6]

モルタル ○現場調合材料  
（セメントは改修特記仕様書8－2 コンクリート工事による）  
既調合材料（ ）  
既製品地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・）  
・設けない  
  
床の目地  
・設ける  
目地割り ※2m2程度（最大目地間隔3m程度）  
種類 ※押し目地 ・  
・設けない  
  
・防水剤  
品質・性能 建築材料等品質性能表による  
試験方法 建築材料等品質性能表による

②⑤ タイル張り

[6. 16. 2～4]

伸縮調整目地の位置 床タイル（ ※縦、横とも4m以内ごと ・図示）  
床タイル以外（ ・図示 ・）  
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による  
  
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り  
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり施す無ゆう	役物有無	色標準注	耐凍害性有無	耐滑り性	備考
			I 類	II 類	III 類						
浴室床	100×100	・	○	・	・	・	○	○	・	○	○
浴室壁	100×100	・	・	○	○	○	○	○	・	○	・
		・	・	・	・	・	・	・	○	・	・

  
標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
試験張り ・行う ・行わない  
見本焼き ・行う ・行わない  
  
既製調合モルタル  
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。  
品質・性能 建築材料等品質性能表による  
試験方法 建築材料等品質性能表による  
  
・既製調合目地材  
品質・性能 建築材料等品質性能表による  
試験方法 建築材料等品質性能表による  
  
・有機系接着剤による質タイル（セラミックタイル）張り  
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり施す無ゆう	役物有無	色標準注	耐凍害性有無	耐滑り性	備考
			I 類	II 類	III 類						
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

  
標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
試験張り ・行う ・行わない  
見本焼き ・行う ・行わない  
  
内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外 ・

[6. 17. 2、3]

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系  
標準塗厚 (mm) ・

⑥

内装改修工事

27 セルフレバリング材塗り

[6. 17. 2、3]

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系  
標準塗厚 (mm) ・

⑦

塗装改修工事

① 材料

[7. 1. 3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外 ・  
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする  
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ）

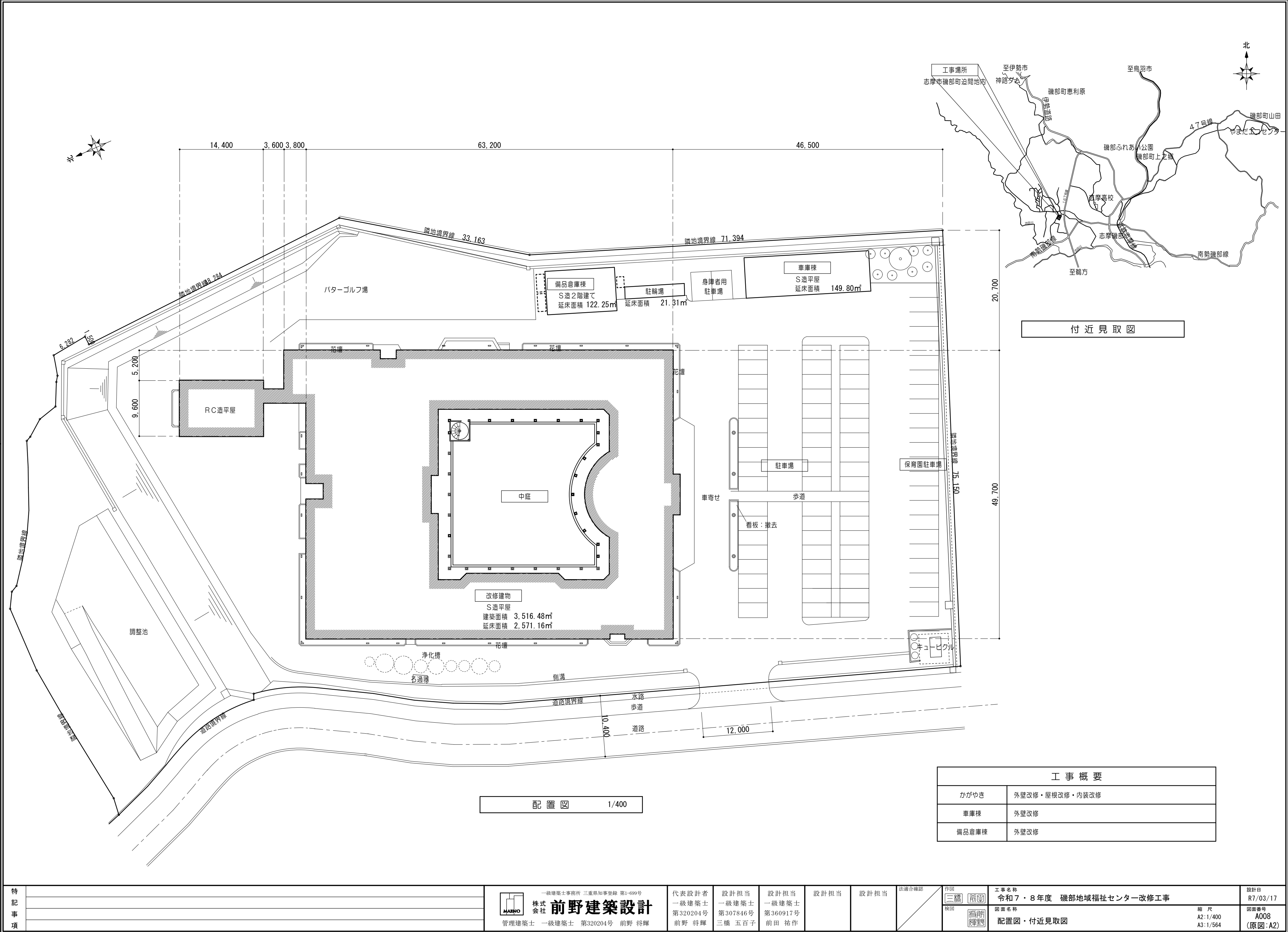
[7. 2. 1～7]

塗替えR B種の場合の

特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div></div></div><div><div>MAINO</div></div></div><div>株式 会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図</div> <div><div><div></div></div><div><div>三橋</div></div><div><div>前田</div></div></div> <div>概図</div> <div><div><div></div></div><div><div>前野</div></div><div><div>将輝</div></div></div>	工事名称	設計日
				一級建築士	一級建築士	一級建築士			令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	R7/03/17			
				第320204号	第307846号	第360917号			図面名称	縮 尺		図面番号	
				前野 将輝	三橋 五百子	前田 祐作			特記仕様書（その5）	A2: NS A3: NS		A006 (原図: A2)	







外部仕上表				外部仕上表（浴室棟）					
部 位		仕 上	部 位		仕 上	部 位		仕 上	
屋 根	改修前	洋瓦（スパニッシュ瓦）葺 （4寸勾配、4. 5寸勾配） 撤去 下地：アスファルトルーフィング22kg 既設のまま 野地板：耐水合板φ15 既設のまま 棟瓦、ケラバ：役物（屋根材同材） 撤去 谷部：アスファルトルーフィング22kg 2重張（W＝600）の上 既設のまま 谷コシφ5. 0曲げ加工 撤去	一般部	改修前	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板φ0. 4加工 既設のまま 下地：モルタル下地板φ12の上モルタル金コテ押エφ15 既設のまま 目地切φ3000 シーリング撤去 外周壁断熱材：グラスウールφ100 16kg品 既設のまま	屋 根	改修前	洋瓦（スパニッシュ瓦）葺 （4. 2寸勾配）耐風、耐震仕様：撤去 下地：バークライトモルタルφ40 ゴムアスファルトルーフィングφ0. 8 既設のまま 棟瓦：役物2枚 撤去 スラブ裏断熱：フォームポリスチレンφ2. 5打込 既設のまま	
	改修後	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板φ0. 4 裏貼：ポリエチレンフォームφ2. 0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム φ25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板φ490 改質アスファルトルーフィングφ1. 0 粘着層付 （既設アスファルトルーフィングの上） 軒先唐草：アルミ押出型材 軒先水切・軒先幕板：屋根同材加工 下り棟納め・棟納め・頂部納め・壁立上り納め・谷納め：屋根同材加工 ケラバ唐草：アルミ押出型材 ケラバ水切・ケラバ幕板：屋根同材加工		改修後	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 クラック部シーリング詰め 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 目地シーリング打替：PU-2 10×10		改修後	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板φ0. 4 裏貼：ポリエチレンフォームφ2. 0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム タルキ：亜鉛メッキ鋼板 ゴムアスファルトルーフィングφ1. 0（既設アスファルトルーフィングの上） 軒先唐草：アルミ押出型材 軒先水切・軒先幕板：屋根同材 下り棟納め・棟納め・頂部納め・壁立上り納め・谷納め：屋根同材 ケラバ唐草：アルミ押出型材 ケラバ水切・ケラバ幕板：屋根同材	
陸屋根	屋上機械 置場	改修前	平場：アスファルト防水絶縁工法 押工コンクリートφ60 溶接金網：100×100×2. 6敷込 既設のまま 保護モルタルφ15 既設のまま 伸縮目地切：ポリスチレンフォームの上アスファルトコンパウンド充填 @2500 撤去	柱型	改修前	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 撤去 下地：軽量形鋼 モルタル下地板φ12の上モルタル金コテ押エφ15 撤去 水切：ガルバリウム鋼板φ0. 4曲げ加工 撤去	陸屋根	改修前	ウレタン塗膜防水（非歩行） 勾配1／50 既設のまま 亜鉛防食板φ0. 35 既設のまま 木毛セメント板φ25 既設のまま デッキプレート下地 既設のまま
		改修後	立上：立上り保護材：中空押出成型セメント板（石綿含有※） 撤去 アスファルト防水 撤去		改修後	窯業系サイディングφ16張（通気工法） 下地：既設軽量形鋼 水切：カラーガルバリウム鋼板φ0. 4加工		改修後	平場：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2） 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2） 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）
	改修後	平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X-1） 下地調整材塗布 伸縮目地切：ポリウレタン系シーリング @2500 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2） 下地調整材塗布 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）	装飾塔	改修前	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 撤去 下地：軽量形鋼 モルタル下地板φ12の上モルタル金コテ押エφ15 撤去 水切：ガルバリウム鋼板φ0. 4曲げ加工 撤去	樋	改修前	ルーフトレン：鋳鉄製 撤去 軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー：ホワイト 撤去 タテ樋：塩ビ製（カラー）φ75 撤去 取付金物：スチール亜鉛メッキ製 F.E塗 撤去	
		改修後		窯業系サイディングφ16張 ココ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板φ0. 4加工	改修後		ルーフドレン：改修用二重ドレン 軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー 支持金物：SUS製 タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 細み金物：SUS製@1200		
	南側ホル 上部	改修前	平場・立上：ウレタン塗膜防水（非歩行） 既設のまま 亜鉛防食板φ0. 35 既設のまま 木毛セメント板φ25 既設のまま デッキプレート下地 既設のまま	軒 天	改修前	アクリルリシン吹付 太平板φ5（石綿含有※） 既設のまま 軒裏換気口：塩ビ製165×420 防虫網付 30か所 既設のまま 天井裏：グラスウールφ100 16kg品 既設のまま	外壁	改修前	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板φ0. 4曲げ加工 既設のまま <下地> （S造部分） 樹脂モルタルφ5 既設のまま アスファルトフェルト17kg 強化セメント板φ12の上 既設のまま （RC造部分） コンクリート打放補修 目地切φ3000 既設のまま <外周壁断熱材> （S造部分） グラスウールφ100 16kg品 既設のまま （RC造部分） ウレタン吹付φ15 既設のまま
		改修後	平場：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2） 下地調整材塗布 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2） 下地調整材塗布 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		改修後	外装薄塗材E吹付 下地調整RC種 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		改修後	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）
	玄関車寄 出入口庇	改修前	平場・立上：ウレタン塗膜防水（非歩行） 既設のまま 亜鉛防食板φ0. 35 既設のまま 木毛セメント板φ25 既設のまま デッキプレート下地 既設のまま	車寄天井 庇 裏	改修前	アクリルリシン吹付 太平板φ5（石綿含有※） 既設のまま	小庇	改修前	D＝450 コンクリート打放補修 PU塗装 既設のまま
		改修後	平場：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2） 下地調整材塗布 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2） 下地調整材塗布 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		改修後	外装薄塗材E吹付 下地調整RC種 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		改修後	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）
	樋	改修前	ルーフトレン：鋳鉄製 撤去	外部階段	改修前	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま	開口部	改修前	アルミサッシ（陽極酸化塗装複合被膜、ステンカラー） 既設のまま
			軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 撤去		改修後	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		改修前	アルミサッシ 一部撤去
軒樋：塩ビ製角型100 OP塗 撤去			改修後		鉄骨 溶融亜鉛メッキの上FP塗	改修後		撤去部分 ステンレス製 新設 シーリング	
タテ樋：塩ビ製 φ75 OP塗 撤去 取付金物：スチール亜鉛メッキ製 撤去			改修後		DP塗替 下地調整RB種				
改修後		ルーフトレン：改修用二重ドレン	笠 木	改修前	アルミ製 W450 W200 撤去	EXP・J	改修前	アルミサッシ（陽極酸化塗装複合被膜、ステンカラー） 既設のまま	
		軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー 支持金物：SUS製		改修後	アルミ製 W400 φ2. 5程度 アルミ製 W200 φ1. 5程度		改修前	ステンレス既製品 一部撤去	
		軒樋：塩ビ製角型（前高型）130 カラー 支持金物：SUS製					改修後	撤去部分 ステンレス製 新設 シーリング	
		タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 細み金物：SUS製@1200							

内 部 仕 上 表 No. 1																		
	内装制限	室名	改修前	床			巾木			壁			天井		廻縁	CH	室名札	備 考
			改修後	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地				
共用	(準)	風除室		モルタル木コテ下地 既設のまま	磁器質150角タイル張 既設のまま 一部視覚障がい者用床タイル300角張 既設のまま		磁器質150角タイル張 既設のまま	100		LGS下地 既設のまま	多彩模様塗材 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板ア12張(リブ) 既設のまま PBア9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700		総合案内板：W974×H1224 既設のまま
		風除室		——	——		——		——	EP塗替 下地調整RB種の上		——	——	——	——			
	(準)	エントランスホール		モルタル金コテ下地 既設のまま	複層ビニル床タイルア2、0張 撤去 一部視覚障がい者用床タイル300角張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	多彩模様塗材 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	多彩模様塗材 既設のまま PBア9、5下地 既設のまま 梁型：特殊塩ビフィルム張 撤去 PBア9、5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま	4850～ 6800		カウンター 既設のまま 電話台 既設のまま 掲示板：W1800×H900 既設のまま
		エントランスホール		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	複層ビニル床シートア2、0張 一部視覚障がい者用床タイル300角張		ビニル巾木	60		——	EP塗替 下地調整RB種の上		——	EP塗替 下地調整RB種の上 梁型：ビニルクロス張(AA級) 既設PB面：下地処理の上	——	——		
	(準)	ホール(1)		モルタル金コテ下地 既設のまま	複層ビニル床タイルア2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	多彩模様塗材 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板ア12張(リブ) 一部撤去 PBア9、5捨張 一部撤去	塩ビ 既設のまま	2640		
		ホール(1)		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	複層ビニル床タイルア2、0張		ビニル巾木	60		——	EP塗替 下地調整RB種の上		——	【撤去部分】 岩綿吸音板ア12張(リブ) PBア9、5捨張	——	——		
	(準)	ホール(2)		モルタル金コテ下地 既設のまま	複層ビニル床タイルア2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	多彩模様塗材 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板ア12張(リブ) 既設のまま PBア9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2640		ピクチャーレール：アルミ製 既設のまま
		ホール(2)		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	複層ビニル床タイルア2、0張		ビニル巾木	60		——	EP塗替 下地調整RB種の上		——	——	——	——		

特 記 事 項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <b>株式会社 前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝					代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認 	作図 	工事名称 <b>令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事</b>	設計日 R7/03/
										図面 		図面名称 <b>外部仕上表、内部仕上表No.1</b>	縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 <b>A009</b> (原図:



内 部 仕 上 表 No. 2																		
	内 装 制 限	室名	改修前	床			巾木			壁			天井		廻縁	CH	室名札	備 考
			改修後	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地				
共用	○ 準	廊下		モルタル金コテ下地 既設のまま	複層ビニル床タイルA2、0張 撤去	ビニル巾木 撤去	60	LGS下地 既設のまま	多彩模様塗材 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張（リブ） 既設のまま PBア9、5捨張 既設のまま 一部撤去	塩ビ 既設のまま	2900		手すり：塩ビ製 既設のまま 壁付キックガード：塩ビ製 既設のまま 各室室名札 既設のまま		
		廊下		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	複層ビニル床タイルA2、0張	ビニル巾木	60	————	EP塗替 下地調整RB種の上		————	撤去部分 岩綿吸音板A12張（リブ） PBア9、5捨張	—	—		室名札		
	不	便所1（男）		モルタル木コテ 撤去	磁器質50角モザイクタイル張 撤去	陶器質100角タイル張 既設のまま	100	LGS下地 既設のまま	陶器質100角タイル張 既設のまま 耐水PBア12、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	VP塗 既設のまま 大平板A5張（石綿含有※） 既設のまま	塩ビ 撤去	2700		カガミ：取外シ・再取付		
		便所1（男）		コンクリートA60 金コテ押工 押出ポリスチレンフォームA20（1種）	ビニル床シートA2、0張（防滑・抗菌）	床仕上同材巻上 ステンレス巾木	100 100	————	抗菌メラミン不燃化粧板A3張 既設タイル面 タイル洗いの上		————	EP塗替 下地調整RC種の上	アルミ	—				
	不	便所1（女） 車いす対応便所1・2		モルタル木コテ 撤去	磁器質50角モザイクタイル張 撤去	陶器質100角タイル張 既設のまま	100	LGS下地 既設のまま	陶器質100角タイル張 既設のまま 耐水PBア12、5下地 既設のまま 陶器質100角タイル張 既設のまま PBア15+15下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	VP塗 既設のまま 大平板A5張（石綿含有※） 既設のまま	塩ビ 撤去	2700		カガミ：取外シ・再取付		
		便所1（女） 車いす対応便所1・2		コンクリートA60 金コテ押工 押出ポリスチレンフォームA20（1種）	ビニル床シートA2、0張（防滑・抗菌）	床仕上同材巻上	100	————	抗菌メラミン不燃化粧板A3張 既設タイル面 タイル洗いの上		————	EP塗替 下地調整RC種の上	アルミ	—				
	不	便所2（男） 便所2（女） 車いす対応便所3		モルタル木コテ 撤去 スラブコンクリートA150 撤去 ポリスチレンフィルムA0、15 撤去 砕石A120 撤去	磁器質50角モザイクタイル張 撤去	陶器質100角タイル張 一部撤去	100	LGS下地 一部撤去	陶器質100角タイル張 撤去 耐水PBア12、5下地 撤去 陶器質100角タイル張 一部撤去 PBア15+15下地 一部撤去		LGS下地 撤去	VP塗 撤去 大平板A5張（石綿含有※） 撤去	塩ビ 撤去	2700		カガミ 撤去		
		便所2（男） 便所2（女） 車いす対応便所3		コンクリートA60 金コテ押工 押出ポリスチレンフォームA20（1種） スラブコンクリートA150 ポリスチレンフォームA25 ポリスチレンフィルムA0、15 砕石A120	ビニル床シートA2、0張（防滑・抗菌）	床仕上同材巻上 ステンレス巾木	100 100	———— LGS下地 LGS下地	抗菌メラミン不燃化粧板A3張 既設タイル面 タイル洗いの上 抗菌メラミン不燃化粧板A3張 耐水PBア12、5+12、5（両面）天井まで GWA100 抗菌メラミン不燃化粧板A3張 耐水PBア12、5+PB12、5（両面）天井まで		LGS下地	化粧PBア9、5張 GWA100敷込	アルミ	2700		カガミ		
	不	倉庫			モルタル金コテ仕上 既設のまま			LGS下地 既設のまま	PBア12、5+9、5張 素地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	VP塗 既設のまま 大平板A5張（石綿含有※） 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2900				
	不	機械室（1）			コンクリート金コテ仕上 既設のまま			LGS下地 既設のまま	PBア12、5+9、5張 素地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	大平板A5張（石綿含有※） 既設のまま	塩ビ 既設のまま	3000				
不	機械室（2）			コンクリート金コテ仕上 既設のまま			LGS下地 既設のまま	PBア12、5+9、5張 素地 既設のまま PBア15+15張 素地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	大平板A5張（石綿含有※） 既設のまま	塩ビ 既設のまま	3000					
福祉センター	○ 鑑	事務室		モルタル金コテ下地 既設のまま	ビニル床タイルA2、0張 撤去 フリーアクセスフロアH70 既設のまま	ビニル巾木 撤去	60	LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBア9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	3000				
		事務室		カチオン系下地調整塗（フリーフロア以外） 既設モルタル下地 既設フリーフロア下地	複層ビニル床タイルA2、0張 帯電防止ビニル床タイルA2、0張	ビニル巾木	60	————	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		————	—	—					
	○ 鑑	男子更衣室		モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 既設のまま	ビニル巾木 既設のまま	60	LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア12、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2640				
	○ 鑑	女子更衣室		モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 既設のまま	ビニル巾木 既設のまま	60	LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア12、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2640				
	不	湯沸室		モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去	ビニル巾木 撤去	60	LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	大平板A5張（石綿含有※） 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2400		ミニキッチン（電磁器コンロ付）L=1200 既設のまま		
		湯沸室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張	ビニル巾木	60	————	EP塗替 下地調整RB種の上		————	—	—					
	○ 鑑	介護相談室		モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 既設のまま	ビニル巾木 既設のまま	60	LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBア9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700				
	○ 準	展示室		モルタル金コテ下地 既設のまま	複層ビニル床タイルA2、0張 撤去	ビニル巾木 撤去	60	LGS下地 既設のまま	多彩模様塗材 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBア9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2900		ピクチャーレール：アルミ製 既設のまま		
		展示室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	複層ビニル床タイルA2、0張	ビニル巾木	60	————	EP塗替 下地調整RB種の上		————	—	—					
	○ 鑑	ボランティア室		モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去	ビニル巾木 撤去	60	LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940				
		ボランティア室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張	ビニル巾木	60	————	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		————	—	—					
	○ 鑑	福祉団体室		モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去	ビニル巾木 撤去	60	LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940		ピクチャーレール：アルミ製 既設のまま		
		福祉団体室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張	ビニル巾木	60	————	ビニルクロス張（AA級） 下地調整RB種の上		————	—	—					
	○ 鑑	作業室		モルタル金コテ下地 既設のまま	エポキシ系塗床材 既設のまま	ビニル巾木 既設のまま	60	LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBア9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940		ピクチャーレール：アルミ製 既設のまま		
	○ 鑑	一般浴室（女子）		モルタル木コテ 撤去 モルタル木コテ 撤去 シンダーコンクリートA100～120 撤去 保護モルタルA15 撤去 アスファルト防水層 撤去（一部残置） 保護モルタルA15 撤去（一部残置）	磁器質100角タイル張 撤去 磁器質50角タイル張 撤去	陶器質100角タイル張 撤去	100	コンクリート下地 既設のまま	FL+1000以上 陶器質100角タイル張 既設のまま FL+1000以下 陶器質100角タイル張 撤去 モルタル木コテ下地 撤去		LGS下地 既設のまま	浴室用天井板張 既設のまま	アルミ 既設のまま	2800～ 2700		手すり：ステンレス製 撤去 洗い台：御影石 撤去 SUSノンスリップグレーチング 撤去		
○ 鑑	特別浴室2		モルタル木コテ下地 モルタル木コテ下地 コンクリートA100～120 アスファルト防水層 （浴槽部分） モルタル木コテ下地 コンクリートA100～120 アスファルト防水層 モルタルA15金コテ押工 押出ポリスチレンフォーム（2種）	磁器質100角タイル張	————		————	FL+1000以下 陶器質100角タイル張 モルタル木コテ下地		————	————	—	—		SUSノンスリップグレーチング 撤去			

特 記 事 項	 株式 会 社 <b>前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作 設計担当 設計担当	法適合確認 作図  校印  図面番号 A2: NS A3: NS	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事 縮 尺 図面名称 内部仕上表No.2	設計日 R7/03/17 図面番号 A010 (原図: A2)

内 部 仕 上 表 No. 3																			
	内装制限	室名	改修前	床			巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考
			改修後	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				
福祉センター	不	脱衣室（一般浴室） （女子）		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 一部撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 一部撤去		LGS下地 撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5下地 撤去	塩ビ 撤去	2700		洗面台、下足入、脱衣棚 撤去		
					複層ビニル床タイルア2. 0張 撤去				コンクリート下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去									
		脱衣室内WC （女子）		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5下地 撤去		LGS下地 撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5下地 撤去	塩ビ 撤去	2700				
								LGS下地 一部撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 一部撤去										
	不	脱衣室（特浴2）		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	発泡複層ビニル床シートア2. 8張	ビニル巾木	60		――	無機質クロス張（不燃） 既設PB面：下地処理の上		LGS下地	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2700		カーテンレール：SUS（S）		
								LGS下地	無機質クロス張（不燃） PBア12. 5下地										
		一般浴室（男子）		モルタル木コテ 撤去 （浴槽部分） モルタル木コテ 撤去 シンダーコンクリートア100 撤去 保護モルタルア15 撤去 アスファルト防水層 撤去 保護モルタルア15 撤去	磁器質100角タイル張 撤去	陶器質100角タイル張 撤去	100		コンクリート下地 既設のまま	陶器質100角タイル張 撤去 モルタル木コテ 撤去		LGS下地 撤去	浴室用天井板張 撤去	アルミ 撤去	2800～ 2700		手すり：ステンレス製 撤去 洗い台：御影石 撤去 SUSノンスリップグレーチング 撤去		
					磁器質50角タイル張 撤去														
	不	脱衣室（一般浴室） （男子）		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去 複層ビニル床タイルア2. 0張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 一部撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 一部撤去		LGS下地 撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5下地 撤去	塩ビ 撤去	2700		洗面台、下足入、脱衣棚 撤去 手すり：ステンレス製 撤去		
	不	脱衣室内WC （男子）		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5下地 撤去		LGS下地 撤去	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5下地 撤去	塩ビ 撤去	2700				
不	倉庫2		（浴室部分） モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2. 0張	ビニル巾木	60		――	（浴室部分） 無機質クロス張（不燃） PBア12. 5下地（GL工法）		LGS下地	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2700					
			（浴槽部分） モルタル金コテ押工 コンクリートア100 押出ポリスチレンフォーム（2種）				（脱衣室部分） 無機質クロス張（不燃） 既設PB面：下地処理の上												
			（脱衣室・WC部分） カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地				（脱衣室部分） 無機質クロス張（不燃） PBア12. 5下地												
							LGS下地	無機質クロス張（不燃） PBア12. 5下地 無機質クロス張（不燃） 強化PBア12. 5+PBア9. 5下地（両面）											
不	ユニットバス脱衣室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	発泡複層ビニル床シートア2. 8張	ビニル巾木	60		――	無機質クロス張（不燃） 既設PB面：下地処理の上		LGS下地	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2700		スロープ			
			乾式二重床 既設モルタル下地				無機質クロス張（不燃） PBア12. 5下地 無機質クロス張（不燃） 強化PBア12. 5+PBア9. 5下地（両面）												
不	ユニットバス		既設モルタル下地	ユニットバス1216（機械設備工事）				LGS下地	ユニットバス1216（機械設備工事）			ユニットバス1216（機械設備工事）							
難	特別浴室		モルタル木コテ 既設のまま	磁器質100角タイル張 既設のまま	陶器質100角タイル張 既設のまま	100		LGS下地 既設のまま	陶器質100角タイル張 既設のまま 耐水PBア12. 5 既設のまま		LGS下地 既設のまま	浴室用天井板張 既設のまま	アルミ 既設のまま	2800～ 2700		特殊浴槽 既設のまま			
								コンクリート下地 既設のまま	陶器質100角タイル張 既設のまま										
不	脱衣室（特別浴室）		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBア9. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700		脱衣棚 既設のまま			
	脱衣室（特別浴室）		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	発泡複層ビニル床シートア2. 8張	ビニル巾木	60		――	無機質クロス張（不燃） 既設PB面：下地処理の上		――	――	――						
不	シャワー室脱衣		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	無機質クロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBア12. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2400		ユニットシャワー 既設のまま 脱衣棚 既設のまま			
	シャワー室脱衣		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	発泡複層ビニル床シートア2. 8張	ビニル巾木	60		――	無機質クロス張（不燃） 既設PB面：下地処理の上		――	――	――						
不	洗濯室		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	無機質クロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBア12. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700		洗濯パン：900×640 2か所 取外シ・再取付			
	洗濯室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	発泡複層ビニル床シートア2. 8張	ビニル巾木	60		――	化粧ケイカル板ア6張		――	――	――						
難	休憩室（一般用）		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBア9. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700					
	休憩室（一般用）		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	発泡複層ビニル床シートア2. 8張	ビニル巾木	60		――	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		――	――	――						
難	食堂		モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロアア1. 8張 撤去	ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBア12. 5+9. 5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板ア12張 既設のまま PBア9. 5捨張 既設のまま EP塗 既設のまま 繊維混入強化PBア12. 5張 既設のまま	セマミック 系人造 木材 既設のま	3000～ 3500 2400		TVハンガー、ピクチャーレール 既設のまま 棚 既設のまま			
									PBア12. 5+9. 5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBア9. 5下地 既設のまま							
不	厨房		モルタル木コテ 既設のまま	磁器質100角タイル張 撤去	磁器質100角タイル張 撤去	100		LGS下地 既設のまま	VP塗 既設のまま 大平板ア6（石綿含有※）（アルミジョイナー付）既設のまま		LGS下地 既設のまま	VP塗 既設のまま 大平板ア5（石綿含有※） 既設のまま	アルミ 既設のま	2600		カウンター 既設のまま ビット蓋：撤去			
									化粧ケイカル板ア6 目スカシ張 敷目板（不燃）			EP塗替 下地調整RC層の上					ビット蓋：ステンレスア4		

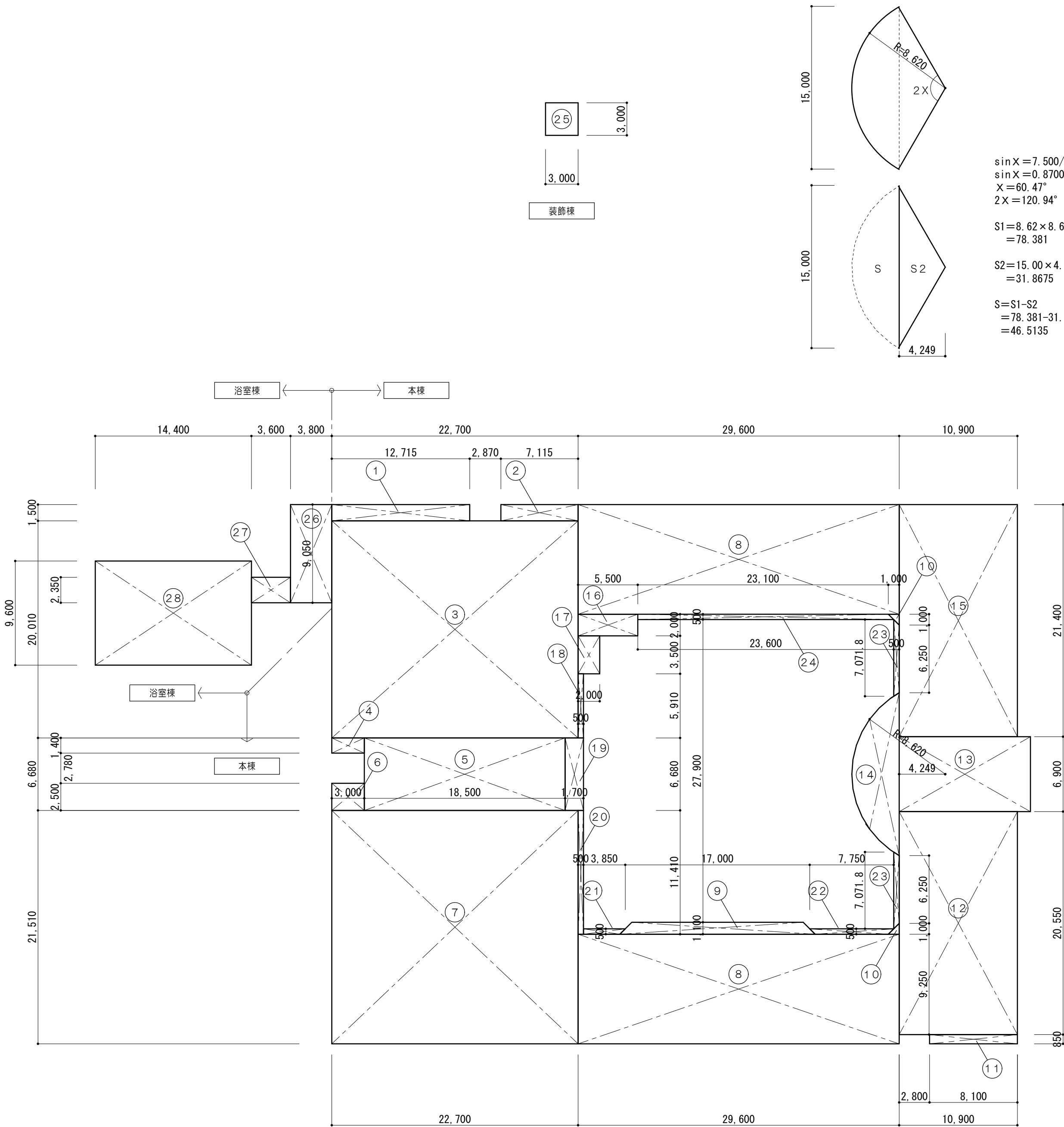
特 記 事 項		<div><div><div><div>MAENO</div></div><div>株 式 会 社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第3607846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	<div>法適合確認</div> <div><div><div>三橋</div><div>前田</div></div><div><div>三橋</div><div>前田</div></div></div>	作図 工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事			設計日 R7/03/17
									縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A011 (原図: A2)		

内 部 仕 上 表 No. 4																			
	内装制限	室名	改修前	床			巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考
			改修後	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				
福祉センター	難	多機能室		——	化学タタミア55敷 撤去 耐水合板ア5、5捨張 既設のまま ネタフォームア50 既設のまま 縁甲板ア15張 合板ア12捨張 既設のまま ネタフォームア50 既設のまま	タタミ寄 既設のまま				LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	和室天井化粧PBA9張 既設のまま	杉桧 集成材 40×43 既設のまま	2600 2500 2180		下足入、手すり 既設のまま	
				——															
				モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去														
	難	多機能室		——	化学タタミア55敷	——					——	——		——	——	——	——		
				カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張														
				モルタル金コテ下地 既設のまま	クッションフロア張 撤去														
	難	機能回復訓練室 日常動作訓練室		モルタル金コテ下地 既設のまま	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	クッションフロア張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2640		ビクチャーレール：アルミ製 既設のまま 可動パーテーション 既設のまま
		機能回復訓練室 日常動作訓練室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	発泡複層ビニル床シートA2、8張		ビニル巾木	60		——	EP塗替 下地調整RB種の上		——	EP塗替 下地調整RB種の上	——	——		
	難	多目的ホール		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	タイルカーベッタA6、5張 撤去		堅木OSCL 既設のまま	100		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張（リブ） 既設のまま PBA9、5捨張 既設のまま	セラムック 系人造木材 既設のまま	3100～ 3350		手動式ステージ：W6010×D3033×H600 スクリーン：W2278×H1792（自動巻上式） 既設のまま
		多目的ホール		——	——	タイルカーベッタA6、5張		——			——	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——		
	不	控室 （多目的ホール横）		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2500		
	難	研修室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張（リブ） 既設のまま PBA9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2900		
		研修室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張		ビニル巾木	60		——	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——		ホワイトボード：脱着
	難	相談室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBA9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700		
		相談室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張		ビニル巾木	60		——	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——		
	難	事務室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	ビニル床タイルA2、0張 撤去 フリーアクセスフロアH70 既設のまま		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBA9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	3000～ 6940		
			カチオン系下地調整塗（フリーフロア以外） 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗（フリーフロア以外） 既設モルタル下地	複層ビニル床タイルA2、0張		ビニル巾木	60		——	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——			
事務室			既設フリーフロア下地	既設フリーフロア下地	帯電防止ビニル床タイルA2、0張														
保健センター	難	更衣室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2640		
	不	資料室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2400		
	難	検査室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	エポキシ系塗床 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700		
	難	健康相談室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去 半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去 タイルカーベット張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBA9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940		
				カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張 タイルカーベッタA6、0張		ビニル巾木	60		——	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——		
	難	検診室A		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 一部撤去	EP塗 既設のまま PBA12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940		吊カーテンレール：一部脱着 流し台：既設のまま
				カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張		ビニル巾木	60		—— LGS下地（撤去復旧部分）	EP塗替 下地調整RB種の上 EP塗 強化PBA12、5+9、5張		——	——	——	——		
	難	検診室B		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	EP塗 既設のまま PBA9、5張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940		吊カーテンレール：一部脱着 流し台：既設のまま
				カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張		ビニル巾木	60		——	EP塗替 下地調整RB種の上		——	——	——	——		
	難	乳児相談室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBA9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940		収納棚：既設のまま
				カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	半硬質ビニル床タイルA2、0張		ビニル巾木	60		——	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——		
	難	プレイルーム		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	タイルカーベッタA6、5張 撤去		ビニル巾木 既設のまま	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5下地 既設のまま 衝突防止マット張 H=1000 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBA9、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	2700～ 6940		
				モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	半硬質ビニル床タイルA2、0張 撤去				LGS下地 既設のまま									
		プレイルーム		——	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	タイルカーベッタA6、5張 半硬質ビニル床タイルA2、0張		——		——	ビニルクロス張（AA級） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——		
難	休憩室（職員用）				化学タタミア55敷 撤去 合板A12捨張 既設のまま		タタミ寄 既設のまま			LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま PBA9、5下地 既設のまま	杉桧集成材 既設のまま	2500			
	休憩室（職員用）				化学タタミア55敷		——			——	——		——	——	——	——			
不	栄養指導室		モルタル金コテ下地 既設のまま	モルタル金コテ下地 既設のまま	ビニル床シートA2、0張 撤去		ビニル巾木 撤去	60		LGS下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 PBA12、5+9、5下地 既設のまま		LGS下地	岩綿吸音板A12張 既設のまま PBA12、5捨張 既設のまま	塩ビ 既設のまま	3000～ 6940		調理実習台 撤去 天井吊力ガミ 撤去	
	栄養指導室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地	ビニル床シートA2、0張		ビニル巾木	60		——	無機質クロス張（不燃） 既設PB面：下地処理の上		——	——	——	——		調理実習台 新設	



内 部 仕 上 表 No. 5																			
	内装制限	室名	改修前	床			巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考
			改修後	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				
浴室棟	難	浴室 (男子・女子)				1 0 0角タイル張 既設のまま		陶器質1 0 0角タイル張 既設のまま	1 0 0			陶器質1 0 0角タイル張 既設のまま		L G S下地 既設のまま	バスリブ張 既設のまま	アルミ 既設のまま 2 7 0 0～ 2 8 0 0			
	難	脱衣室 (男子・女子)		モルタル金コテ下地 既設のまま		クッションフロアア1. 8張 撤去		ビニル巾木 撤去	6 0		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 P Bア1 2. 5+9. 5下地 既設のまま		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま P Bア9. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま 2 6 0 0			
		脱衣室 (男子・女子)		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地		発泡複層ビニル床シートア2. 8張		ビニル巾木	6 0		――	ビニルクロス張 (A A級) 既設P B面：下地処理の上		――	――	――			
	不	前室		モルタル金コテ下地 既設のまま		複層ビニル床タイルア2. 0張 撤去 クッションフロアア1. 8張 撤去		ビニル巾木 撤去	6 0		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 P Bア1 2. 5+9. 5下地 既設のまま		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま P Bア1 2. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま 2 5 0 0			
		前室		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地		発泡複層ビニル床シートア2. 8張		ビニル巾木	6 0		――	無機質クロス張 (不燃) 既設P B面：下地処理の上		――	――	――			
	不	脱衣室内便所 (男子・女子)		モルタル金コテ下地 既設のまま		クッションフロアア1. 8張 撤去		ビニル巾木 撤去	6 0		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 P Bア1 2. 5+9. 5下地 既設のまま		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま P Bア1 2. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま 2 4 0 0			
		脱衣室内便所 (男子・女子)		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地		ビニル床シートア2. 0張 (防滑・抗菌)		ビニル巾木	6 0		――	無機質クロス張 (不燃) 既設P B面：下地処理の上		――	――	――			
	準	廊下		モルタル金コテ下地 既設のまま		複層ビニル床タイルア2. 0張 撤去		ビニル巾木 撤去	6 0		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 撤去 P Bア1 2. 5+9. 5下地 既設のまま		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま P Bア9. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま 2 5 0 0 2 3 0 0			
		廊下		カチオン系下地調整塗 既設モルタル下地		発泡複層ビニル床シートア2. 8張		ビニル巾木	6 0		――	ビニルクロス張 (A A級) 既設P B面：下地処理の上		――	――	――			手すり
	不	機械室				コンクリート金コテ押工		<div></div>			L G S下地 既設のまま	P Bア1 2. 5+9. 5素地 既設のまま		L G S下地 既設のまま	E P塗 既設のまま ケイカル板ア6 目スカシ張 既設のまま P Bア9. 5下地 既設のまま		3 5 5 0		
	物入			モルタル金コテ下地 既設のまま		複層ビニル床タイルア2. 0張 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	6 0		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま P Bア1 2. 5+9. 5下地 既設のまま		L G S下地 既設のまま	ビニルクロス張 既設のまま P Bア1 2. 5下地 既設のまま	塩ビ 既設のまま 2 4 0 0			

＜特記事項＞		【シックハウス対策】	【記号略号】		【仕上記号略号】			【防火認定番号】	【内装制限凡例】
・壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 （寒冷紗・ジョイントテープ張処理）	・WC、浴室のかさ上げ用コンクリートの配筋は、溶接金網とする。	・使用建材：F☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）	記号	名称	記号	J I S 番号	名称	P B（石膏ボード）ア12.5：NM－8619　＜不燃＞	㊦ 仕上、下地共不燃材（壁・天井）
・ボード類　壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。	・壁改修に影響する掲示板、白版、室名札は取外・再取付とする。	・内部塗料は、F☆☆☆☆品　家具等F☆☆☆☆品	H L	ヘアライン	E P	K 5 6 6 3	合成樹脂エマルジョンペイント	耐水P B（石膏ボード）ア12.5：NM－9639　＜不燃＞	㊦ 仕上不燃材（壁・天井）
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。		・クロルピリホス使用なし	P B	石膏ボード	S O P	K 5 5 1 6	合成樹脂調合ペイント	化粧ケイカル板：NM－4227　＜不燃＞	不　防煙タレ壁
・使用建築材料：特記なき限りJ I S・J A S 認定品を使用すること。			G W	グラスウール	D P	K 5 6 5 8	耐候性塗料塗	化粧P Bア9.5：Q M－0524　＜準不燃＞	㊦ 仕上準不燃材以上（壁・天井）
・耐火中空二重壁の端部は耐火シール充填とすること。			L G S	軽量鉄骨下地	C L	K 5 5 3 1	クリアラッカー塗	抗菌メラミン不燃化粧板ア3：NM－2183　＜不燃＞	㊦ 仕上難燃材以上（壁・天井）
・ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。			C B	カーテンボックス				塗料一般（E P）：NM－8585　＜不燃＞	
・WC内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。			B B	ブラインドボックス				ビニルクロス：Q M－1014　＜準不燃＞	
・床仕上材撤去部分は、集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法により、接着材を除去すること。								無機質クロス：NM－3991　＜不燃＞	
・R C壁撤去跡断面の鉄筋は、錆止め処理を行うこと。								【認定番号】	
・ビニル床シート・ビニル床タイルは、土足対応のものとすること。								耐火中空二重壁　L G S下地 P Bア12.5+P Bア12.5（両面）	準耐火60分 国交省告示　R 1　195号
・（石棉含有※）の記載がある仕上は、アスベスト含有のおそれがあるものとして調査を行うこと。								耐火中空二重壁　L G S下地 強化P Bア12.5+P Bア9.5（両面）	準耐火60分 国交省告示　R 1　195号
・カーテン・絨毯等は防災物品を使用すること。									



1 階 求 積 図 1/300

$\sin X = 7.500 / 8.620$   
 $\sin X = 0.870069605$   
 $X = 60.47^\circ$   
 $2X = 120.94^\circ$

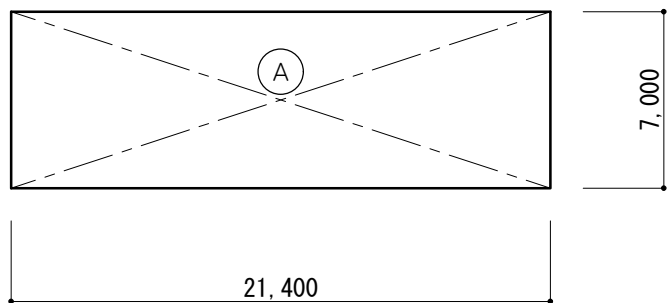
$S1 = 8.62 \times 8.62 \times 3.14 \times 120.94 / 360$   
 $= 78.381$

$S2 = 15.00 \times 4.249 \times 1/2$   
 $= 31.8675$

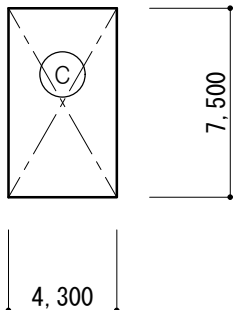
$S = S1 - S2$   
 $= 78.381 - 31.8675$   
 $= 46.5135$

求 積 計 算 式			
①	12.715 × 1.500	=	19.0725
②	7.115 × 1.500	=	10.6725
③	22.700 × 20.010	=	454.2270
④	3.000 × 1.400	=	4.2000
⑤	18.500 × 6.680	=	123.5800
⑥	3.000 × 2.500	=	7.5000
⑦	22.700 × 21.510	=	488.2770
⑧	29.600 × 10.100 × 2	=	597.9200
⑨	(15.80 + 18.000) × 1.1 × 1/2	=	18.5900
⑩	1.000 × 1.000 × 1/2 × 2	=	1.0000
⑪	8.100 × 0.850	=	6.8850
⑫	10.900 × 20.550	=	223.9950
⑬	12.100 × 6.900	=	83.4900
⑭	左図参照	=	46.5135
⑮	10.900 × 21.400	=	233.2600
⑯	5.500 × 2.000	=	11.0000
⑰	2.000 × 3.500	=	7.0000
⑱	0.500 × 5.910	=	2.9550
⑲	1.700 × 6.680	=	11.3560
⑳	0.500 × 11.410	=	5.7050
㉑	(3.350 + 3.850) × 0.5 × 1/2	=	1.8000
㉒	(6.750 + 7.750) × 0.5 × 1/2	=	3.6250
㉓	(6.250 + 7.0718) × 0.5 × 1/2 × 2	=	6.6600
㉔	(23.100 + 23.60) × 0.5 × 1/2	=	11.6750
㉕	3.000 × 3.000	=	9.0000
㉖	3.800 × 9.050	=	34.3900
㉗	3.600 × 2.350	=	8.4600
㉘	14.400 × 9.600	=	138.2400

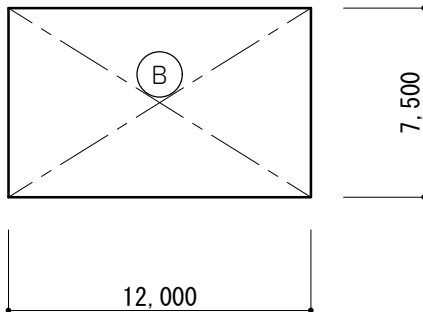
求積表				面積表		
床面積	PH階	(25)	= 9.000	床面積	PH階	9.00 m <sup>2</sup>
	1 階	(1) ~ (24) + (26) ~ (28)	= 2,562.049		1 階	2,562.05 m <sup>2</sup>
					延床面積	2,571.05 m <sup>2</sup>



車庫棟



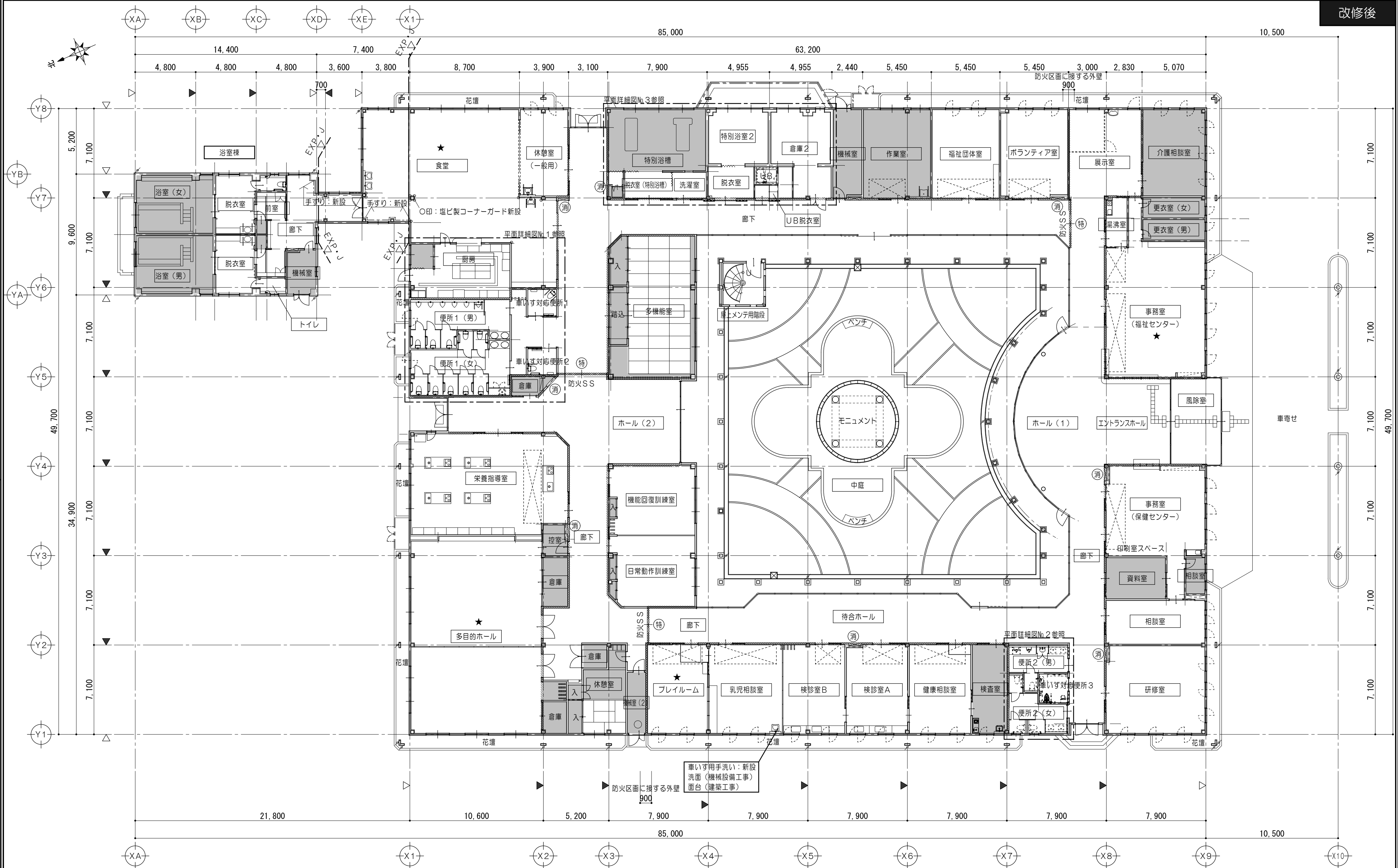
備品倉庫中2階



備品倉庫1階

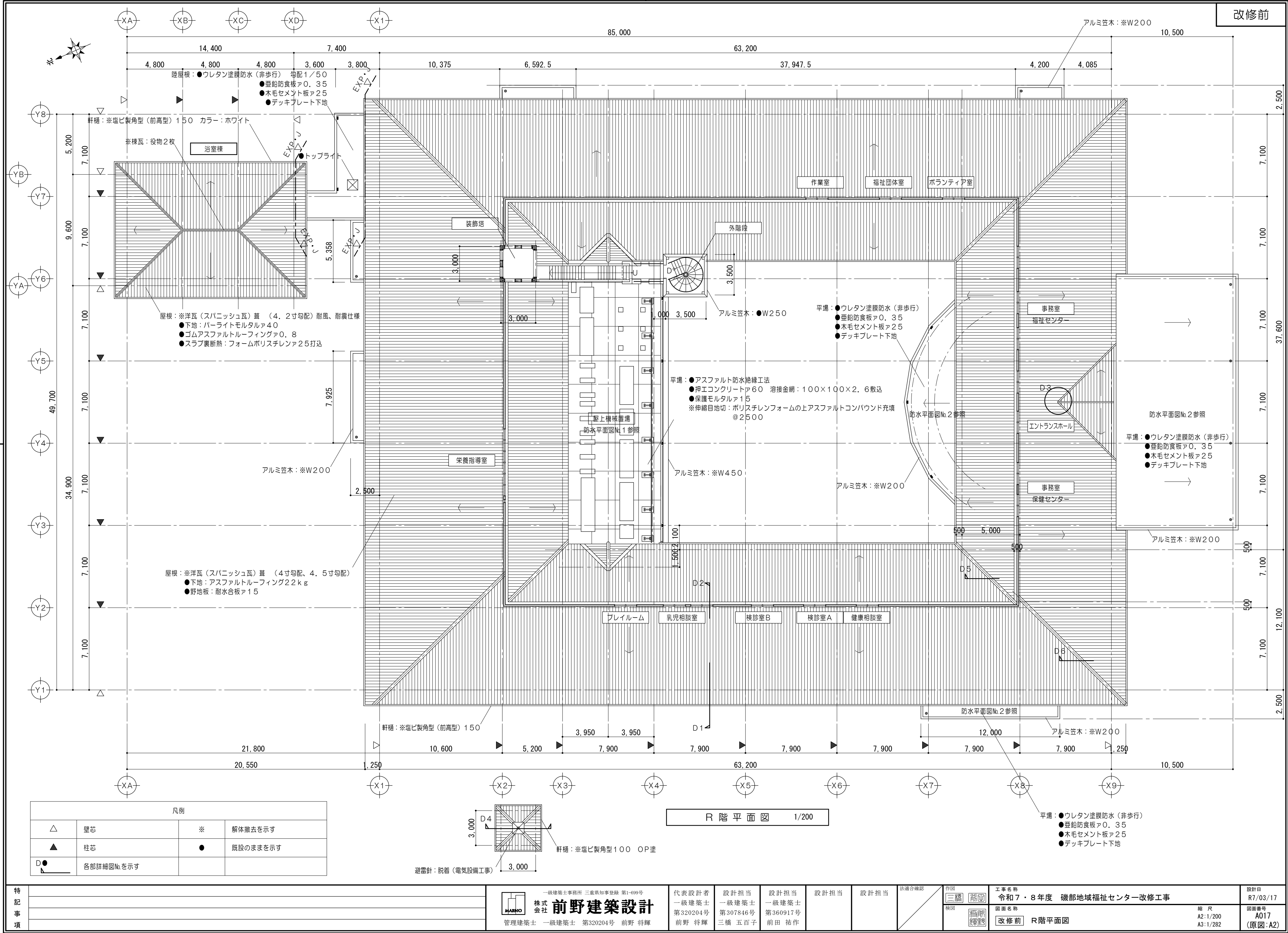






1 階 平 面 図 1/200

凡 例					
	耐火壁（小屋裏屋根面まで） 両面石膏ボードφ12・5＋9・5二重壁LGS間仕切壁	（消）	既設消火器（ABC粉末10型）	▲	柱芯を示す
	防火壁（小屋裏屋根面まで） 両面石膏ボードφ12・5＋9・5二重壁LGS間仕切壁	（特）	特定防火設備（新築時甲種防火戸）	△	壁芯を示す
	防火区画に接する外壁 石綿ケイ酸カルシウム板φ25張（屋内壁）				既設のままを示す
					タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 掴み金物：ステンレスφ1200
					★ 室内空気汚染物質測定箇所を示す



特 記 事 項	凡例				R 階平面図 1/200				工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事				設計日 R7/03/17
	△	壁芯	※	解体撤去を示す					図面名称 改修前 R階平面図				図面番号 A017 (原図:A2)
	▲	柱芯	●	既設のままを示す					縮尺 A2:1/200 A3:1/282				
	D●	各部詳細図No.を示す											

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝

設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子

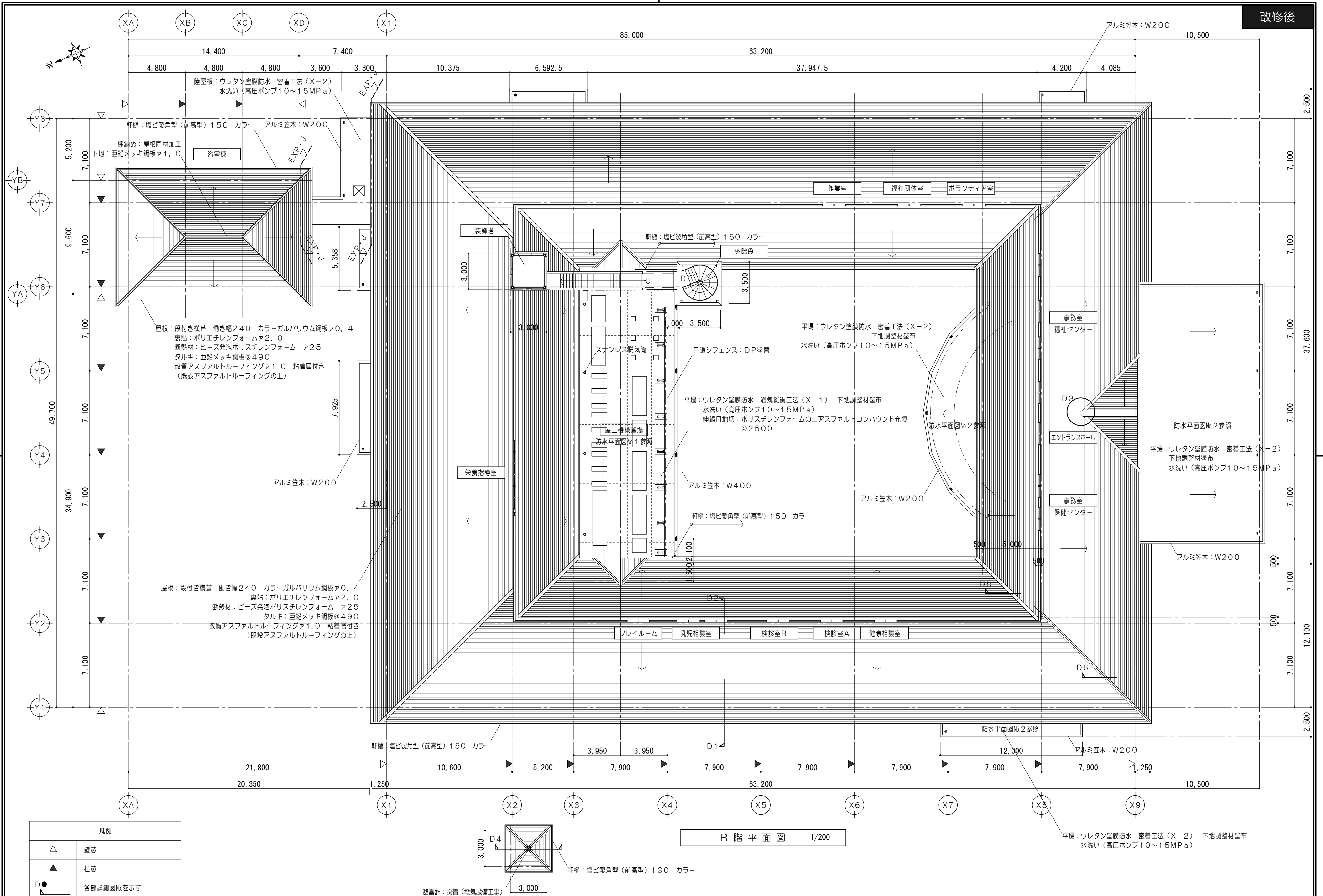
設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

設計担当

設計担当

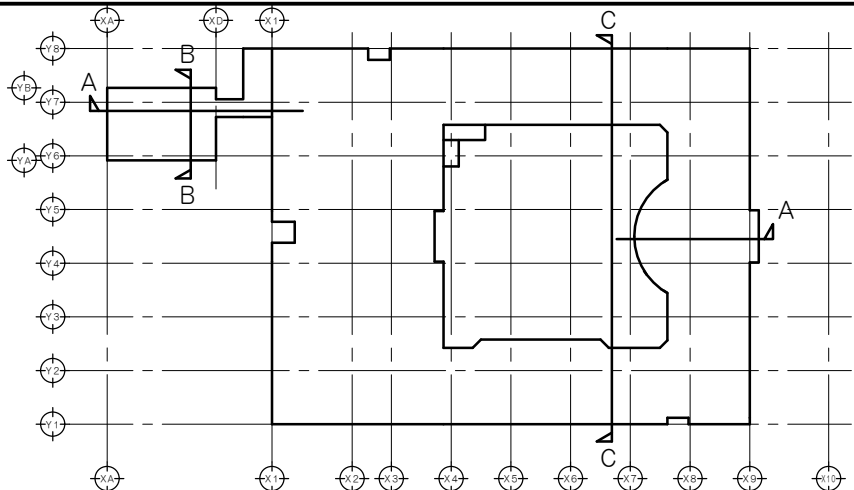
法適合確認

作図 三橋 五百子  
検図 前野 将輝

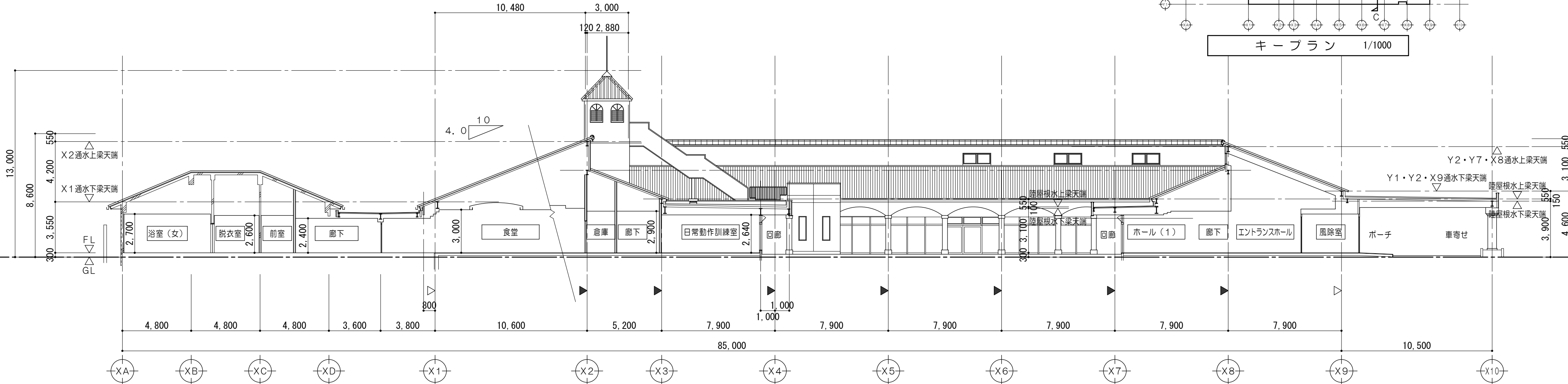


特 記 事 項		<div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div> <div><div><div><div>MAENO</div></div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div></div> <div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図</div> <div><div><div>三橋</div><div>前田</div></div></div> <div>概図</div> <div><div><div>前野</div><div>将輝</div></div></div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	設計日 R7/03/17
										<div>縮 尺</div> <div>A2:1/200</div> <div>A3:1/282</div>	<div>図面名称</div> <div><div><div>改修後</div><div>R階平面図</div></div></div> <div>図面番号</div> <div>A018</div> <div>(原図:A2)</div>

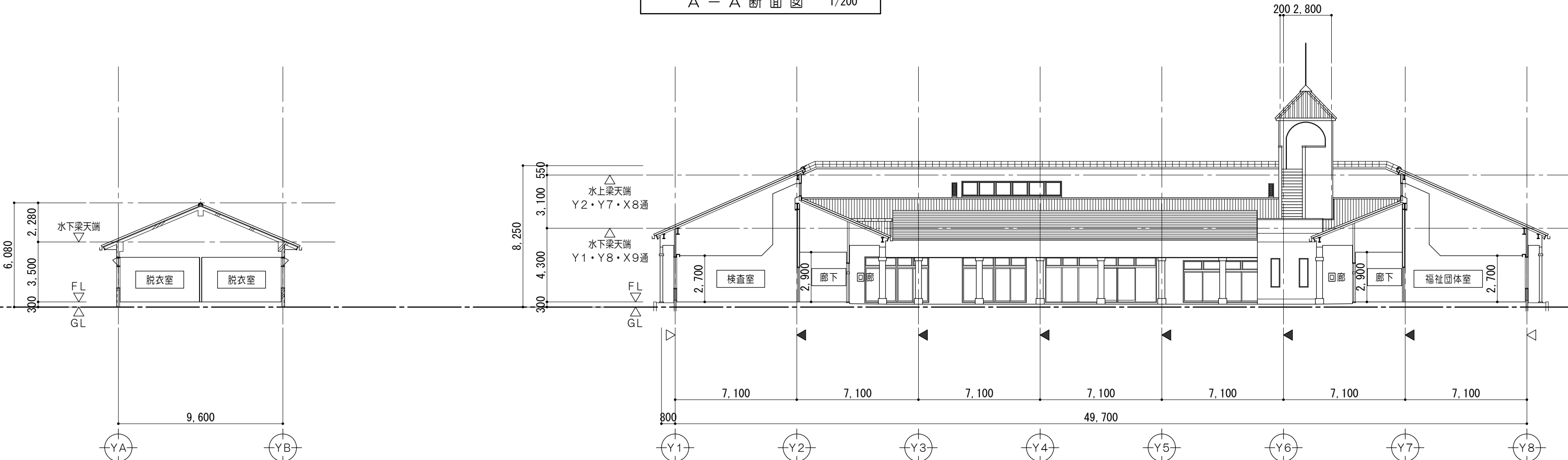
改修前



キープラン 1/1000



A - A 断面图 1/200

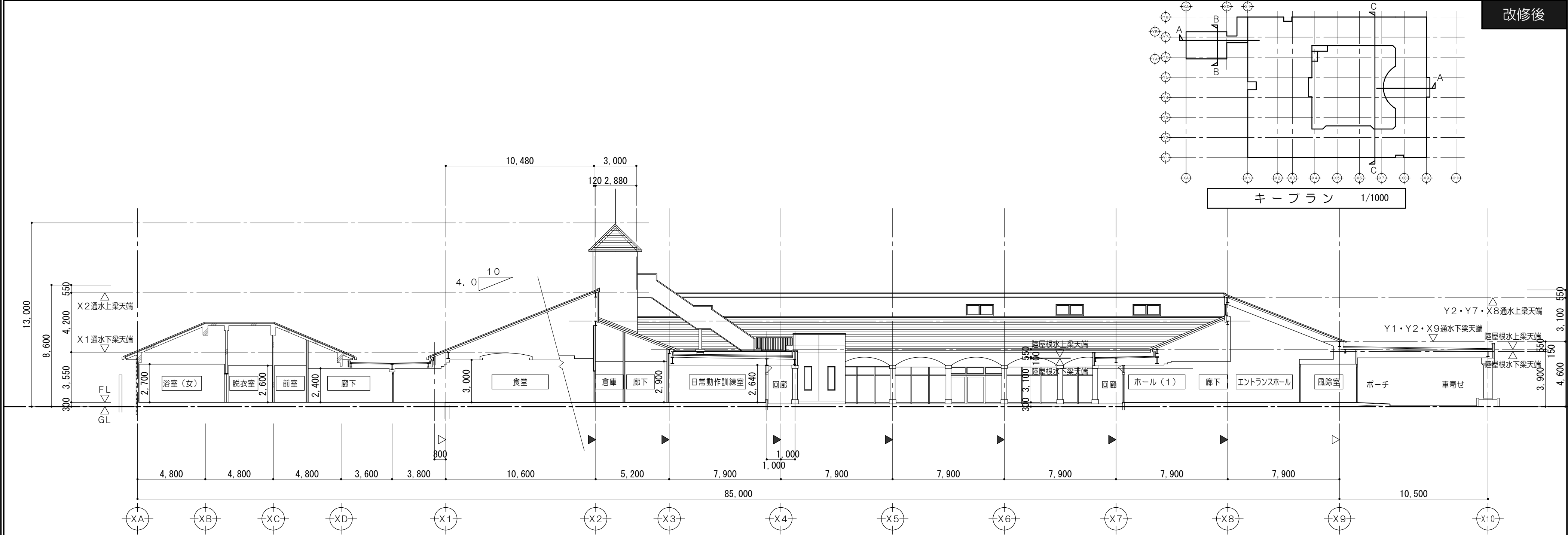


B - B 断面図 1/200

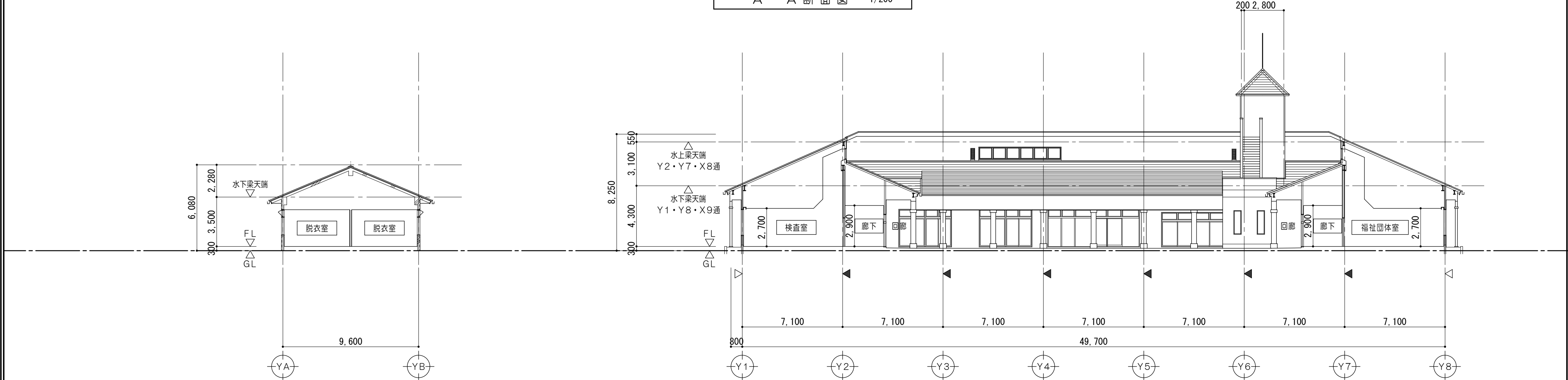
C - C 断面图 1/200

特 記 事 項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <b>株式会社 前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝			代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認 	作図 	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	設計日 R7/03/17
								検図 		図面名称 改修前 断面図	縮 尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図面番号 A019 (原図: A2)





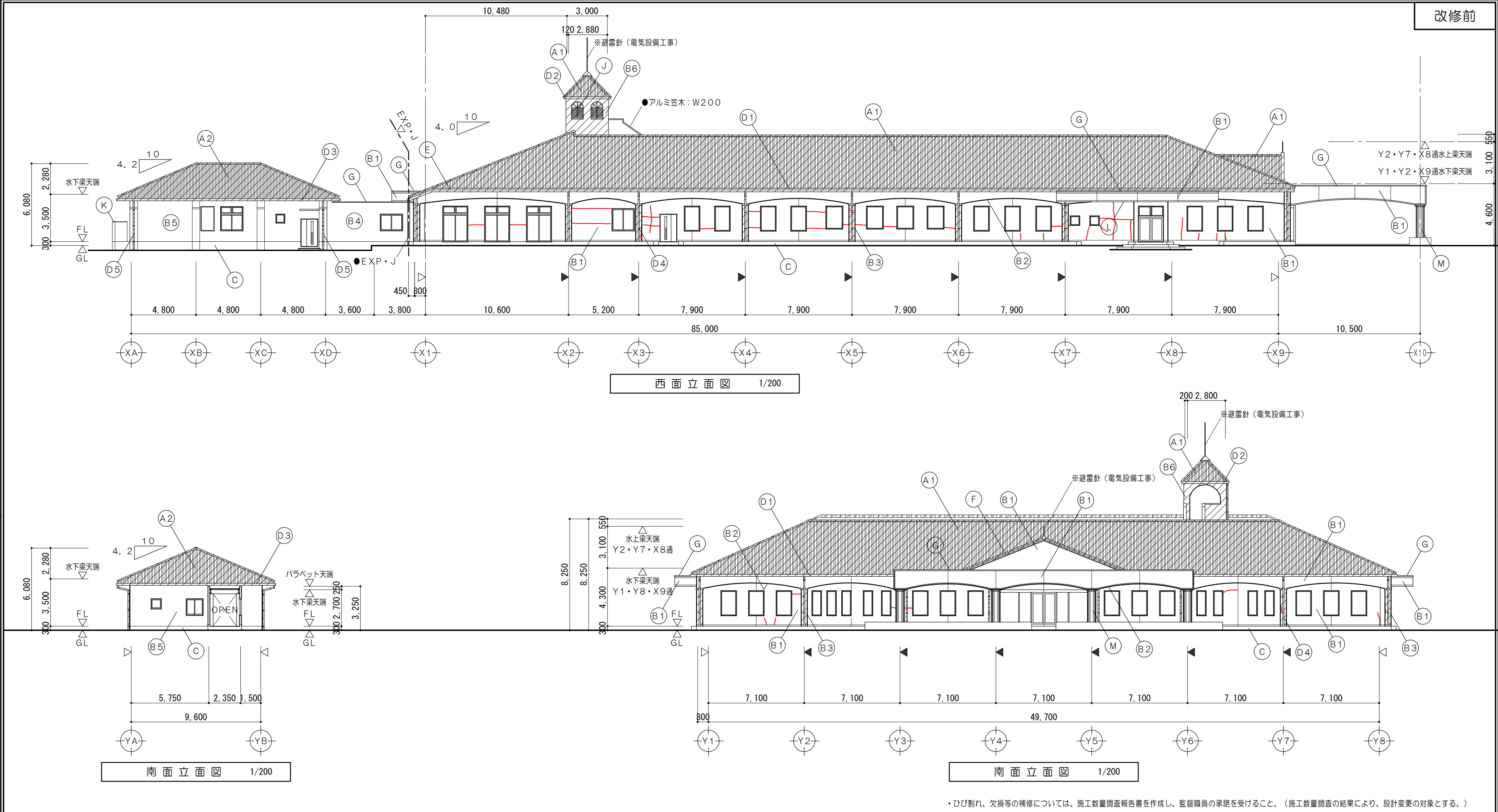
A - A 断面図 1/200



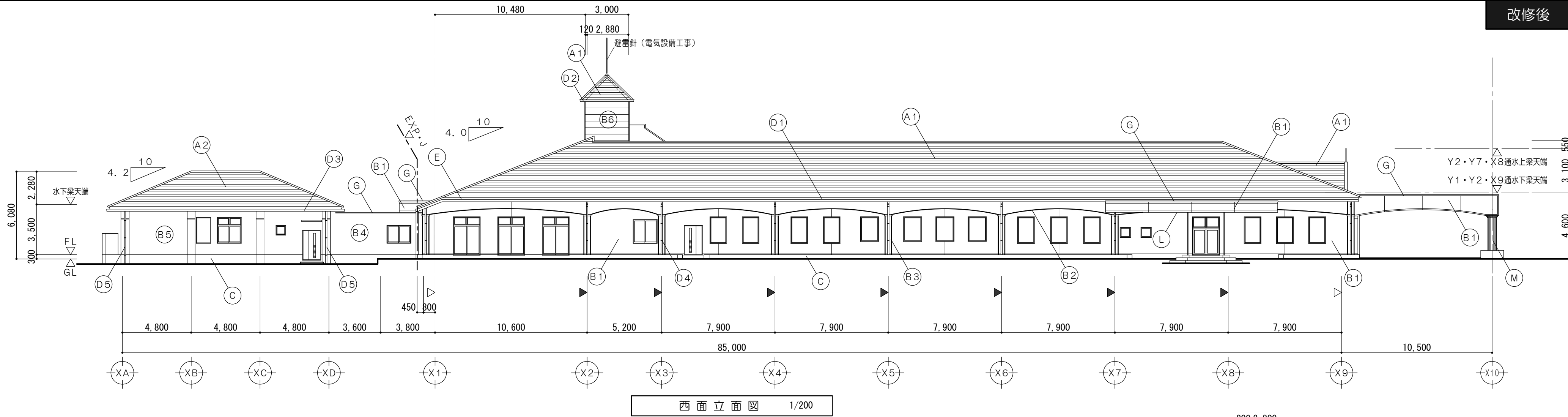
B - B 断面図 1/200



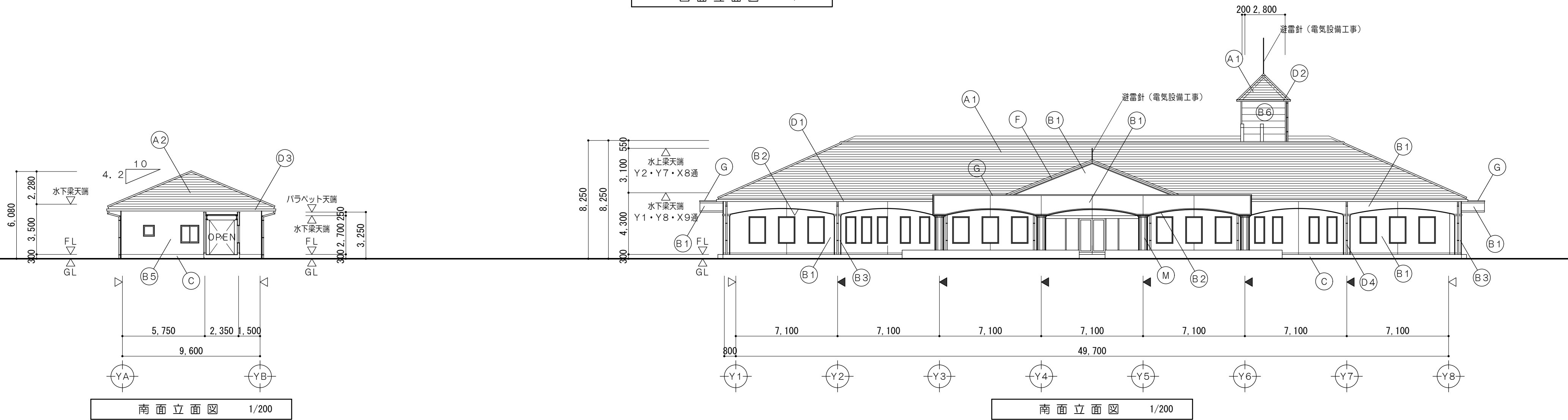
C - C 断面図 1/200



凡 例																	
屋根	A1	洋瓦（スパニッシュ瓦）葺（4寸勾配、4.5寸勾配）撤去 下地：アスファルトルーフィング22kg 既設のまま 野地板：耐水合板A15 既設のまま（鉄骨下地） 棟瓦、ケラバ：役物（屋根材同材）撤去 谷部：アスファルトルーフィング22kg 2重張（W=600）の上 既設のまま 谷コイルA5.0曲げ加工 撤去	外壁	B3	<柱型> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上）撤去 下地：軽量形鋼 モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 撤去 水切：ガルバリウム鋼板A0.4曲げ加工 撤去	樋	D1	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 撤去	裝飾煉開口部	J	アルミ製ガラリ 撤去 四方枠：アルミA2.0加工 撤去						
		B4			合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 樹脂モルタルA5 既設のまま アスファルトフェルト17kg 強化セメント板A12の上 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板A0.4曲げ加工 既設のまま		D2	軒樋：塩ビ製角型100 OP塗 撤去	擁壁笠木	K	モルタル金コテ仕上						
	B5			合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま コンクリート打放補修 目地切@3000 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板A0.4曲げ加工 既設のまま	D3		軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー：ホワイト 撤去	下端水切	L	カラーガルバリウム鋼板A0.4加工							
		B6		<裝飾棟外壁> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上）撤去 下地：モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 撤去 目地切@3000 シーリング撤去	D4		タテ樋：塩ビ製 φ75 OP塗 撤去 取付金物：スチール亜鉛メッキ製 撤去	丸柱	M	裏打ち鉄板A0.8巻 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま サイディング：0.4mm以上クラック クラック部シーリング詰め	▲	柱芯を示す					
外壁	B1	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 下地：モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 既設のまま 目地切@3000 シーリング撤去 水切：ガルバリウム鋼板A0.4曲げ加工 既設のまま		軒先幕板	E		破風板 既製品 撤去	・サッシ回りのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。		△	壁芯を示す						
	B2	<曲面部上裏> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 撤去 下地：アスファルトルーフィング17kg ラスシートの上 撤去 モルタル金コテ押エA15 撤去		ケラバ幕板	F	破風板 既製品 撤去	・EXP.J取合いのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。		●	既設のままを示す							
				笠木	G	アルミ笠木（サイズはR階平面図による） 撤去	・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。		※	撤去を示す							
			根廻り	C	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上）既設のまま	目隠しルーバー	H	アルミ製 既設のまま 鉄部：塗装仕上 既設のまま	・外部ガラス面は飛散防止フィルム張とする。 （詳細は建具符号図・建具表参照）			撤去部分を示す					
特記事項						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日	
						株式会社 前野建築設計		一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第360917号 前田 祐作					令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	R7/03/17	
						管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		前野 将輝	三橋 五百子	前田 祐作					図面名称	縮尺	図面番号
														改修前 西面・南面立面図	A2:1/200 A3:1/282	A021 (原図:A2)	



西面立面図 1/200



南面立面図 1/200

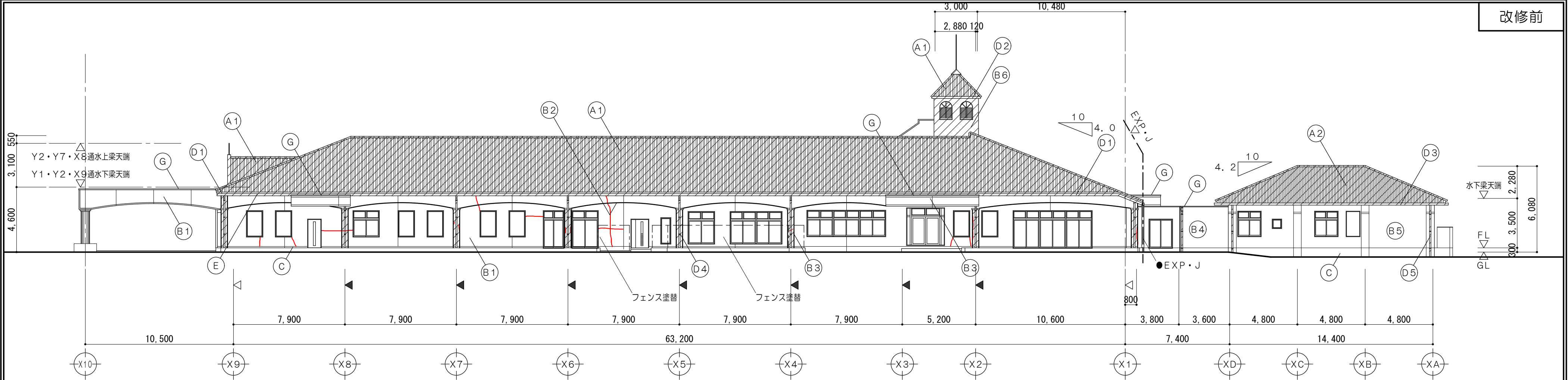
南面立面図 1/200

凡 例

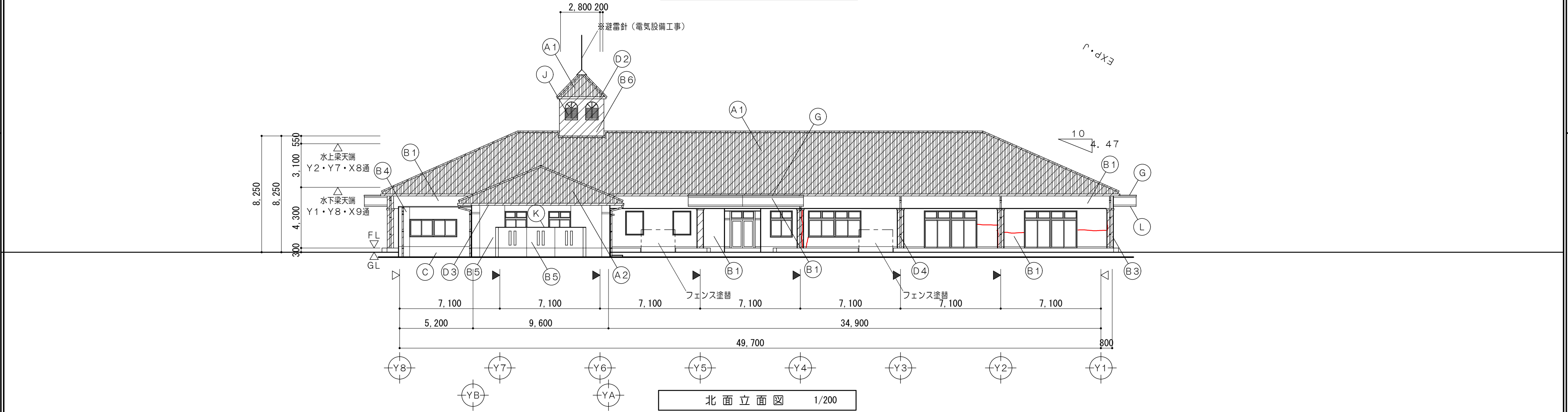
屋根	(A1)	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板@490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 谷部：イナズマ谷 屋根同材加工	外壁	(B3)	<柱型> 窯業系サイディングア16張 下地：既設軽量形鋼 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工	樋	(D1)	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー	丸柱	(M)	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）
		(D2)			軒樋：塩ビ製角型（前高型）130 カラー						
	(A2)	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板@490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 棟納め：屋根同材		(B4)	<浴室棟S造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		(D3)	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー	・サッシ回りのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。	▲	柱芯を示す
		(B5)			<浴室棟RC造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		(D4)	タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 掴み金物：ステンレス@1200	・EXP. J取合いのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。	△	壁芯を示す
					(D5)		タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 掴み金物：ステンレス@1200	・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。			
外壁	(B1)	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 クラック部シーリング詰め 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 目地シーリング打替：PU-2 10×10 <曲面部上裏> 外装薄塗材E吹付 下地：フレキシブルボードア6張	根廻り	(B6)	<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 透気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工	軒先幕板	(E)	屋根同材 平板加工 補強下地ア1.2以上	・外部ガラス面は飛散防止フィルム張とする。 （詳細は建具符号図・建具表参照）		
		ケラバ幕板			(F)	屋根同材 平板加工 補強下地ア1.2以上					
	(B2)				笠木	(G)	アルミ笠木（サイズはR階平面図による）				
					目隠しルーバー	(H)	アルミ製 DP塗替 下地調整RB種の上 鉄部：DP塗替 下地調整RB種の上				

特 記 事 項					<div><div><div><div></div></div><div>MAENO</div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図</div> <div><div>三橋</div><div>前田</div></div> <div>検図</div> <div><div>前野</div><div>将輝</div></div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事			設計日 R7/03/17						
													図面番号 縮 尺 A2:1/200 A3:1/282		図面番号 A022 (原図:A2)							






東面立面図 1/200



北面立面図 1/200

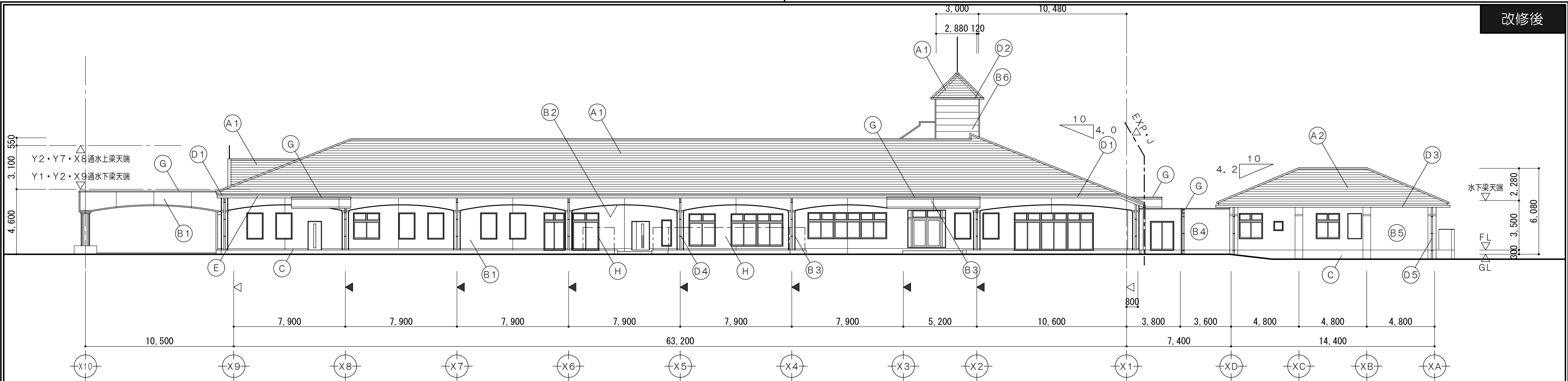
・ひび割れ、欠損等の補修については、施工数量調査報告書を作成し、監督職員の承諾を受けること。（施工数量調査の結果により、設計変更の対象とする。）

凡 例

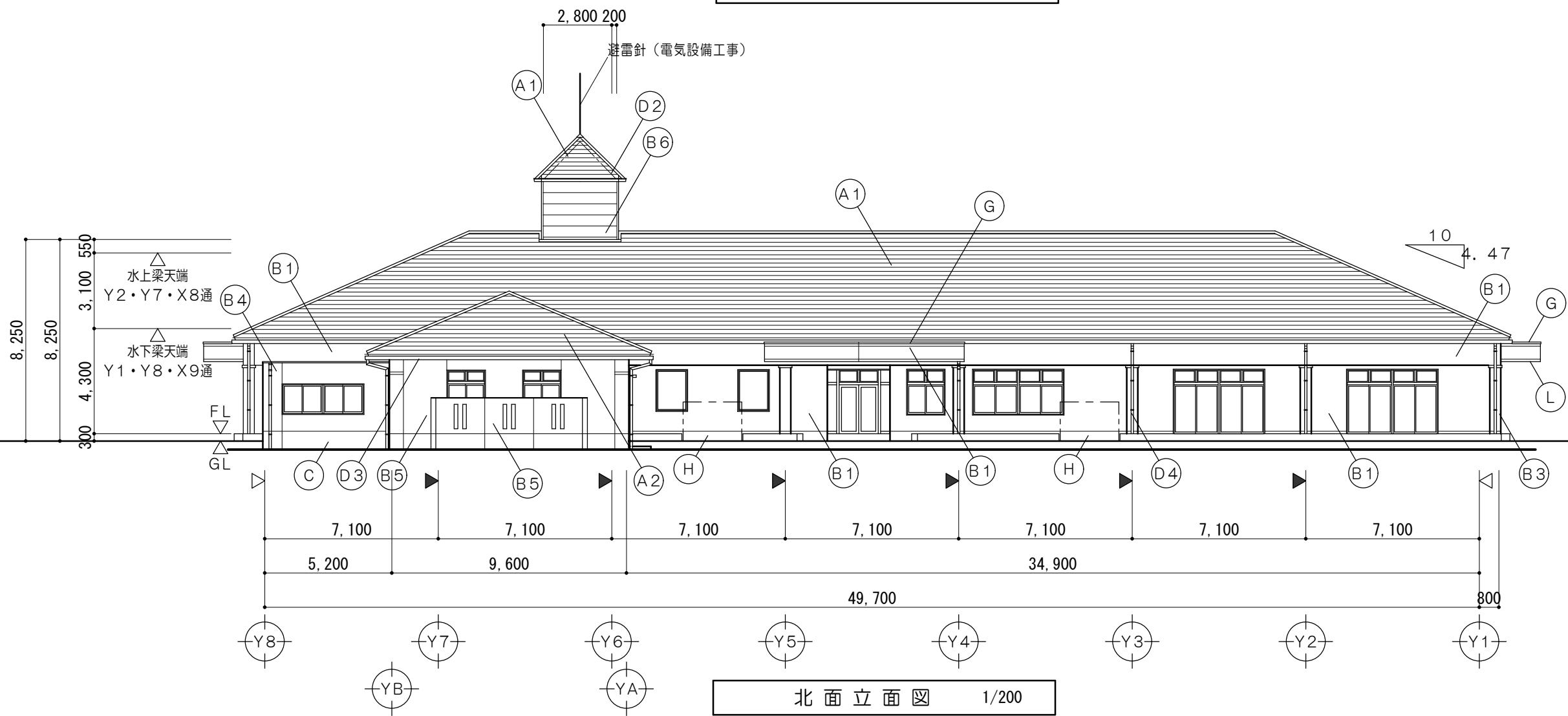
屋根	A1	洋瓦（スパンニッシュ瓦）葺（4寸勾配、4.5寸勾配）撤去 下地：アスファルトルーフィング22kg 既設のまま 野地板：耐水合板A15 既設のまま（鉄骨下地） 棟瓦、ケラバ：役物（屋根材同材）撤去 谷部：アスファルトルーフィング22kg 2重張（W=600）の上 既設のまま 谷コイルA5、0曲げ加工 撤去	外壁	B3	<柱型> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上）撤去 下地：軽量形鋼 モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 撤去 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 撤去	樋	D1	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 撤去	裝飾棟開口部	J	アルミ製ガラリ 撤去 四方枠：アルミA2、0加工 撤去		
		D2			軒樋：塩ビ製角型100 OP塗 撤去		擁壁笠木	K	モルタル金コテ仕上				
	A2	洋瓦（スパンニッシュ瓦）葺（4.2寸勾配）耐風、耐震仕様：撤去 下地：パーライトモルタルA40（コンクリート下地）既設のまま ゴムアスファルトルーフィングA0、8 既設のまま 棟瓦：役物2枚 撤去		B4	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 樹脂モルタルA5 既設のまま アスファルトフェルト17kg 強化セメント板A12の上 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 既設のまま		D3	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー：ホワイト 撤去	下端水切	L	カラーガルバリウム鋼板A0、4加工		
		D4			タテ樋：塩ビ製 φ75 OP塗 撤去 取付金物：スチール亜鉛メッキ製 撤去		丸柱	M	裏打ち鉄板A0、8巻 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま				
外壁	B1	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 下地：モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 既設のまま 目地切@3000 シーリング撤去 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 既設のまま	B5	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま コンクリート打放補修 目地切@3000 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 既設のまま	軒先幕板	E	破風板 既製品 撤去	・サッシ回りのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。			△	壁芯を示す	
		B2		<曲面部上裏> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 撤去 下地：アスファルトルーフィング17kg ラスシートの上 撤去 モルタル金コテ押エA15 撤去		ケラバ幕板	F	破風板 既製品 撤去	・EX.P.J取合いのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。			●	既設のままを示す
	根廻り			C			合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま	笠木	G	アルミ笠木（サイズはR階平面図による）	・外壁に取付く設備配管は、養生し統着しないものとする。		
		目隠しレバー				H	アルミ製 既設のまま 鉄部：塗装仕上 既設のまま	・外部ガラス面は飛散防止フィルム張とする。 （詳細は建具付号図・建具表参照）				撤去部分を示す	

特 記 事 項					<div><div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div><div><div>MAENO</div><div>株式会社</div></div><div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div></div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	<div><div>作図</div><div><div>三橋</div><div>前田</div></div><div>検図</div><div><div>前野</div><div>三橋</div></div></div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事			設計日 R7/03/17
	図面名称 縮 尺 A2:1/200 A3:1/282			図面番号 A023 (原図:A2)												
	改修前 東面・北面立面図															





東面立面図 1/200

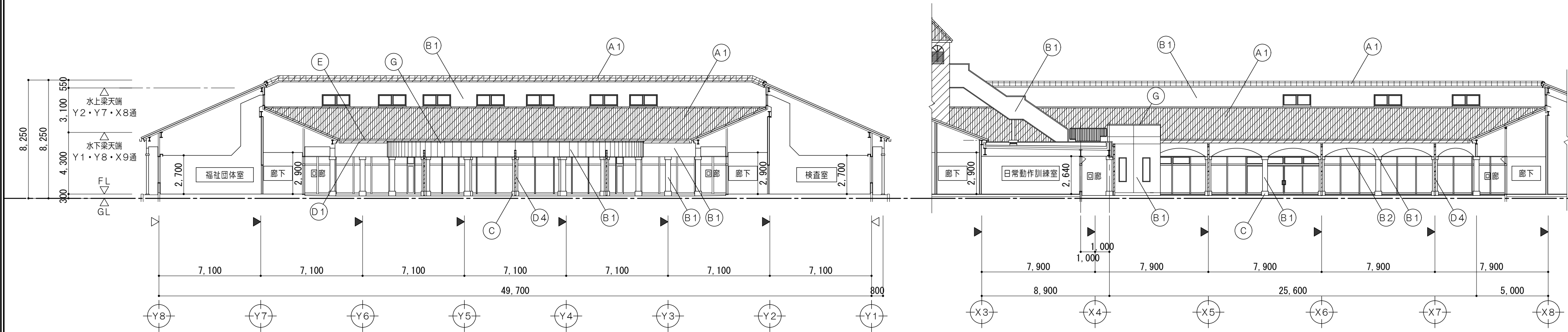


北面立面図 1/200

凡 例

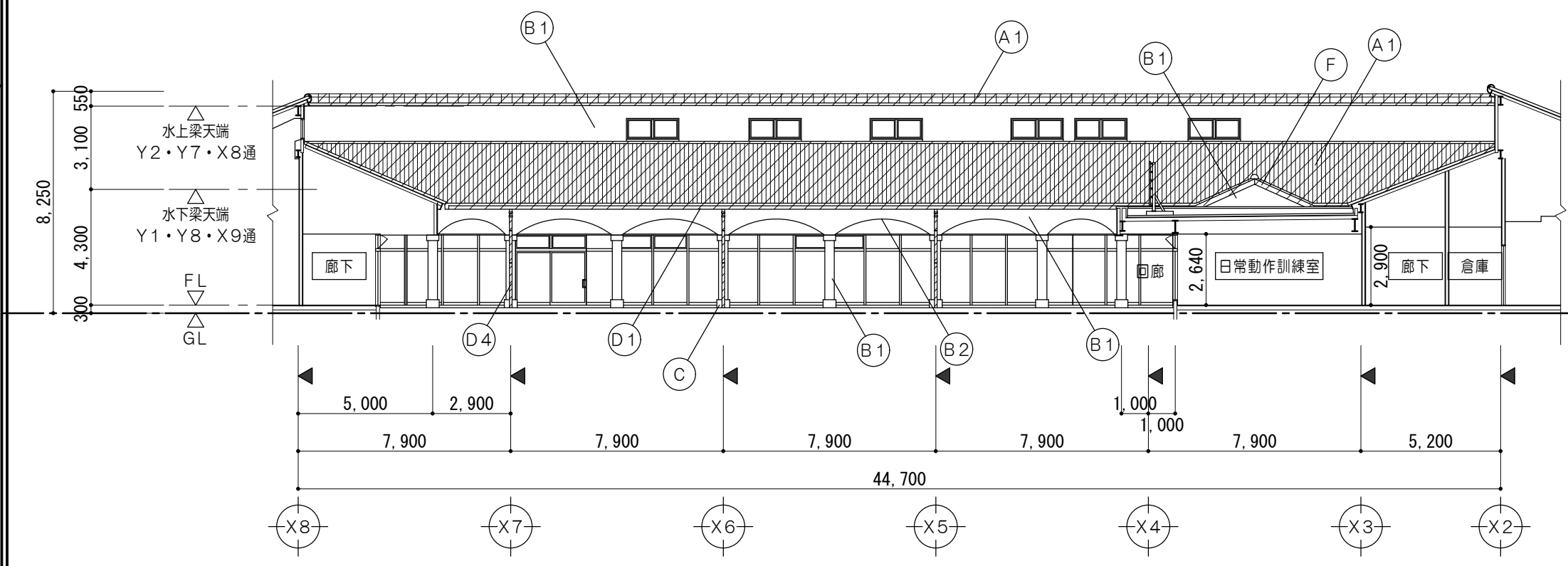
屋根	A1	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板φ490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 谷部：イナズマ谷 屋根同材加工	外壁	B3	<柱型> 窯業系サイディングア16張 下地：既設軽量形鋼 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工	樋	D1	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー	丸柱	M	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）		
		段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板φ490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 棟納め：屋根同材			<浴室棟S造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）		D2	軒樋：塩ビ製角型（前高型）130 カラー			・サッシ回りのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。		
		段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板φ490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 棟納め：屋根同材			<浴室棟RC造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）		D3	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー			・E.X.P.J取合いのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。		
	A2	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板φ490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 棟納め：屋根同材		B4	<浴室棟RC造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）		D4	タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 掴み金物：ステンレスφ1200			・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。		
		段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板φ490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 棟納め：屋根同材			<浴室棟RC造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）		D5	タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 掴み金物：ステンレスφ1200			・外部ガラス面は飛散防止フィルム張とする。 （詳細は建具符号図・建具表参照）		
外壁	B1	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 クラック部シーリング詰め 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa） 目地シーリング打替：PU-2 1.0×1.0 <曲面部上裏> 外装薄塗材E吹付 下地：フレキシブルボードア6張	根廻り	B5	<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工	軒先幕板	E	屋根同材 平板加工 補強下地ア1.2以上					
	B2	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）			<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工		F	屋根同材 平板加工 補強下地ア1.2以上					
	B3	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）			<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工		G	アルミ笠木（サイズはR階平面図による）					
外壁	B4	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）	根廻り	B6	<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工	笠木	H	アルミ製 DP塗替 下地調整RB種の上 鉄部：DP塗替 下地調整RB種の上					
	B5	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）			<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工								
	B6	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ1.0～1.5MPa）			<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工								

特 記 事 項					<div><div><div><div>MAENO</div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	<div><div>作図</div><div><div>三橋</div><div>前田</div></div><div>検図</div><div><div>三橋</div><div>前田</div></div></div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事			設計日 R7/03/17						
													図面番号 改修後 東面・北面立面図		縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	図面番号 A024 (原図:A2)						

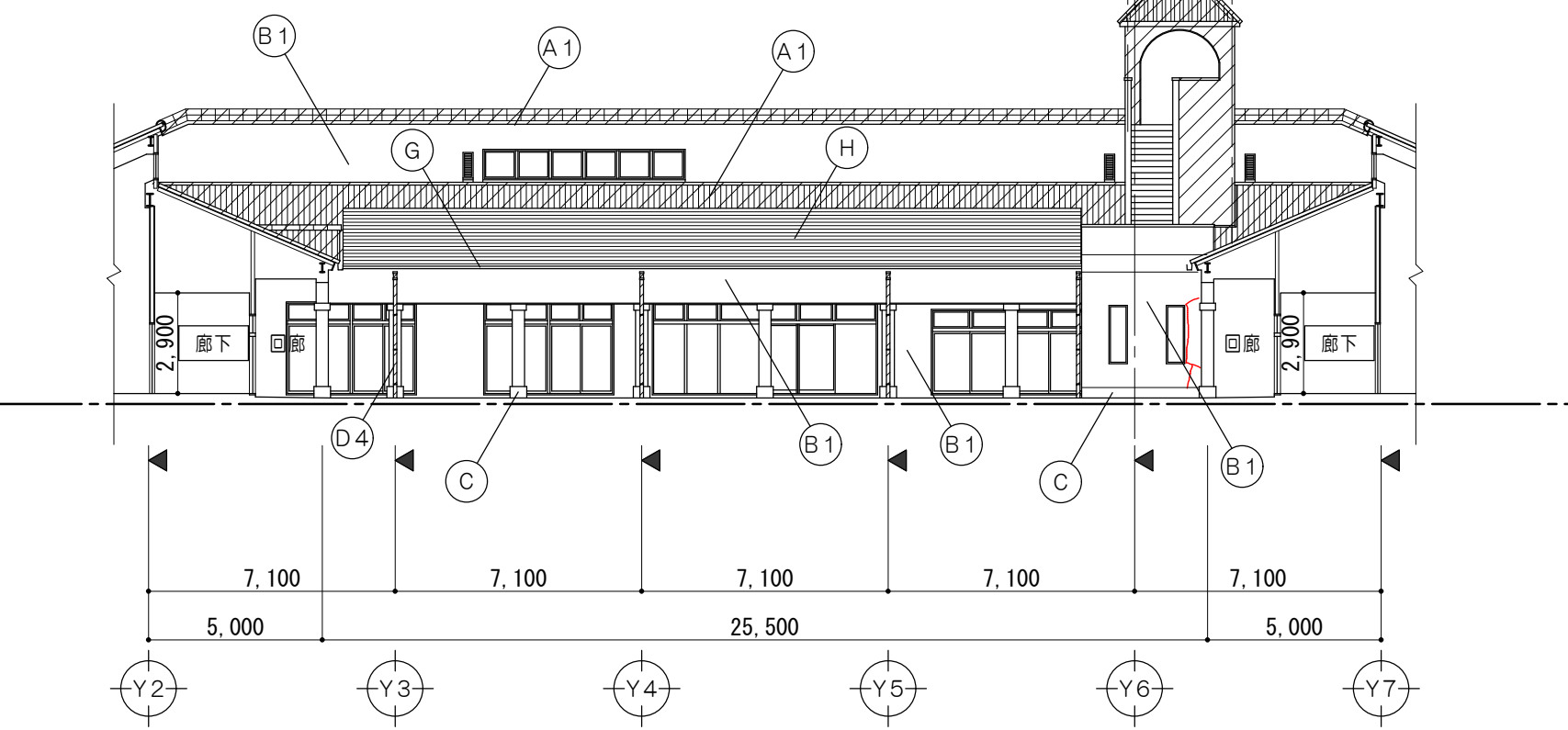


中庭南面立面図 1/200

中庭東面立面図 1/200



中庭西面立面図 1/200

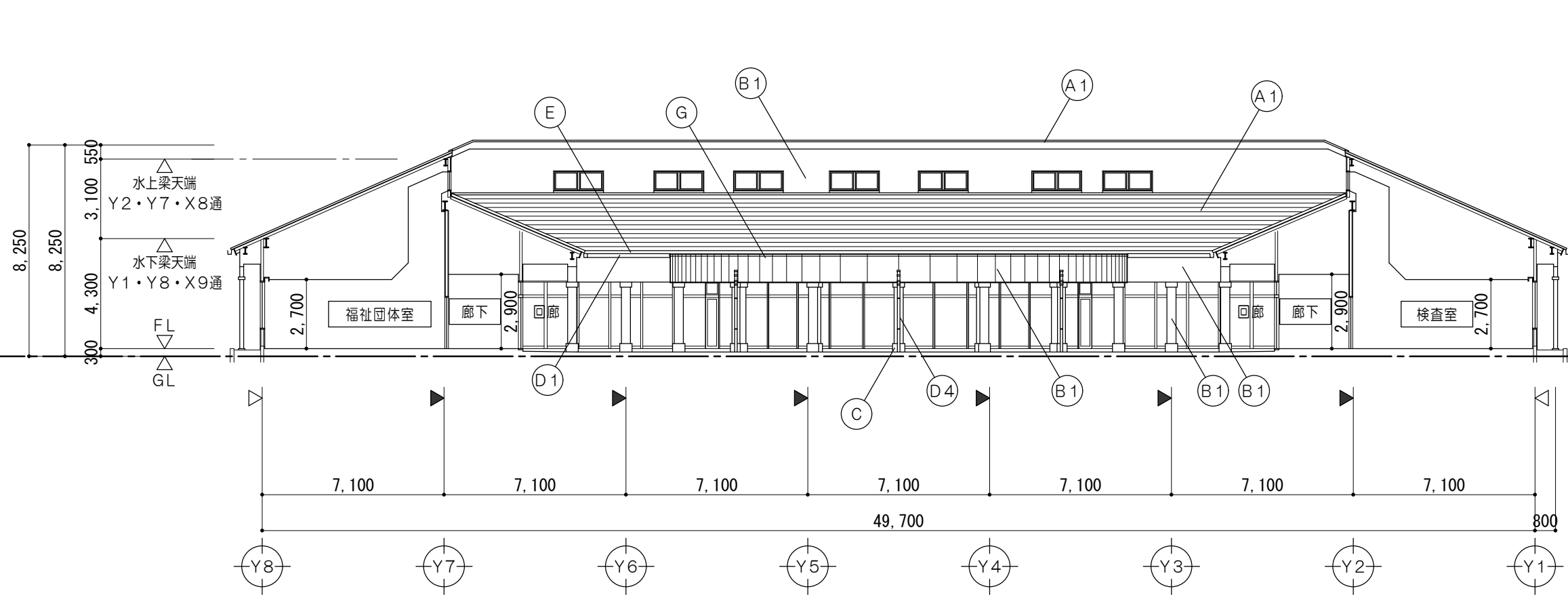


中庭北面立面図 1/200

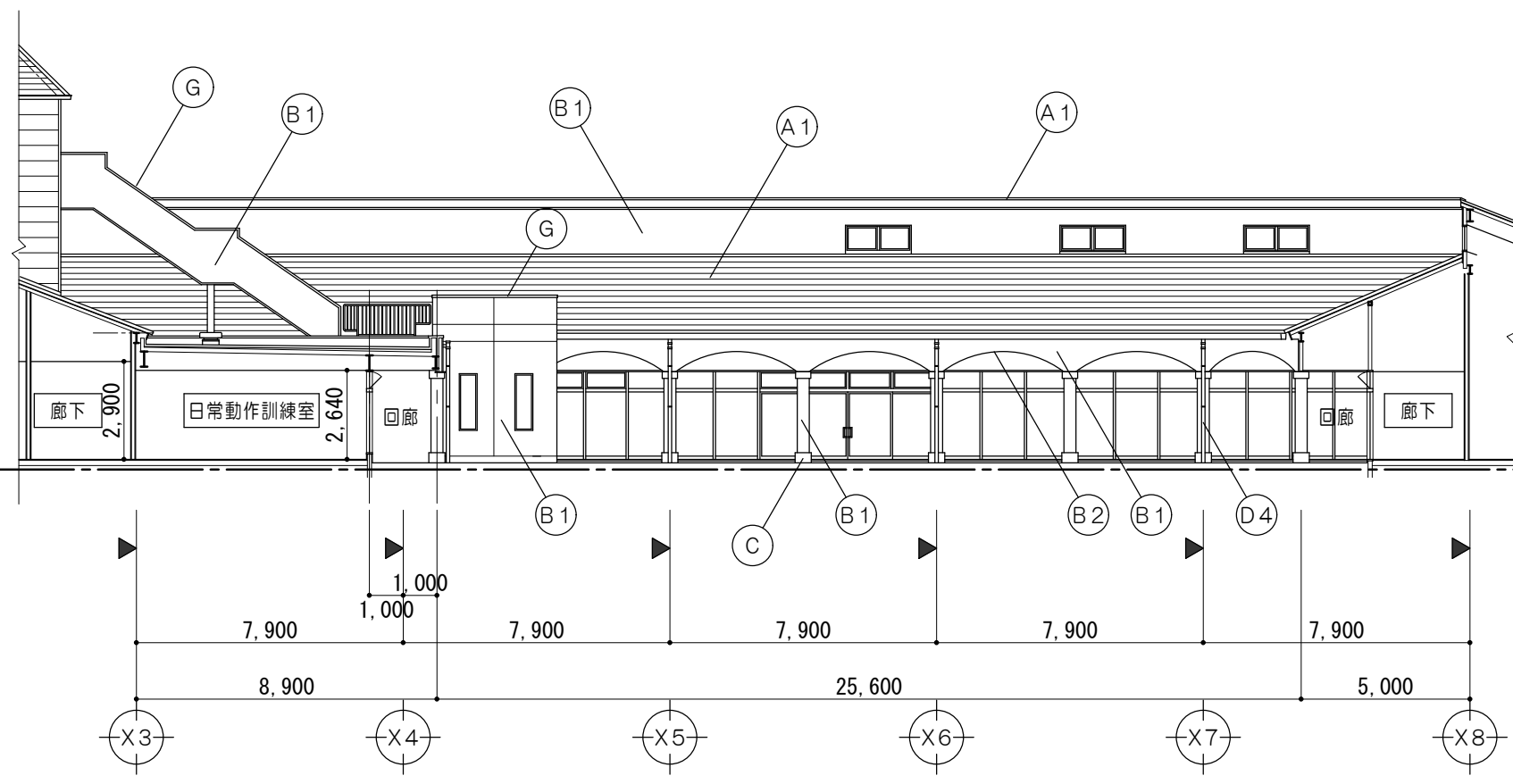
凡 例

屋根	(A1)	洋瓦（スパンニッシュ瓦）葺（4寸勾配、4.5寸勾配）撤去 下地：アスファルトルーフィング22kg 既設のまま 野地板：耐水合板A15 既設のまま（鉄骨下地） 棟瓦、ケラバ：役物（屋根材同材）撤去 谷部：アスファルトルーフィング22kg 2重張（W=600）の上 既設のまま 谷コイルA5、0曲げ加工 撤去	外壁	(B3)	<柱型> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上）撤去 下地：軽量形鋼 モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 撤去 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 撤去	樋	(D1)	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 撤去	装飾煉開口部	(J)	アルミ製ガラリ 撤去 四方枠：アルミA2、0加工 撤去	
	(A2)	洋瓦（スパンニッシュ瓦）葺（4.2寸勾配）耐風、耐震仕様：撤去 下地：パーライトモルタルA40（コンクリート下地）既設のまま ゴムアスファルトルーフィングA0、8 既設のまま 棟瓦：役物2枚 撤去		(B4)	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 樹脂モルタルA5 既設のまま アスファルトフェルト17kg 強化セメント板A12の上 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 既設のまま		(D2)	軒樋：塩ビ製角型100 OP塗 撤去	擁壁笠木	(K)	モルタル金コテ仕上	
外壁	(B1)	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま 下地：モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 既設のまま 目地切@3000 シーリング撤去 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 既設のまま	(B5)	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 既設のまま コンクリート打放補修 目地切@3000 既設のまま 水切：ガルバリウム鋼板A0、4曲げ加工 既設のまま	軒先幕板	(E)	破風板 既製品 撤去	・サッシ回りのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。		△	壁芯を示す	
		(B2)		<曲面部上裏> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 撤去 下地：アスファルトルーフィング17kg ラスシートの上 撤去 モルタル金コテ押エA15 撤去		(F)	破風板 既製品 撤去	・EXP、J取合いのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。		●	既設のままを示す	
	(B2)	合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 撤去 下地：アスファルトルーフィング17kg ラスシートの上 撤去 モルタル金コテ押エA15 撤去	(B6)	<装飾棟外壁> 合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） 撤去 下地：モルタル下地板A12の上モルタル金コテ押エA15 撤去 目地切@3000 シーリング撤去		ケラハ幕板	(G)	アルミ笠木（サイズはR階平面図による）	・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。		※	撤去を示す
		根廻り		(C)			合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上）既設のまま	目隠しルーバー	(H)	アルミ製 既設のまま 鉄部：塗装仕上 既設のまま	・外部ガラス面は飛散防止フィルム張とする。 （詳細は建具符号図・建具表参照）	

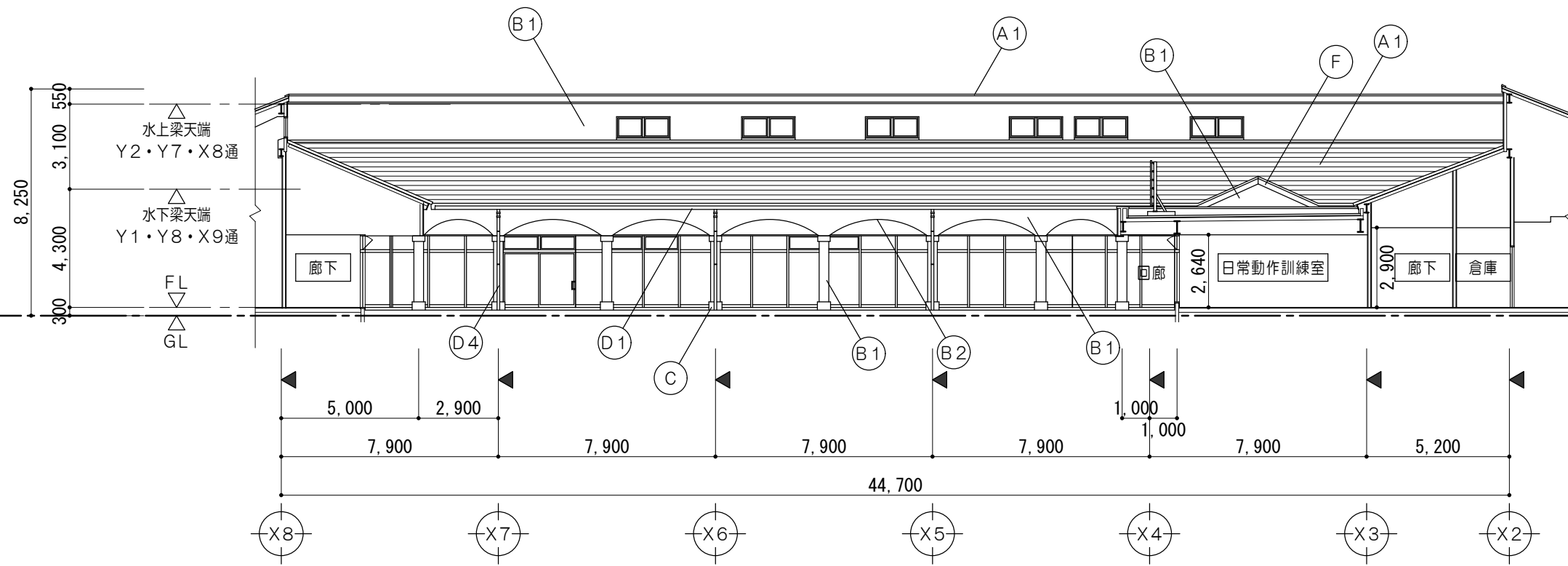
特 記 事 項					<div><div><div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div><div><div>MAENO</div><div>株式 会社</div></div><div>前野建築設計</div></div><div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div></div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第3207846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称		設計日
	<div><div>三橋</div><div>前田</div></div>	令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事		R7/03/											
	検図	縮 尺		図面番号											
	<div><div>前野</div><div>将輝</div></div>	A2:1/200 A3:1/282		A025 (原図:											
								改修前 中庭立面図							



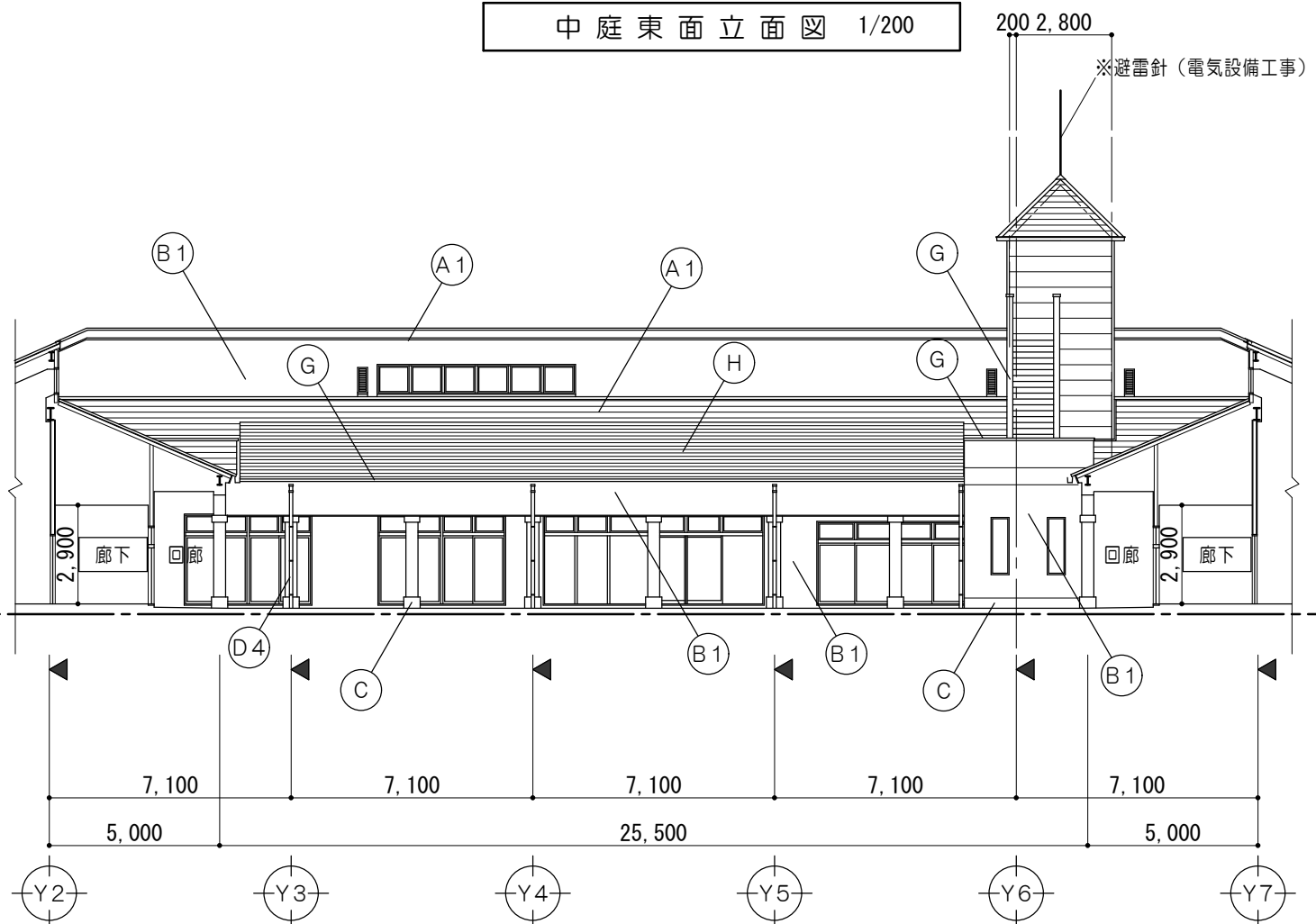
中庭南面立面図 1/200



中庭東面立面図 1/200



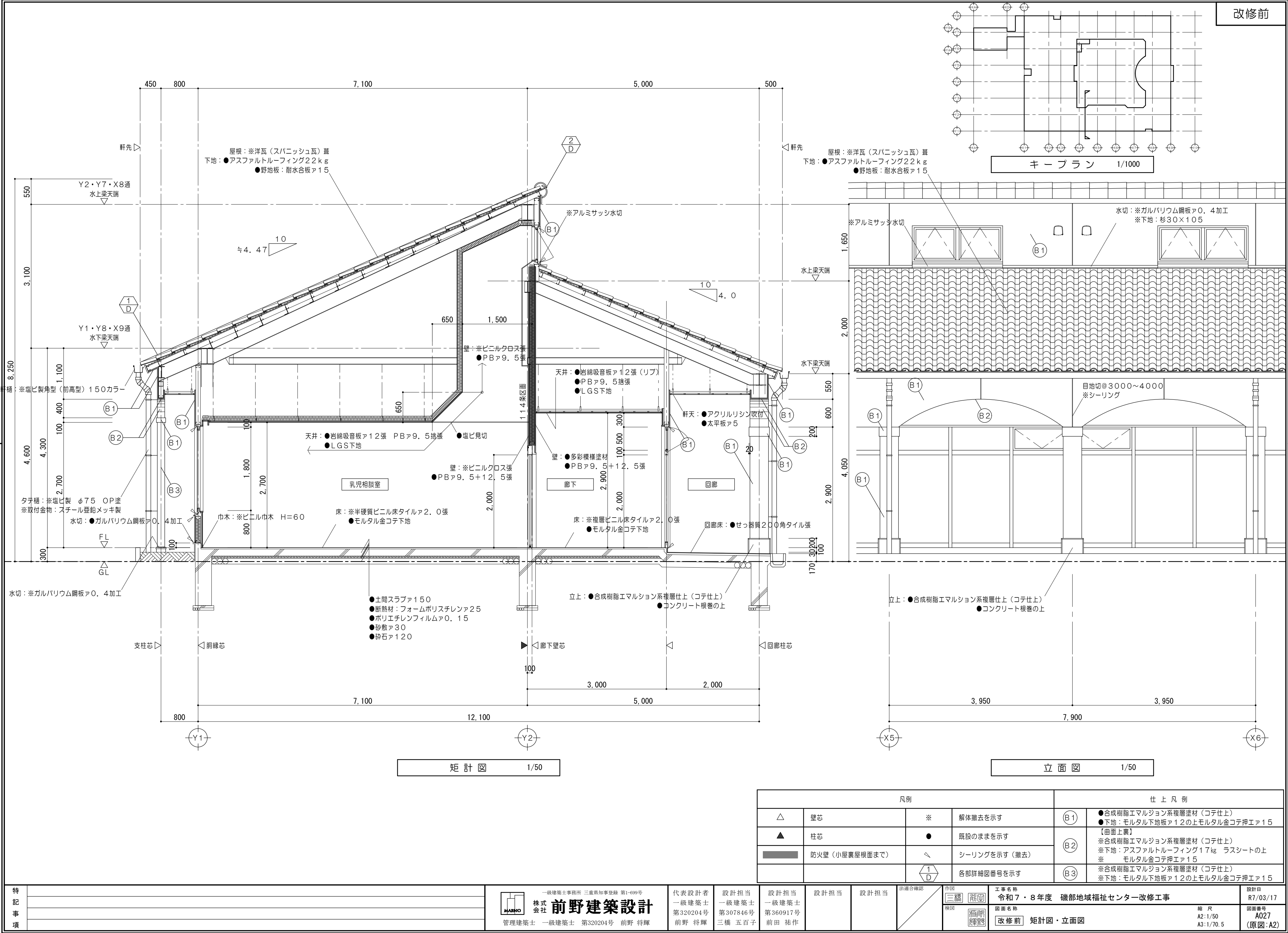
中庭西面立面図 1/200



中庭北面立面図 1/200


凡 例

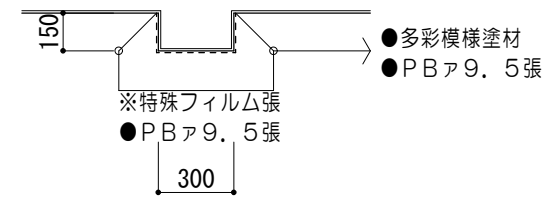
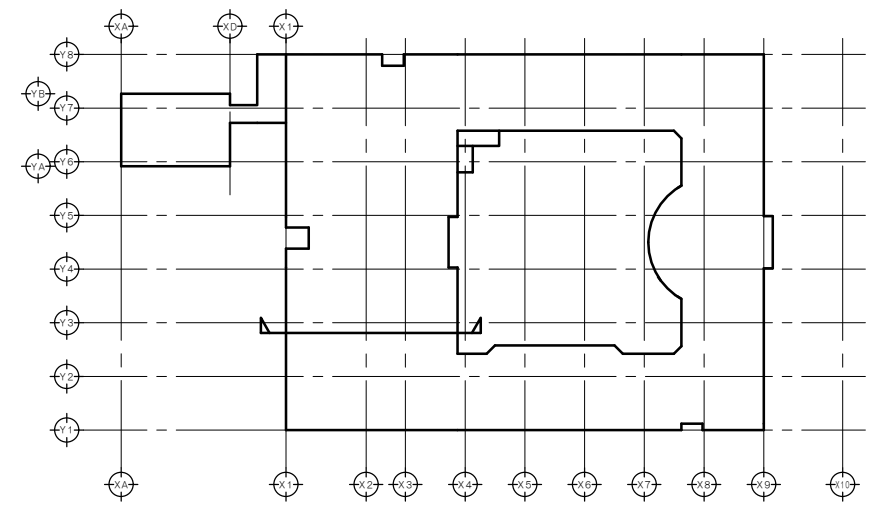
屋根	(A1)	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板@490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 谷部：イナズマ谷 屋根同材加工	外壁	(B3)	<柱型> 窯業系サイディングア16張 下地：既設軽量形鋼 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工	樋	(D1)	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー	丸柱	(M)	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）			
		(D2)			軒樋：塩ビ製角型（前高型）130 カラー									
	(A2)	段付き横葺 働き幅240 カラーガルバリウム鋼板ア0.4 裏貼：ポリエチレンフォームア2.0 断熱材：ビーズ発泡ポリスチレンフォーム ア25 タルキ：亜鉛メッキ鋼板@490 改質アスファルトルーフィングア1.0 粘着層付き（既設アスファルトルーフィングの上） 棟納め：屋根同材		(B4)	<浴室棟S造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		(D3)	軒樋：塩ビ製角型（前高型）150 カラー	・サッシ回りのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと。	▲	柱芯を示す			
		(B5)			<浴室棟RC造部分> 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）		(D4)	タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 掴み金物：ステンレス@1200	・EXP.J取合いのシーリングは撤去の上、シーリング新設のこと	△	壁芯を示す			
					(D5)		タテ樋：塩ビ製VPφ75 カラー 掴み金物：ステンレス@1200	・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。						
外壁	(B1)	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 クラック部シーリング詰め 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 目地シーリング打替：PU-2 10×10	根廻り	(B6)	<装飾棟外壁> 窯業系サイディングア16張 ヨコ張（通気工法） 通気見切縁（コーナー役物共） 透湿防水シート張 水切：カラーガルバリウム鋼板ア0.4加工	軒先幕板	(E)	屋根同材 平板加工 補強下地ア1.2以上	・外部ガラス面は飛散防止フィルム張とする。 （詳細は建具符号図・建具表参照）					
		ケラバ幕板			(F)	屋根同材 平板加工 補強下地ア1.2以上								
	(B2)	<曲面部上裏> 外装薄塗材E吹付 下地：フレキシブルボードア6張		(C)	特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）	笠木	(G)	アルミ笠木（サイズはR階平面図による）						
		目隠しルーバー			(H)	アルミ製 DP塗替 下地調整RB種の上 鉄部：DP塗替 下地調整RB種の上								





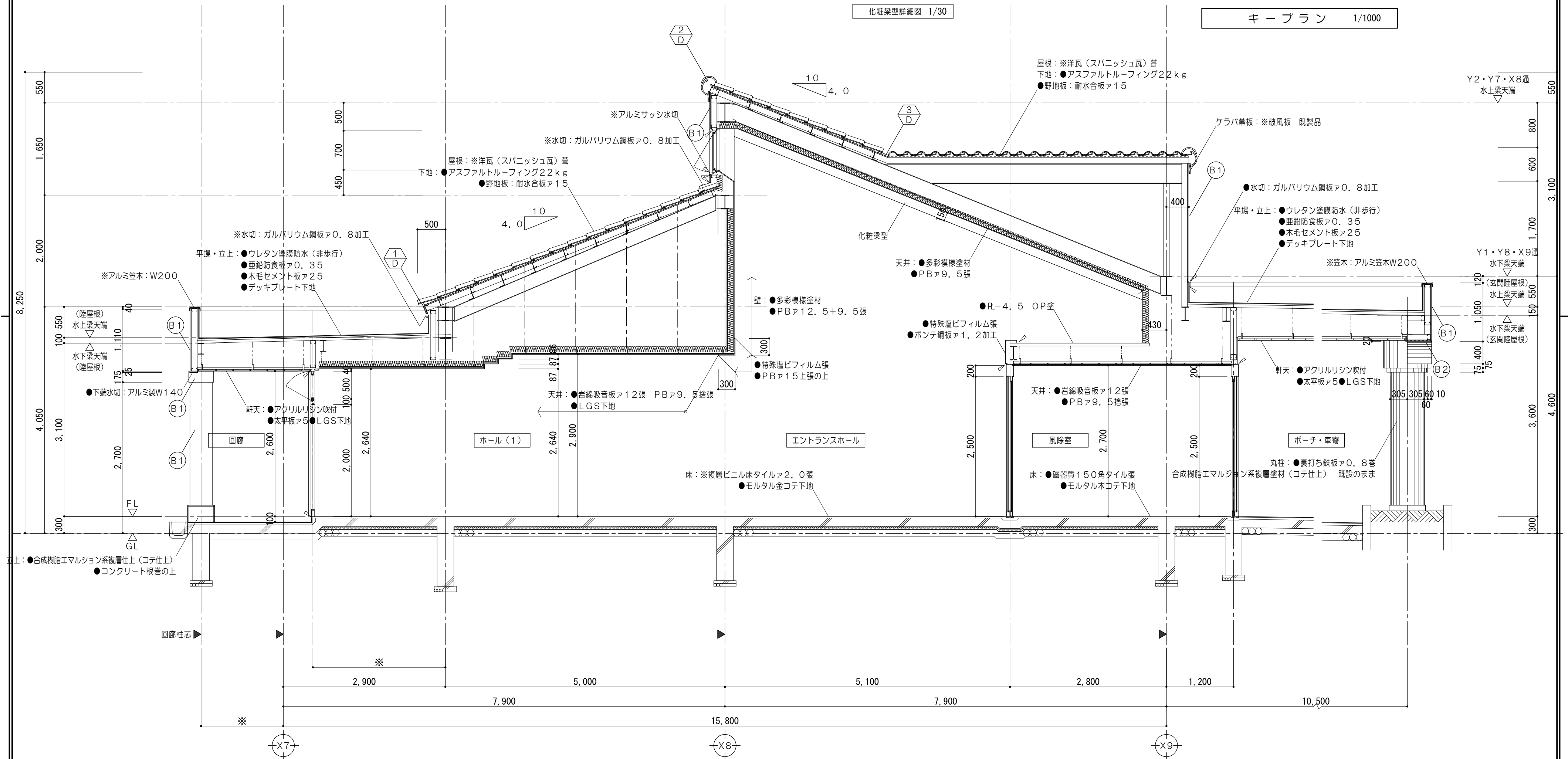


凡 例				仕 上 凡 例	
△	壁芯	※	解体撤去を示す	Ⓑ①	●合成樹脂エマルジョン複層塗材（コテ仕上） ●下地：モルタル下地板ア12の上モルタル金コテ押エア15
▲	柱芯	●	既設のままを示す	Ⓑ②	【曲面上裏】 ※合成樹脂エマルジョン複層塗材（コテ仕上） ※下地：アスファルトフーリング17kg ラスシートの上 ※モルタル金コテ押エア15
	防火壁（小屋裏屋根面まで）		シーリングを示す（撤去）		
			各部詳細図番号を示す		











化粧梁型詳細図 1/30

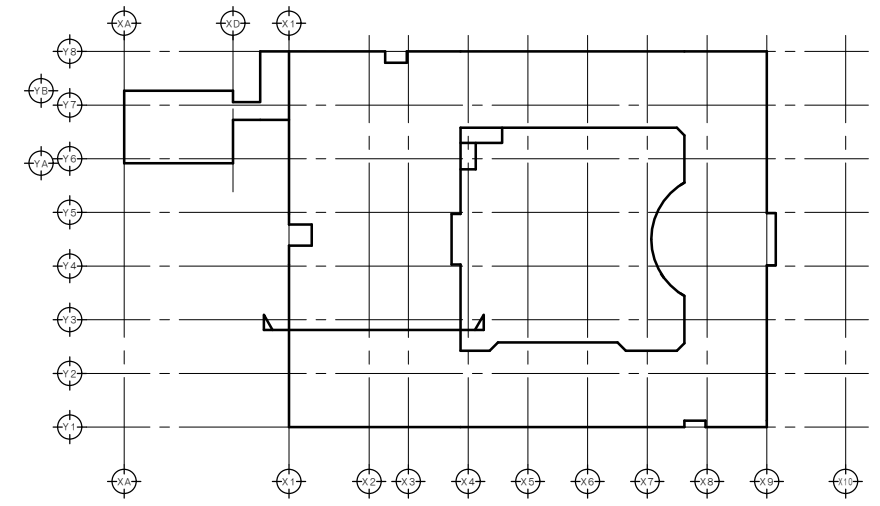
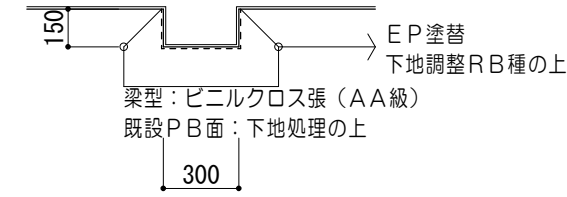
キープラン 1/1000



断面詳細図 No. 1 1/50

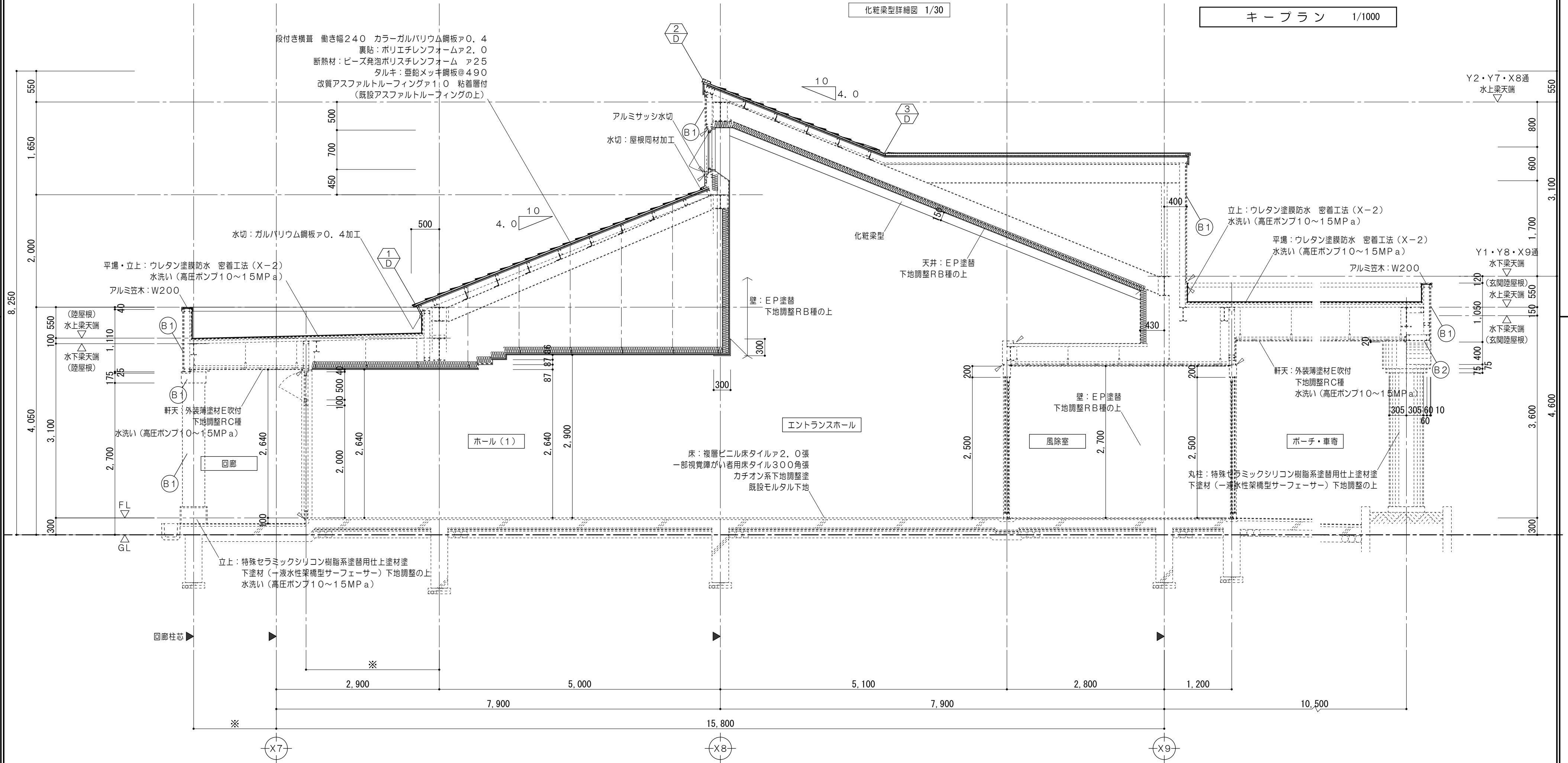
特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div></div><div>MAINO</div></div><div>株式 会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div><div>設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子</div><div>設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作</div><div>設計担当</div><div>設計担当</div><div>法適合確認</div></div>	作図 <div><div><div></div></div><div>三橋</div></div> <div>概図 <div><div><div></div></div><div>前野 将輝</div></div></div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	設計日 R7/03/17
				縮 尺 A2: 1/50、30 A3: 1/70.5、42.3	図面番号 A029 (原図: A2)

凡例		仕 上 凡 例	
	壁芯		特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架構型サフェーサー）下地調整の上 クラック部シーリング詰め 水洗い（高圧ホシブ10～15MPa） 目地シーリング打替：PU-2 10×10
	柱芯		
	防火壁（小屋裏屋根面まで）		
	シーリングを示す		【曲面上裏】 外装薄塗材E 収付 下地：フレキシブルボードA6張
	既設のままを示す		
	各部詳細図番号を示す		



化粧梁型詳細図 1/30

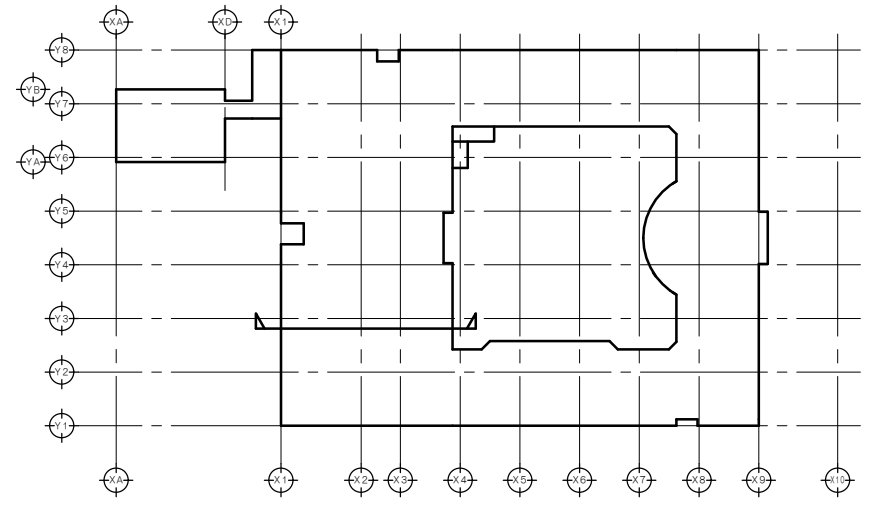
キープラン 1/1000



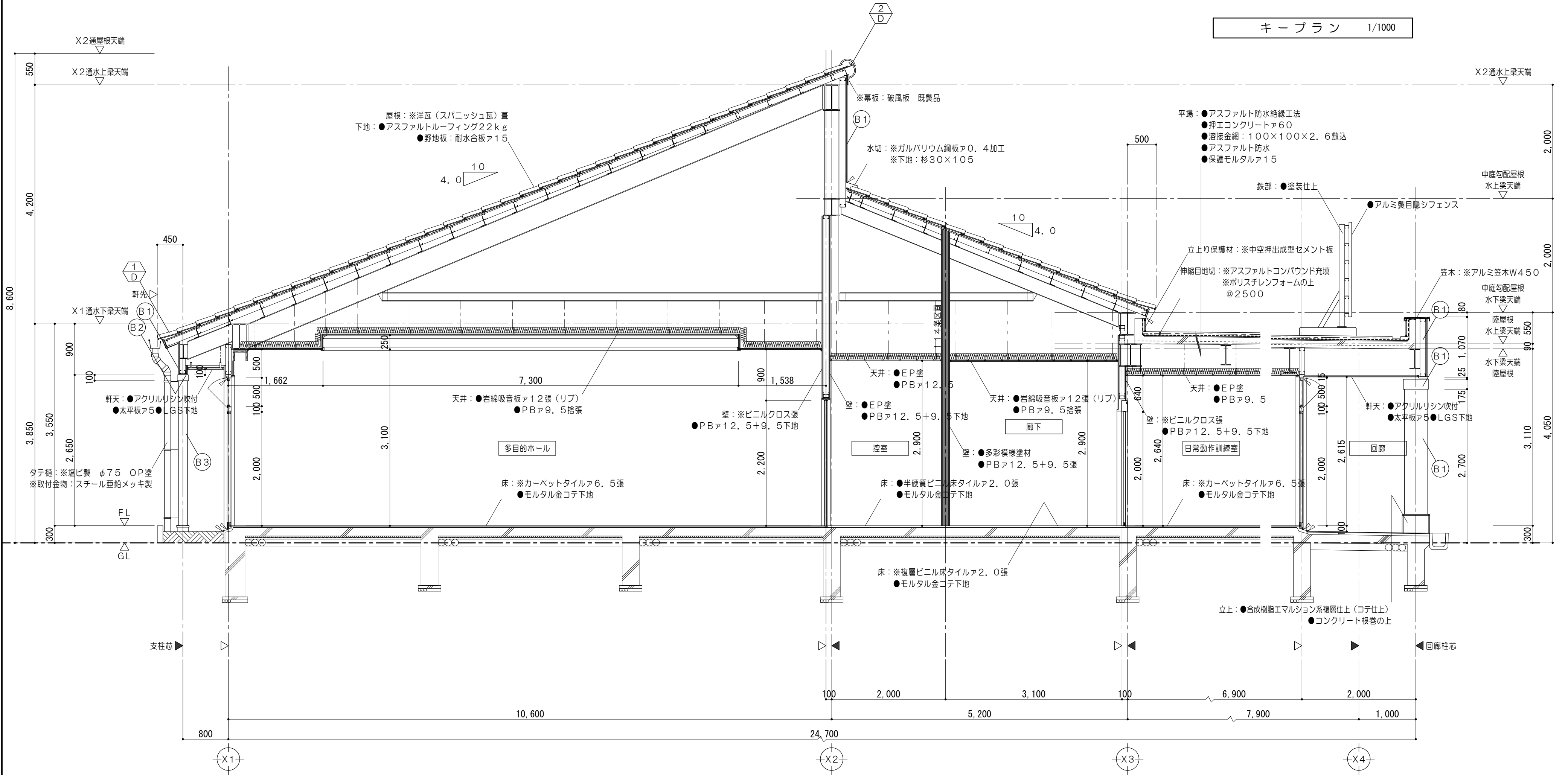
断面詳細図 No. 1 1/50

特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>MAZMO</div><div>株式会社</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	<div>法適合確認</div> <div></div>	<div>作図</div> <div><div>三橋</div><div>前田</div></div> <div>工事名称</div> <div>令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事</div>	設計日
			<div>検図</div> <div><div>前野</div><div>将輝</div></div> <div>図面名称</div> <div>改修後 断面詳細図No. 1</div>	縮 尺	図面番号					
									A2: 1/50、30 A3: 1/70.5、42.3	A030 (原図: A2)

凡 例				仕 上 凡 例	
△	壁 芯	※	解体撤去を示す	Ⓑ1	●合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） ●下地：モルタル下地板ア12の上モルタル金コテ押エア15
▲	柱 芯	●	既設のままを示す	Ⓑ2	【曲面上裏】 ※合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） ※下地：アスファルトフーイング17kg ラスシートの上
	防火壁（小屋裏裏根面まで）		シーリングを示す（撤去）		※ モルタル金コテ押エア15
			各部詳細図番号を示す	Ⓑ3	※合成樹脂エマルジョン系複層塗材（コテ仕上） ※下地：モルタル下地板ア12の上モルタル金コテ押エア15



キープラン 1/1000

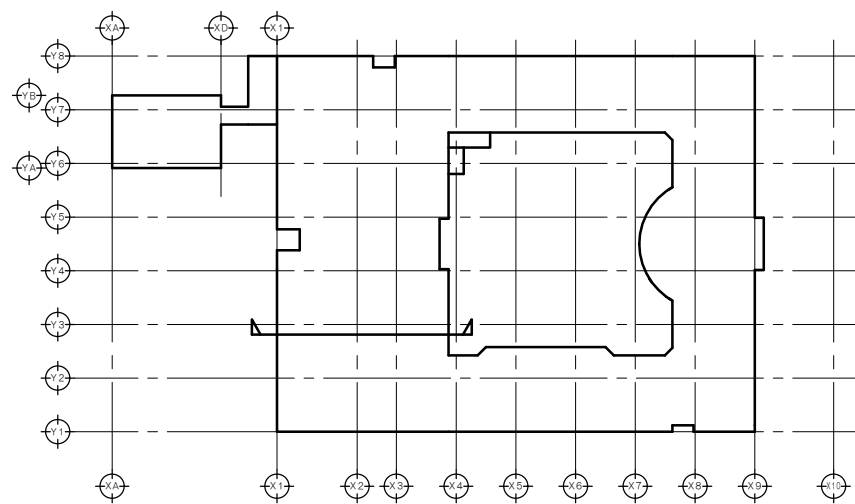


断面詳細図 No. 2 1/50

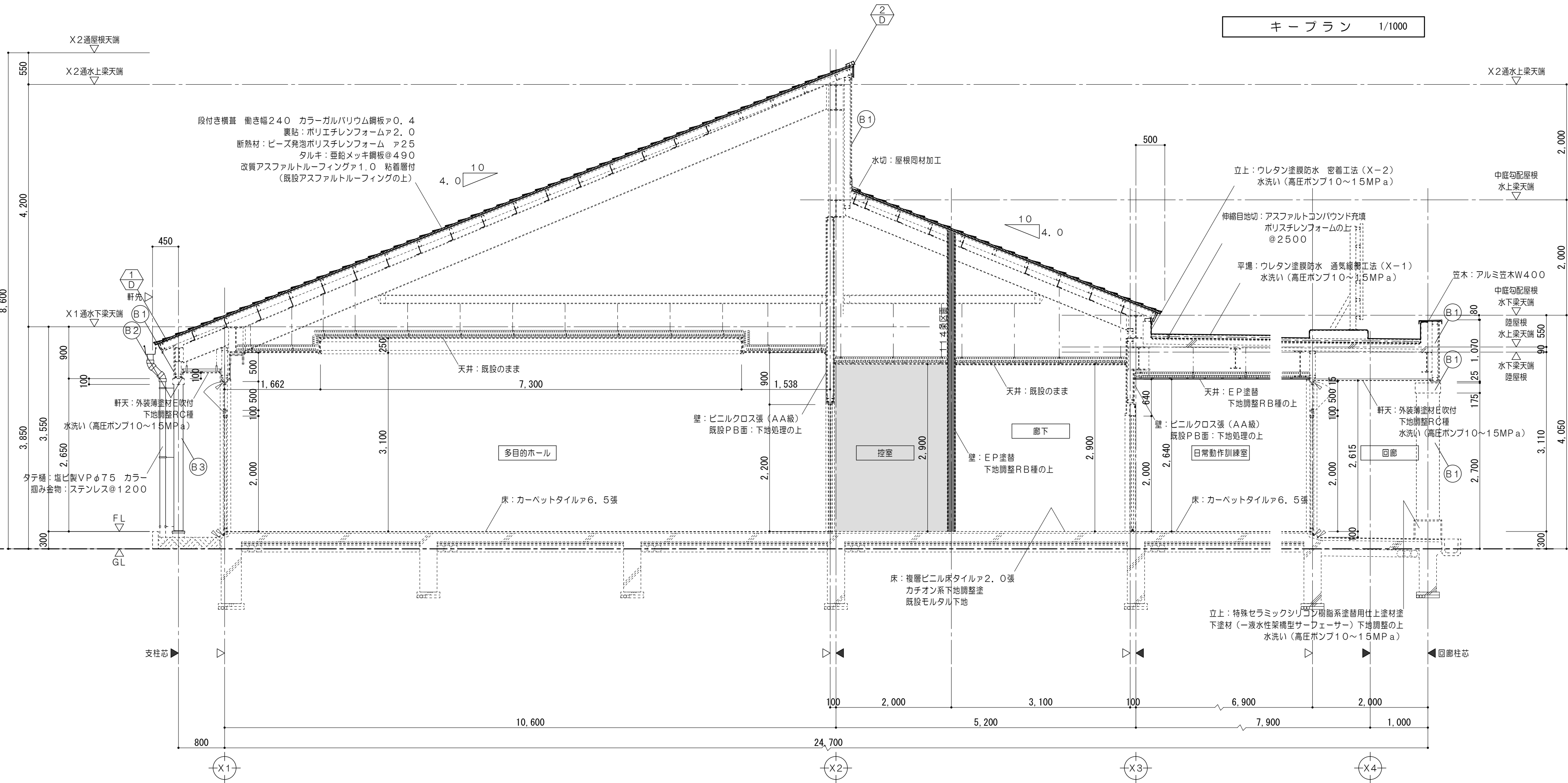
特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <div> 株式会社 前野建築設計</div> <div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>					代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 <div></div> 図面名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	設計日 R7/03/17
						検印 <div></div> 図面番号 A031 (原図:A2)	縮 尺 A2:1/50 A3:1/70.5	改修前 断面詳細図No.2					



凡 例				仕 上 凡 例			
△	壁 芯		シーリングを示す	①	<div>特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 クラック部シーリング詰め 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa） 目地シーリング打替：PU-2 10×10</div>	②	【曲面上裏】 外装薄塗材E吹付 下地：フレキシブルボードA6張
▲	柱 芯		既設のままを示す			③	窯業系サイディングA16張 下地：既設軽量形鋼
	防火壁（小屋裏屋根面まで）		既設のままを示す				
			各部詳細図番号を示す				

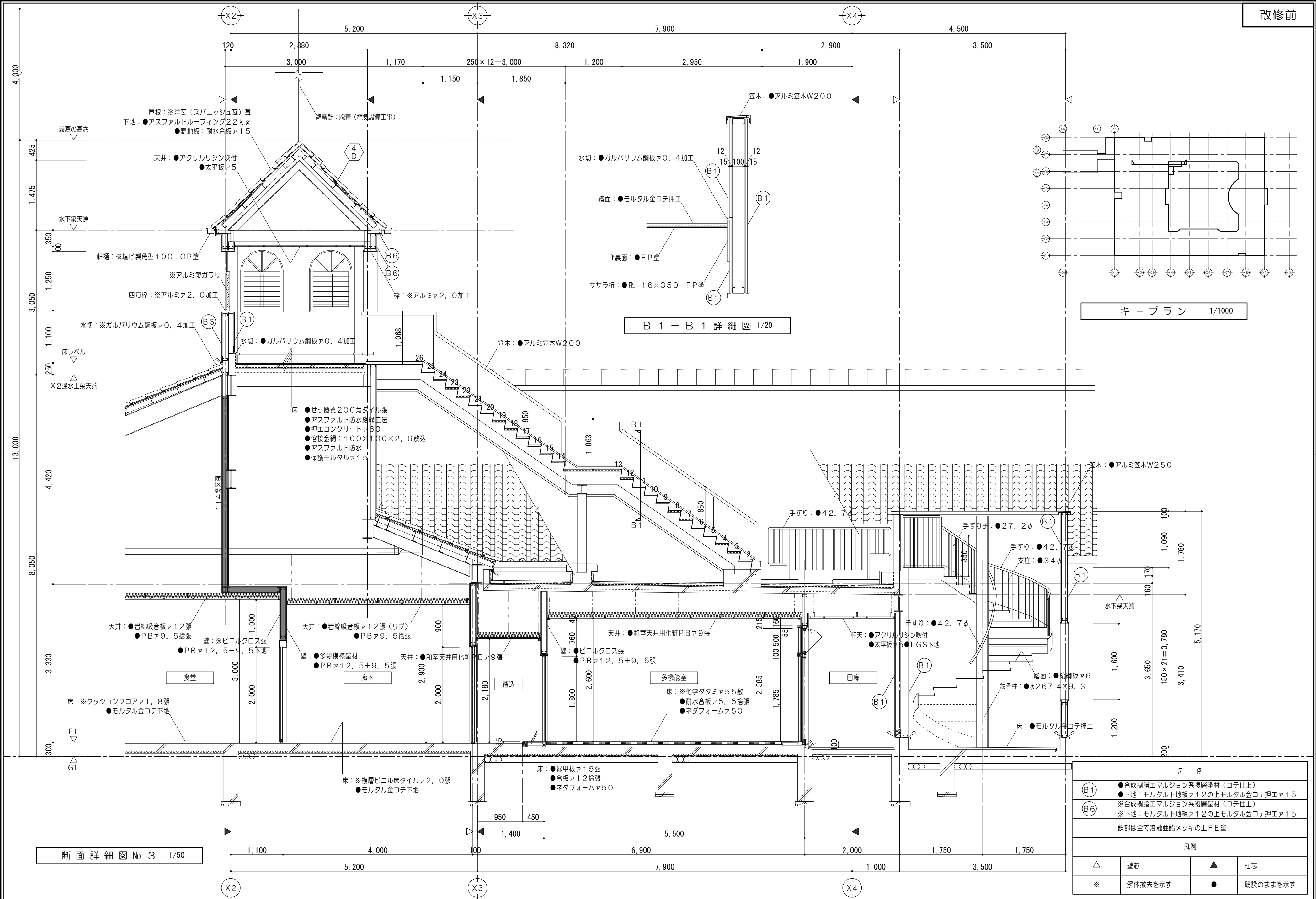


キ ー プ ラ ン 1/1000

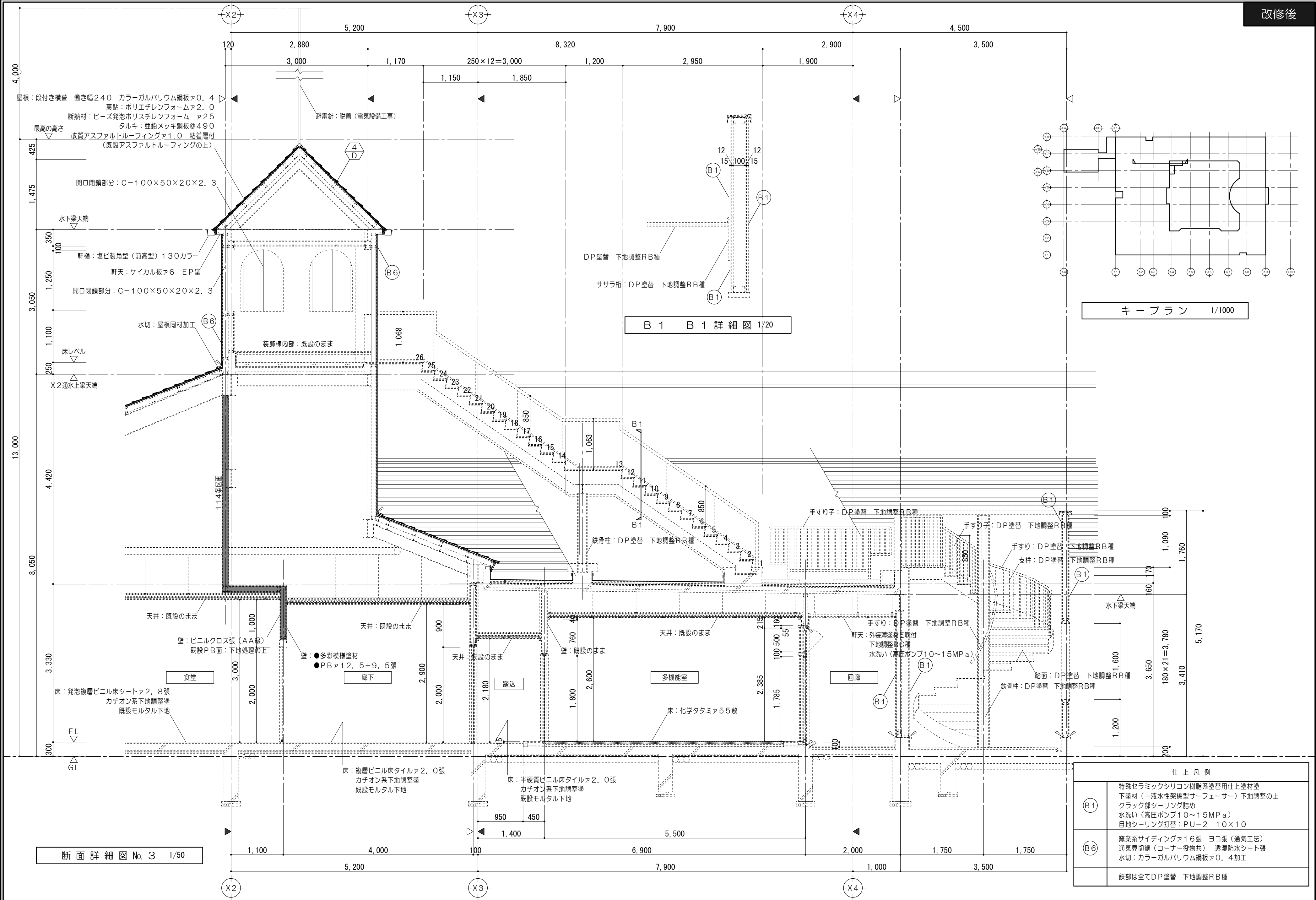


断 面 詳 細 図 No. 2 1/50

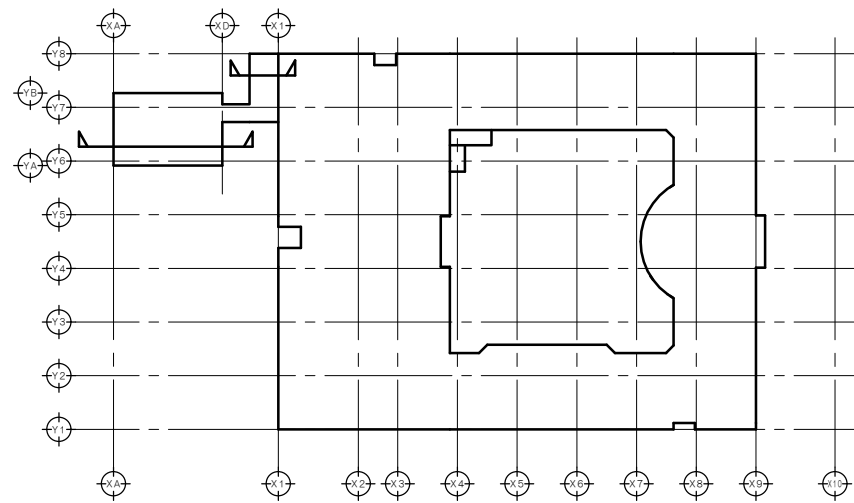
特 記 事 項		<div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	設計日 R7/03/17
									縮 尺 A2:1/50 A3:1/70.5	図面番号 改修後 断面詳細図No.2	図面番号 A032 (原図:A2)



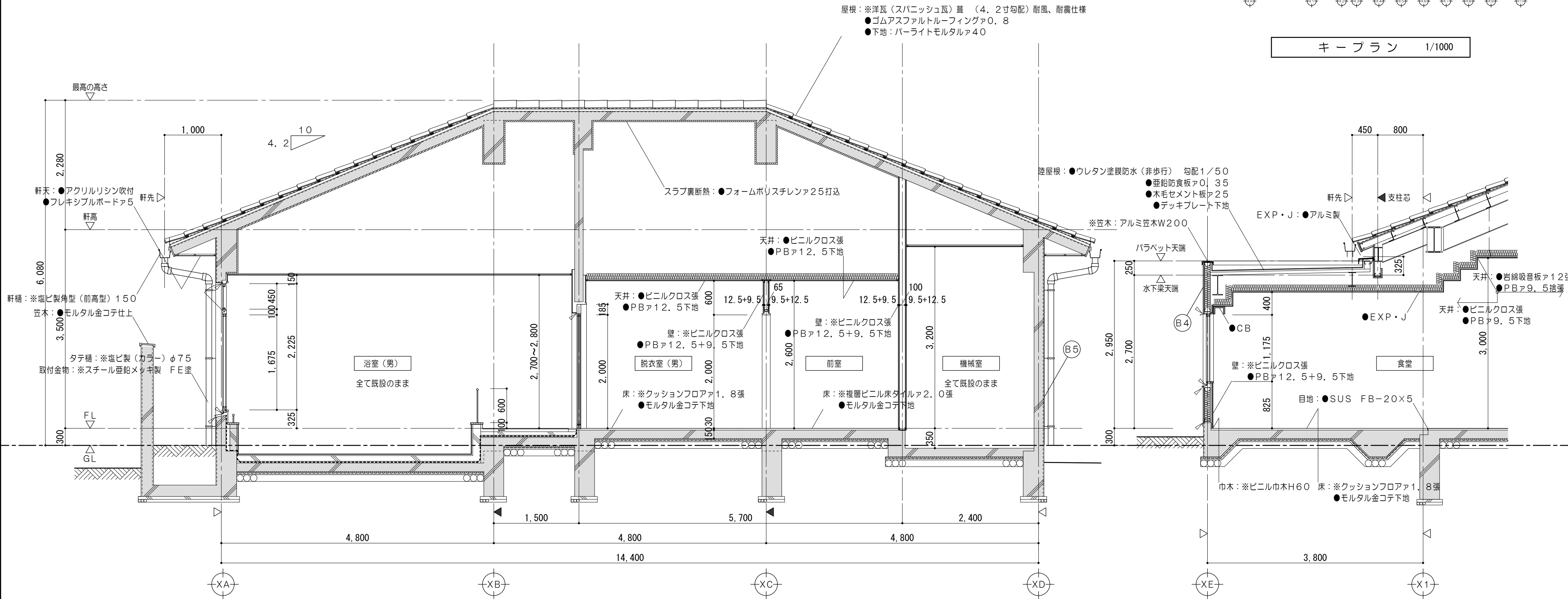
特 記 事 項		 一般建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 <b>前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	作図  校図 	工事名称 <b>令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事</b>	設計日 R7/03/17
								図面名称 <b>改修前 断面詳細図No.3</b>		縮 尺 A2:1/50、20 A3:1/70.5、28.2	図面番号 <b>A033</b> (原図:A2)



特 記 事 項		<div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div> <div>株式会社 前野建築設計</div> <div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	<div>法適合確認</div> <div>作図 </div> <div>検図 </div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事			設計日 R7/03/17
			一級建築士 第320204号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第360917号			図面名称		縮 尺	図面番号		
			前野 将輝	三橋 五百子	前田 祐作			<div>改修後</div> 断面詳細図No.3		A2:1/50, 20 A3:1/70.5, 28.2	A034 (原図:A2)		



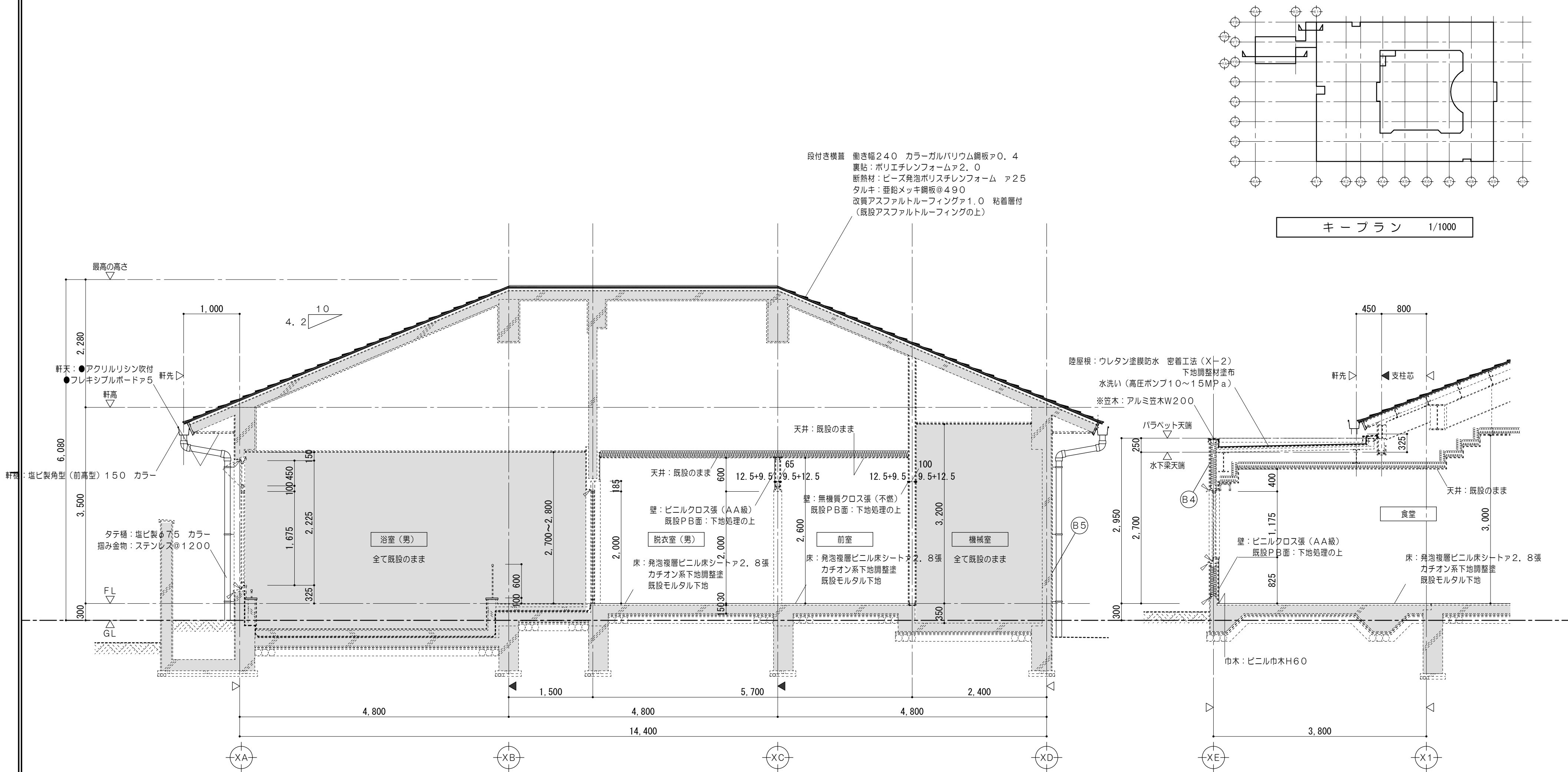
キープラン 1/1000



断面詳細図 No. 4 1/50

凡例 (工事内容)				仕上凡例	
△	壁芯	※	解体撤去を示す	B4	●合成樹脂エマルジョン系複層塗材(コテ仕上) ●樹脂モルタルA5 ●強化セメント板A12の上 ●アスファルトフェルト1.7kg
▲	柱芯	●	既設のままを示す		※合成樹脂エマルジョン系複層塗材(コテ仕上) ●コンクリート打放補修 目地切@3000
■	既設コンクリート躯体を示す	◁	シーリングを示す(撤去)	B5	





断面詳細図 No. 4 1/50

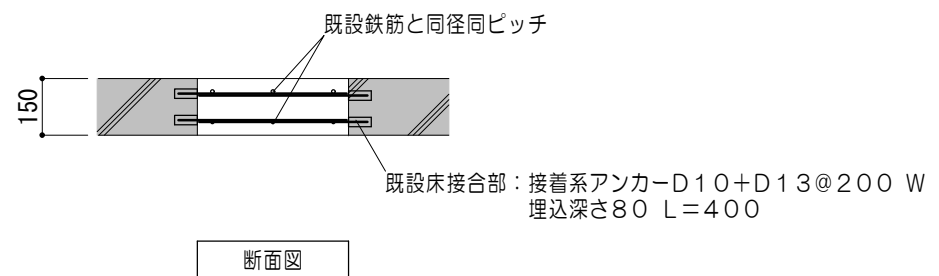
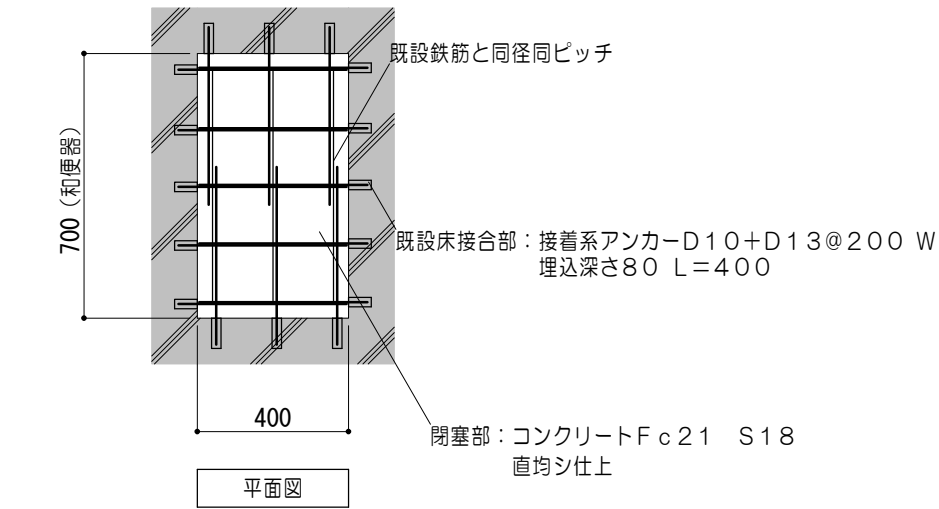
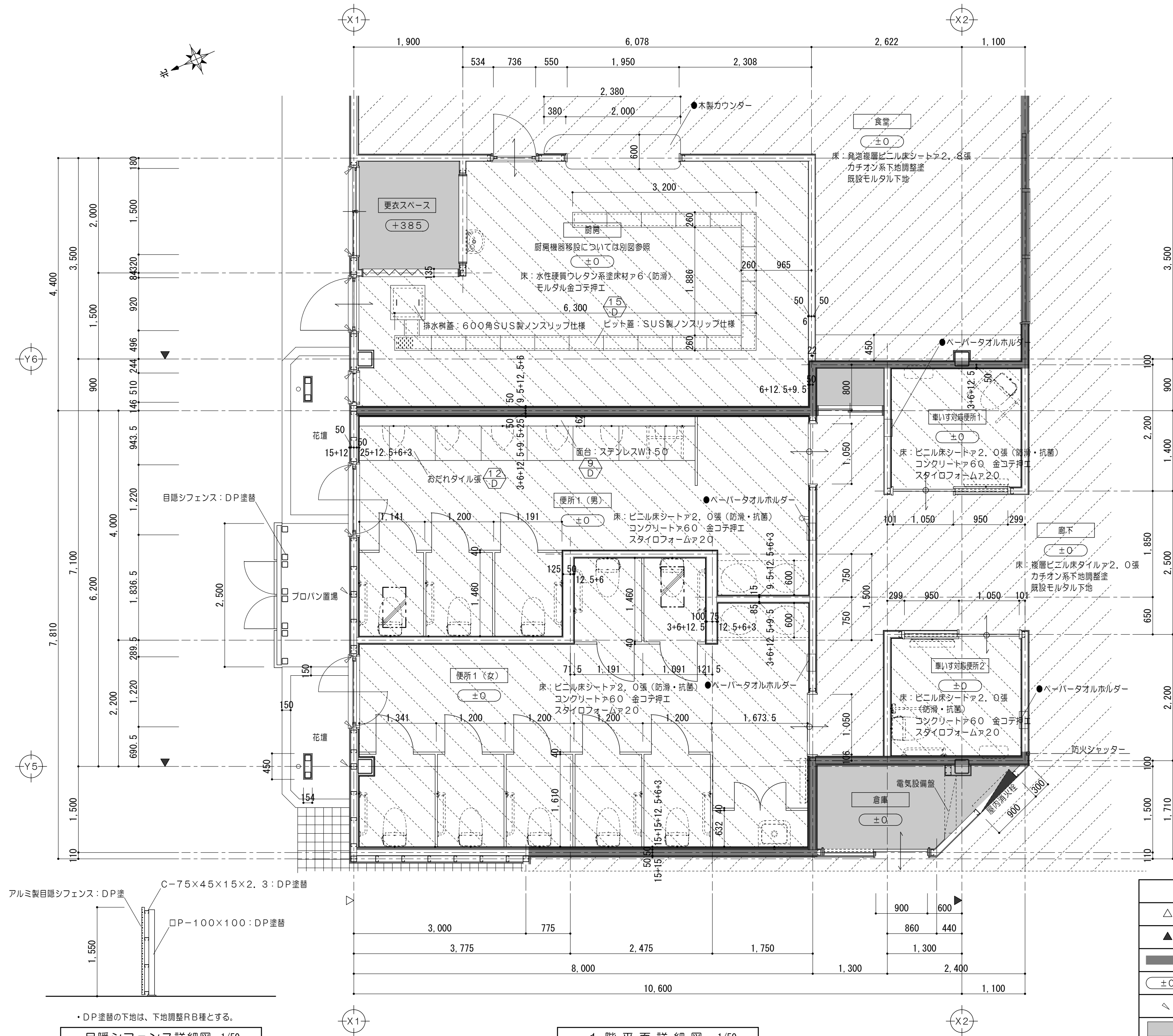
凡例 (工事内容)				仕上 凡 例	
△	壁芯	◁	シーリングを示す	B4	＜浴室棟S造部分＞ 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）
▲	柱芯		既設のまますを示す		
	既設コンクリート躯体を示す		既設のまますを示す	B5	＜浴室棟R造部分＞ 特殊セラミックシリコン樹脂系塗替用仕上塗材塗 下塗材（一液水性架橋型サーフェーサー）下地調整の上 水洗い（高圧ポンプ10～15MPa）



凡 例	
△	壁芯
▲	柱芯
114条区画・面積区画を示す (小屋裏屋根面まで)	
±0	一般F.Lからの床仕上高さを示す
〰	シーリング撤去を示す
〰	仕上 既設のままを示す
〰	床仕上材 撤去範囲を示す
〰	床仕上材・下地材 撤去範囲を示す
〰	床仕上材・下地材・コンクリート 撤去範囲を示す
〰	ステンレス番摺W40を示す (既設のまま)
〰	コンクリートカッター切を示す
〰	モルタルカッター切を示す
〰	コンクリート切り撤去 和便器：400×700 洋便器：400×400
※	解体撤去を示す
●	既設のままを示す

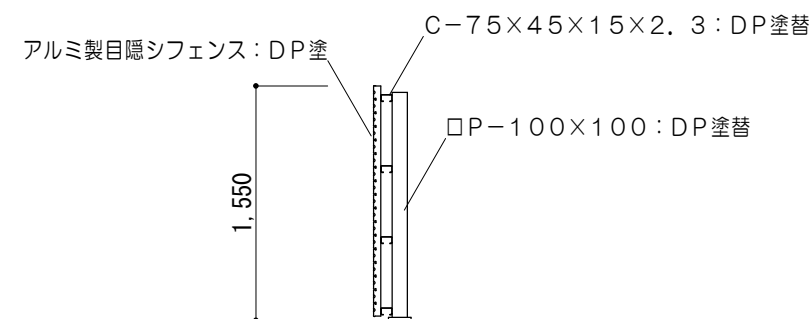
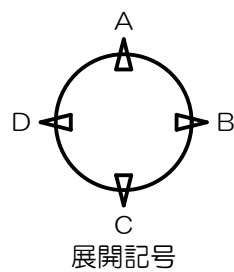
1 階 平 面 詳 細 図 1/50

※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事による。



スラブ配筋			
短辺方向		長辺方向	
位置	端部・中央	位置	端部・中央
上端筋	D13+D10 @200	上端筋	D10 @250
下端筋	D10 @200	下端筋	D10 @250

既設便器部閉鎖詳細図 1/20



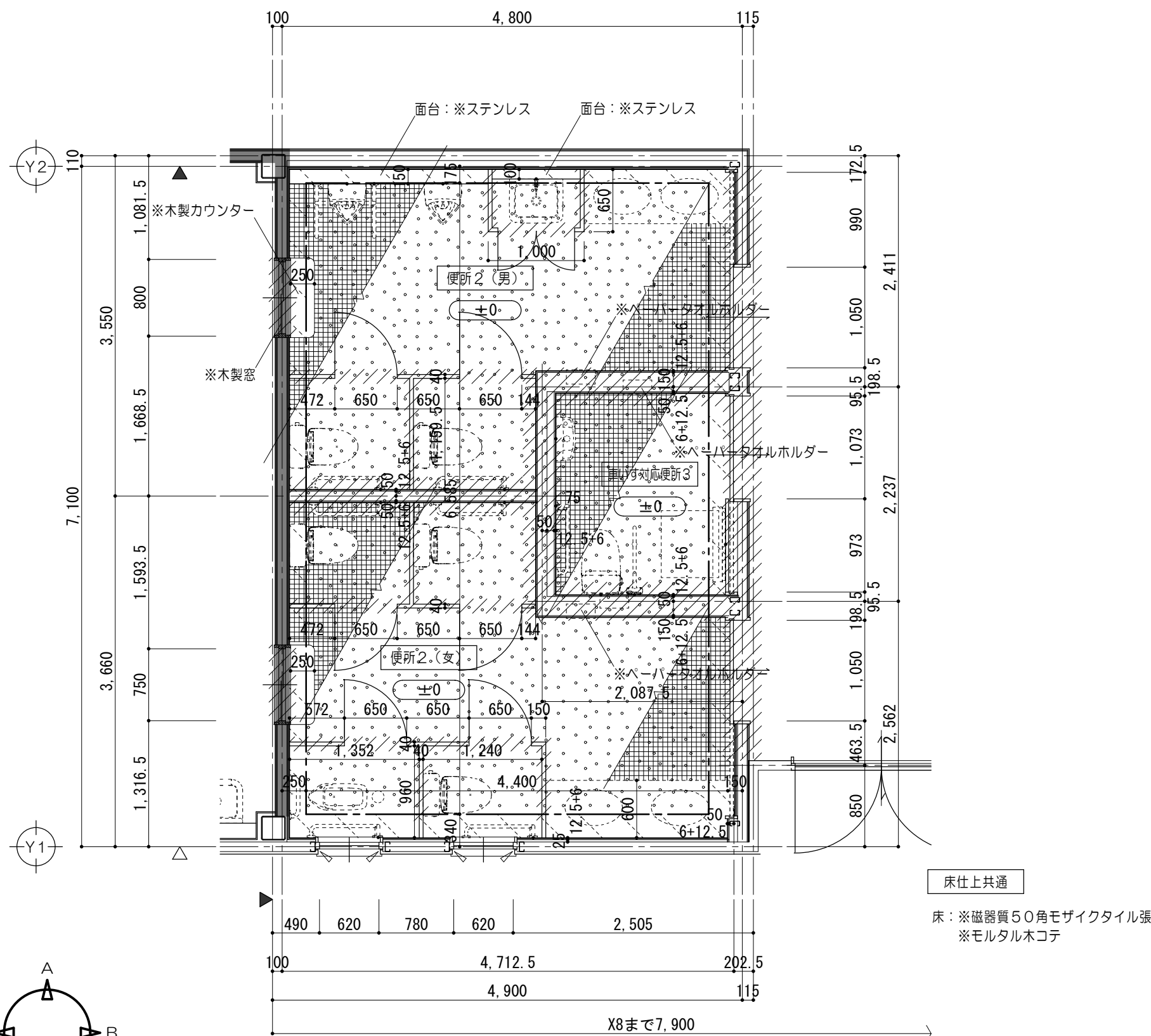
・DP塗替の下地は、下地調整RB種とする。

目隠シフェンス詳細図 1/50

1 階平面詳細図 1/50

※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事による。

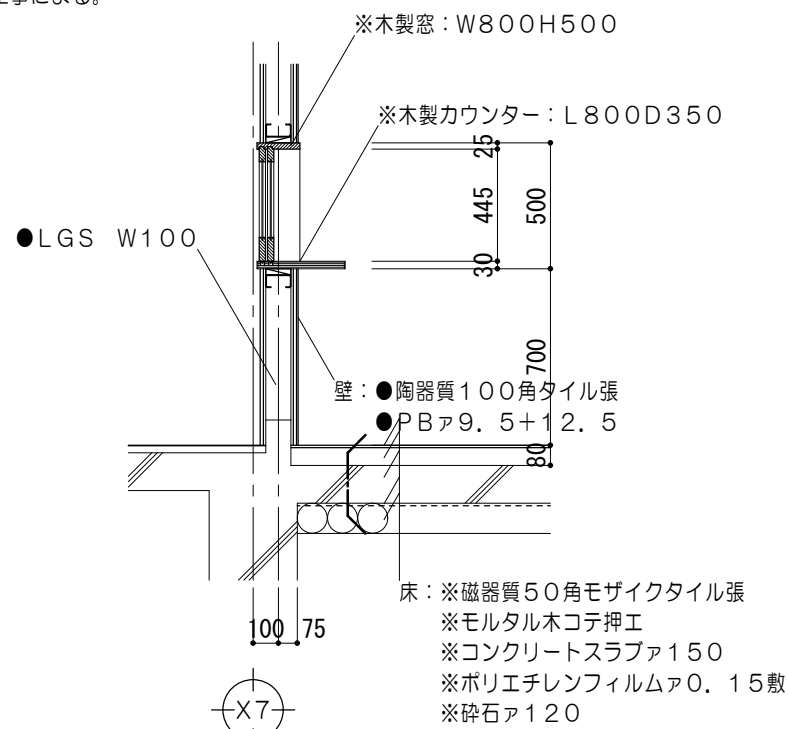
凡 例			
△	壁芯		床仕上材 新設範囲を示す
▲	柱芯		床仕上材・下地材 新設範囲を示す
	1/4条区画・面横区画を示す (小屋裏屋根面まで) (既設)		仕上・下地共新設範囲を示す 和便器：400×700 モルタル30 金コテ押エ スラブコンクリート150 配筋は詳細図参照
±0	一般FLからの床仕上高さを示す		
	シーリングを示す		
	既設のままを示す	●	既設のままを示す
		○	既設消火器(備品)を示す



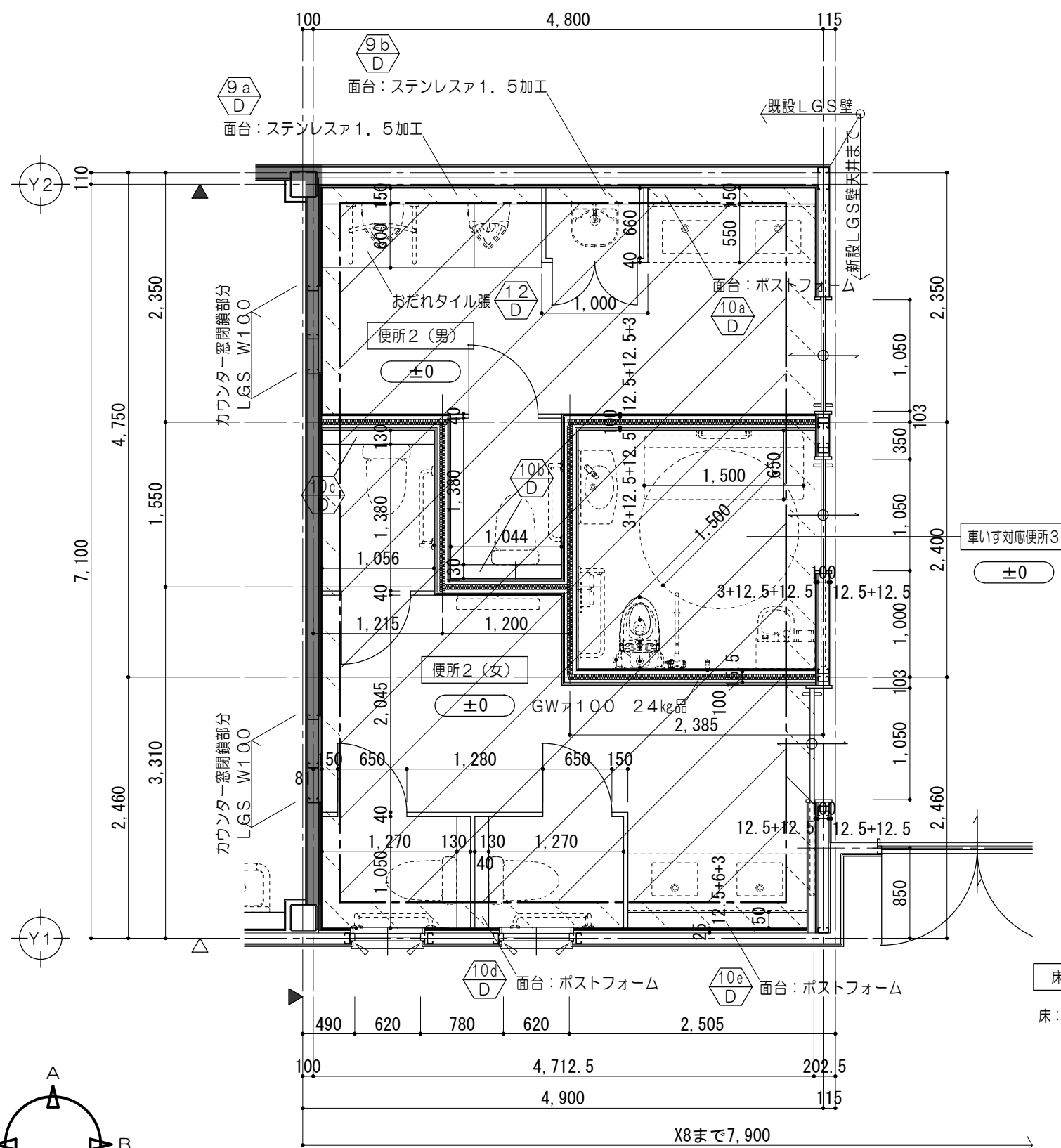
1 階平面詳細図 1/50

※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事による。

凡 例			
△	壁芯	—○—	ステンレス寄摺W40を示す
▲	柱芯	---	コンクリートカッター切を示す
■	114条区画を示す（小屋裏屋根面まで）	-----	モルタルカッター切を示す
±0	一般FLからの床仕上高さを示す	※	解体撤去を示す
↖	シーリング撤去を示す	●	既設のままを示す
///	撤去間仕切壁を示す（LGS下地・建具共）		
■	仕上 既設のままを示す		
□	床仕上材 撤去範囲を示す		
□	床仕上材・下地材 撤去範囲を示す		
□	床仕上材・下地材・コンクリート 撤去範囲を示す		



カウンター窓詳細図 1/30

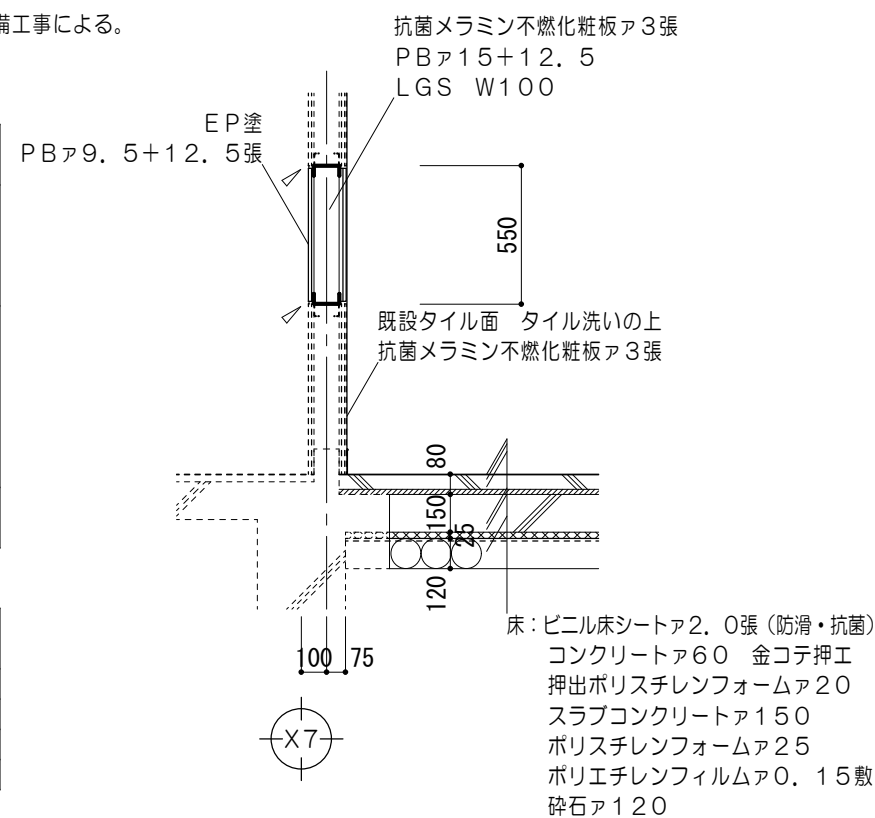


1 階平面詳細図 1/50

※点線表記の衛生器具設置は機械設備工事による。

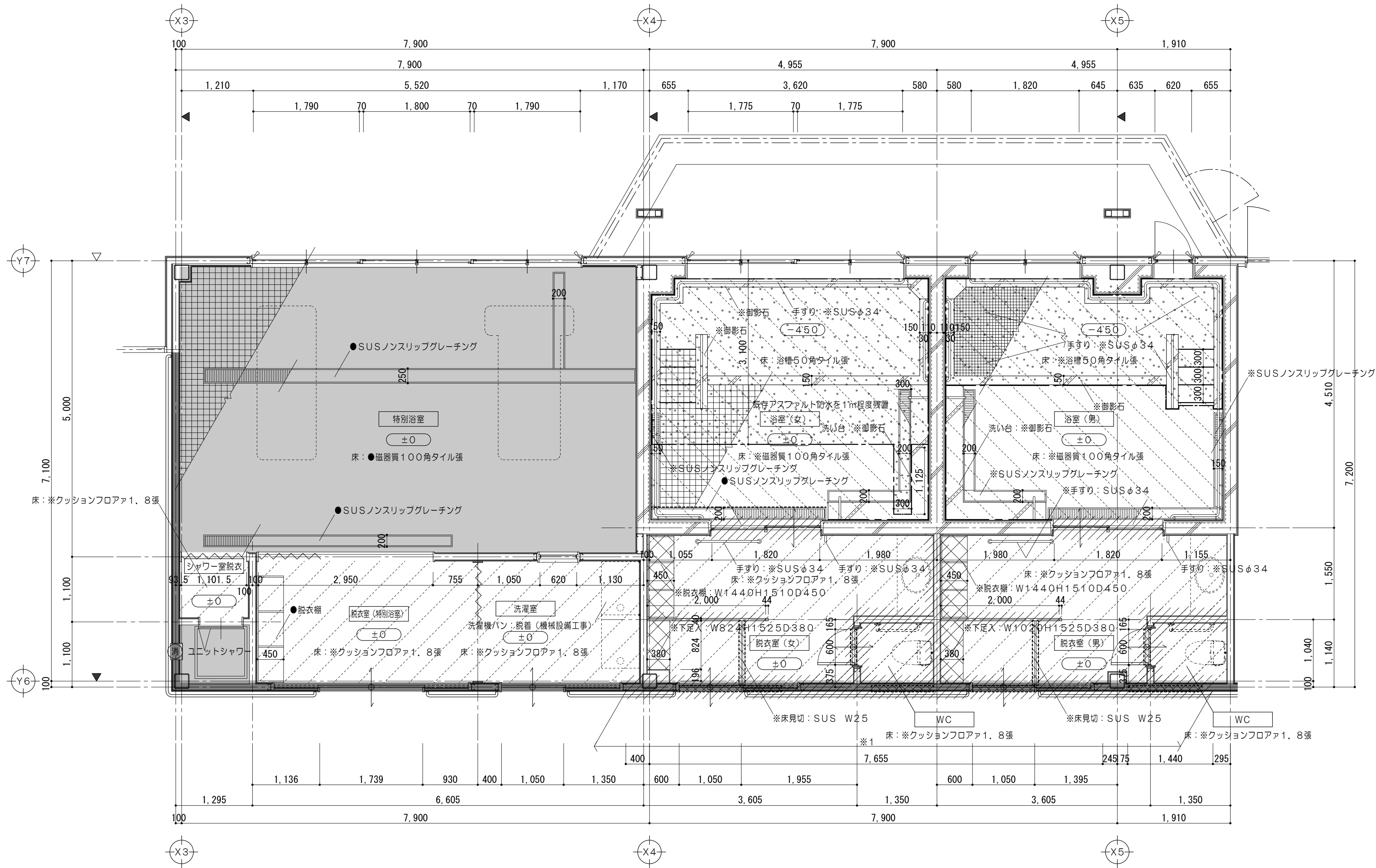
凡 例			
△	壁芯	□	床仕上 ビニル床シートア2.0張（防滑・抗菌） モルタル金コテ押エ
▲	柱芯	□	床仕上 ビニル床シートア2.0張（防滑・抗菌） モルタル金コテ押エ ポリスチレンフォームア25 ポリエチレンフィルムア0.15敷 砕石ア120
■	114条区画を示す（小屋裏屋根面まで）	□	各部詳細図を示す
±0	一般FLからの床仕上高さを示す		
↖	シーリングを示す		
—○—	ステンレス寄摺W40を示す		

スラブ凡例					
	コンクリートスラバ150 F c 24 S 18	短辺方向		長辺方向	
		位置	端部・中央	位置	端部・中央
		上端筋	D13+D10 @200	上端筋	D10 @250
		下端筋	D10 @200	下端筋	D10 @250



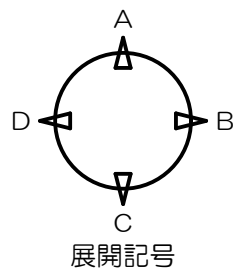
カウンター窓閉鎖部詳細図 1/30



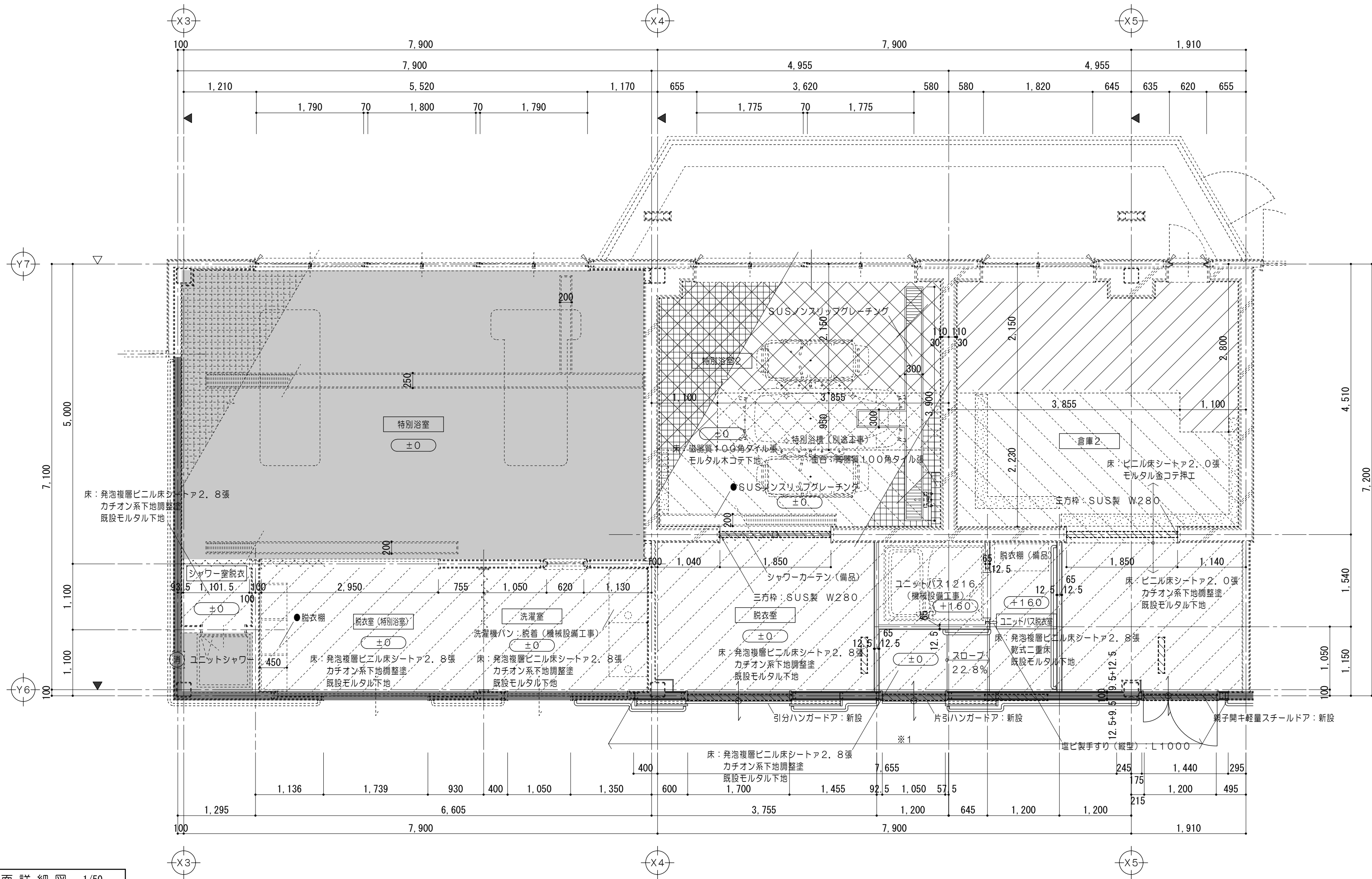


1 階 平 面 詳 細 図 1/50

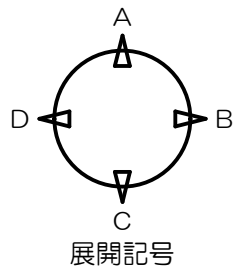
※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事による。



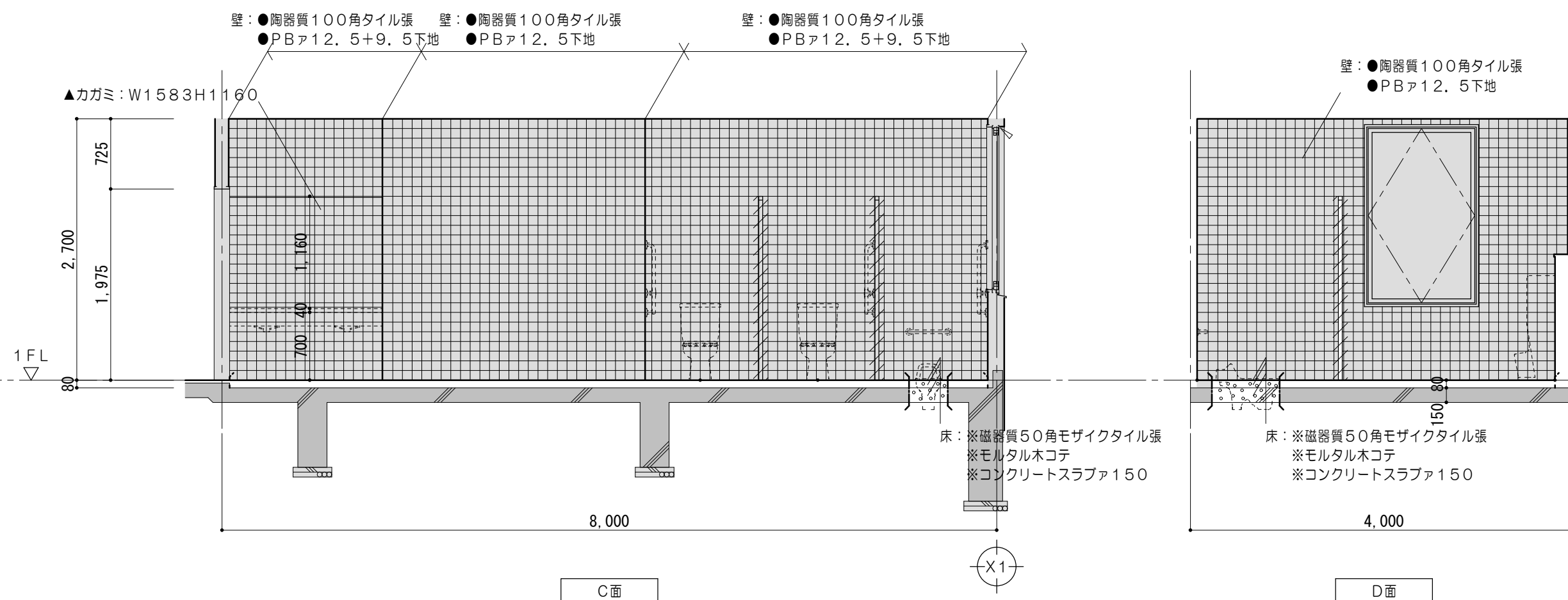
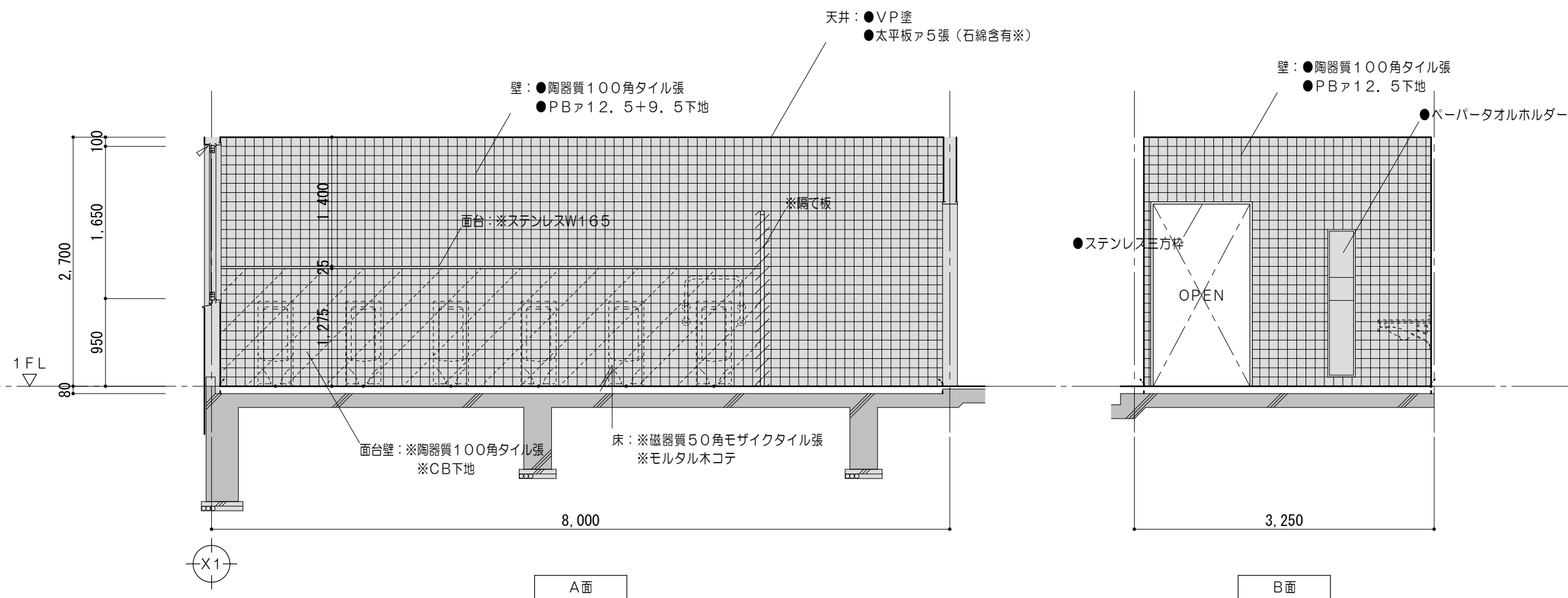
凡 例			
△	壁芯		床仕上材 撤去範囲を示す
▲	柱芯		床仕上材・下地材 撤去範囲を示す
	114条区画を示す (小屋裏屋根面まで)		床仕上材・下地材・シンダー・コンクリート 撤去範囲を示す
±0	一般F Lからの床仕上高さを示す		ステンレス柵W40を示す
∧	シーリングを示す		コンクリートカッター切を示す
	撤去間仕切壁を示す (LGS下地・建具共)		モルタルカッター切を示す
	仕上 既設のままを示す		柵撤去・新設部分 モルタル溝ハツリ
※	解体撤去を示す	※ 1	建具撤去・新設影響部分 壁：LGS下地 PBア9.5+12.5(両面) 撤去
●	既設のままを示す		手すり・キックガード：撤去


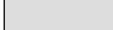
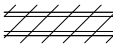
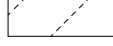
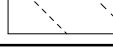
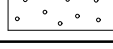
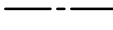
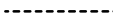


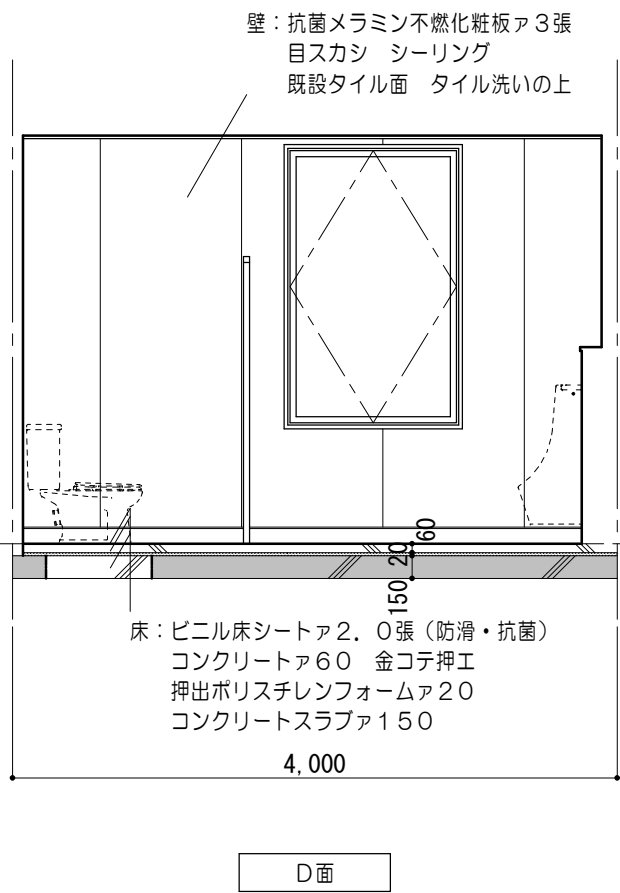
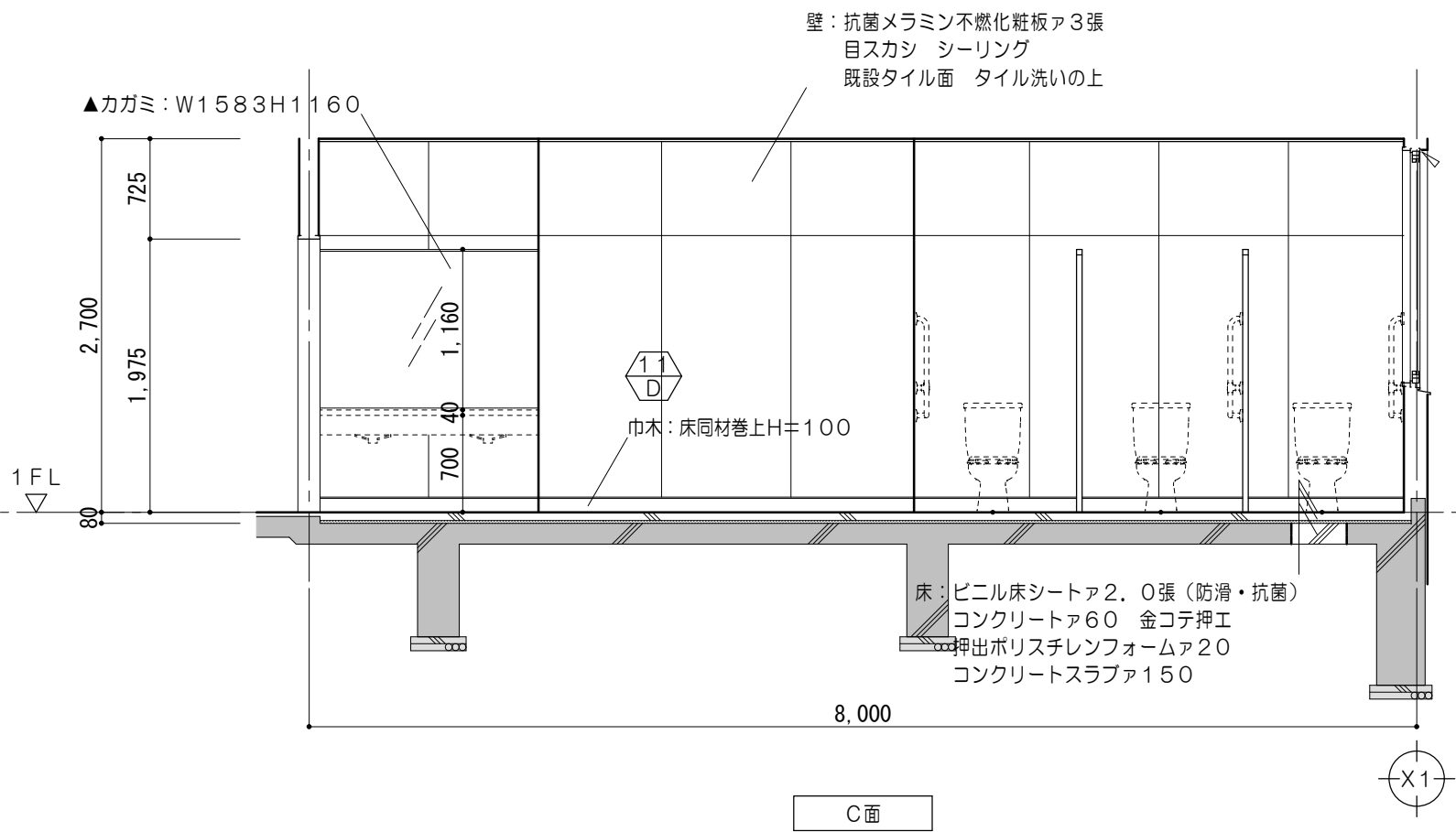
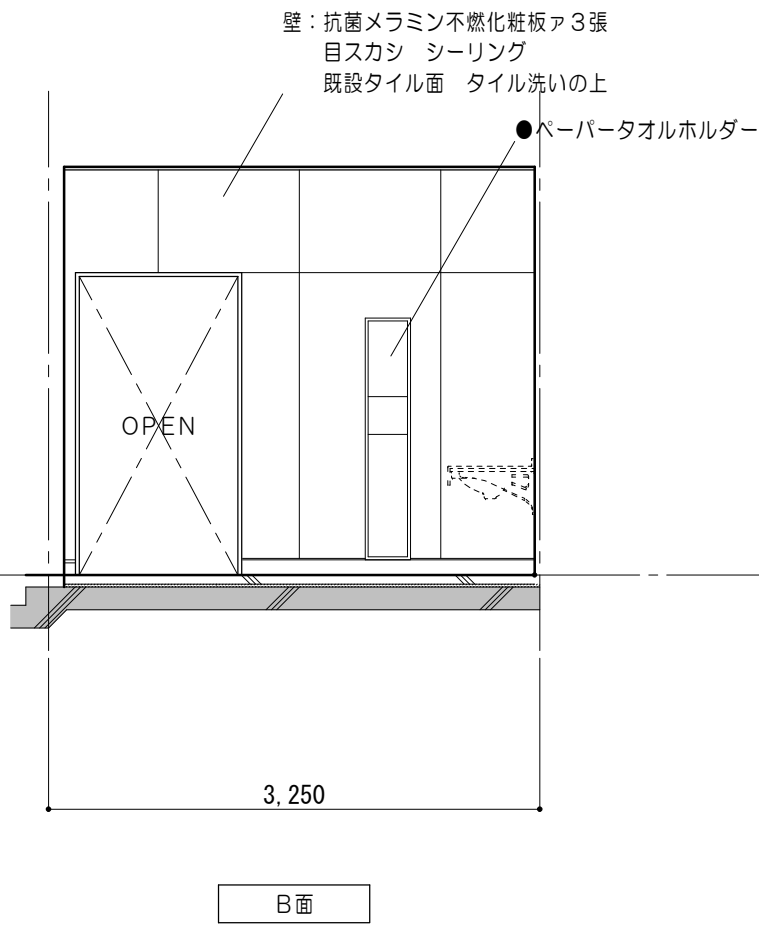
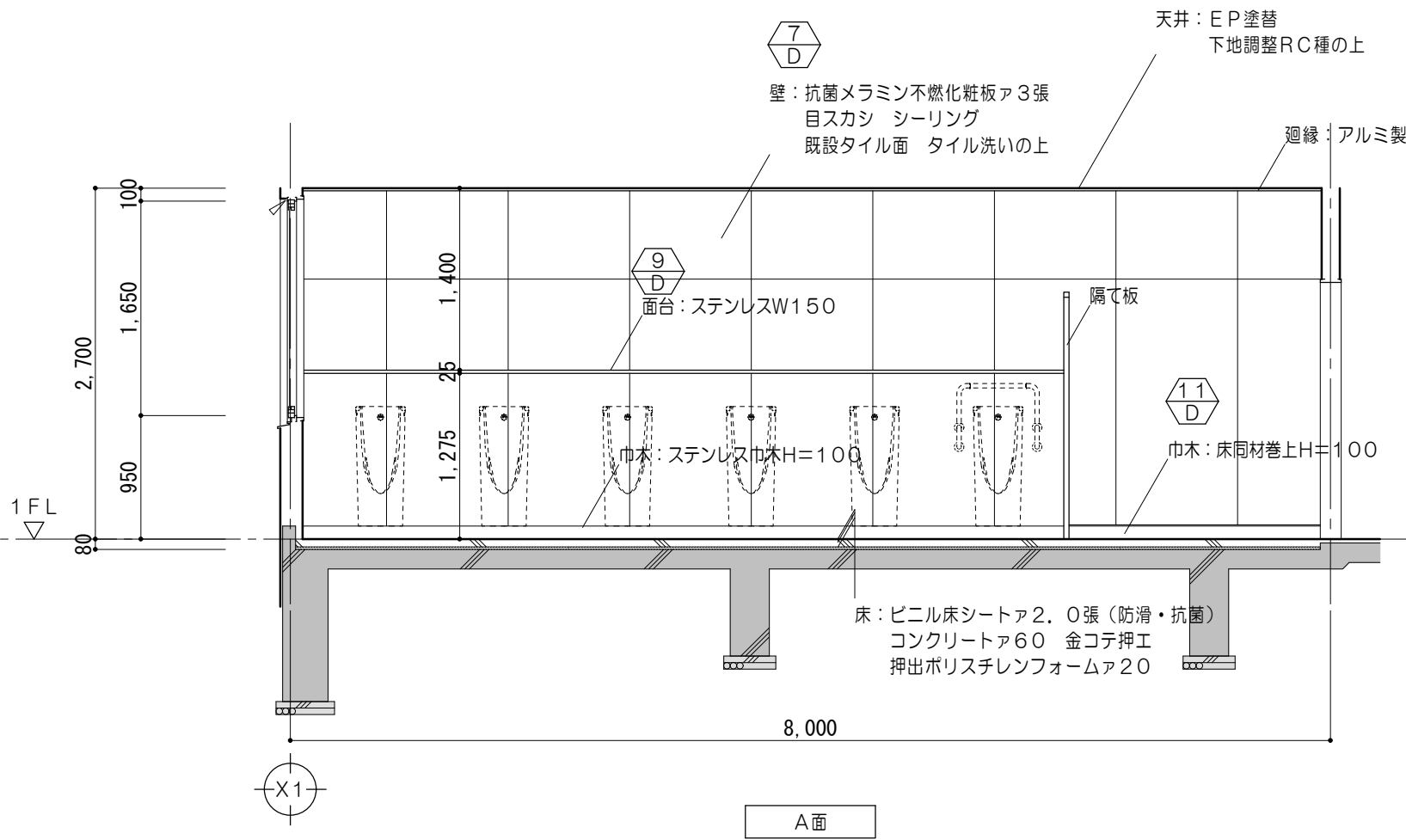
1 階 平 面 詳 細 図 1/50



凡 例					
△	壁芯		床仕上材 新設範囲を示す		香摺撤去・新設部分 床モルタル補修
▲	柱芯		床仕上材・下地材 新設範囲を示す		排水溝 モルタル詰め
114条区画・面積区画を示す (小屋裏屋根面まで) (一部新設)	一般F.L.からの床仕上高さを示す		床仕上材・下地材 新設範囲を示す コンクリート100 押出ポリスチレンフォーム (2種)	※1	建具撤去・新設影響部分 壁: LGS W100下地 強化PBA12.5+PBA9.5 (両面) 手すり: 2段手すり 新設 キックガード: 新設
シーリングを示す	既設のままを示す		床仕上材・下地材 新設範囲を示す コンクリート100~120 アスファルト防水層 モルタル15金コテ押工 押出ポリスチレンフォーム (2種)		
既設のままを示す	ステンレス香摺W40を示す 下部溝ハツリ		床仕上材・下地材 新設範囲を示す コンクリート100~120 アスファルト防水層 (既存アスファルト防水の上に増張とする) モルタル15金コテ押工		既設消火器 (備品) を示す
●	既設のままを示す				



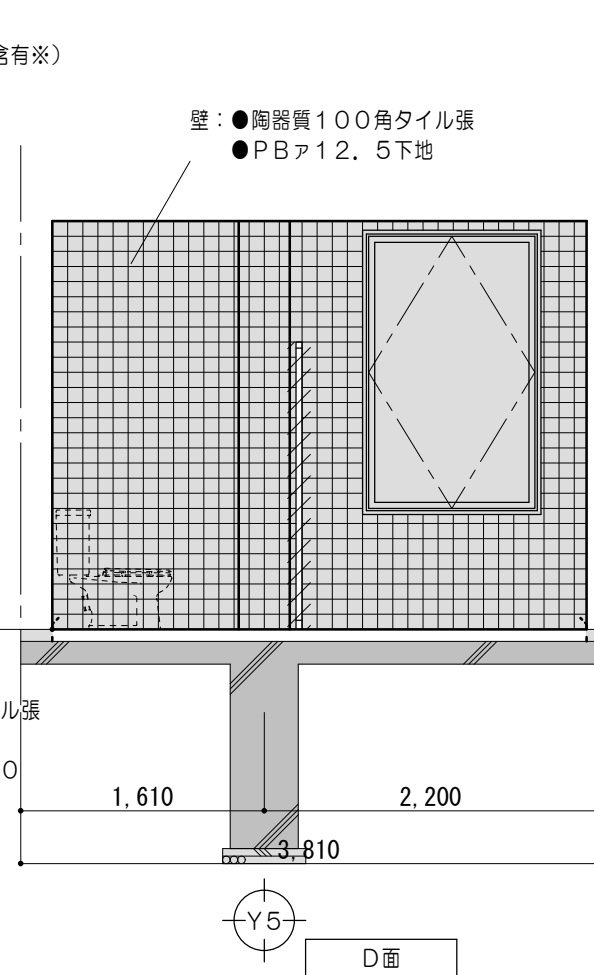
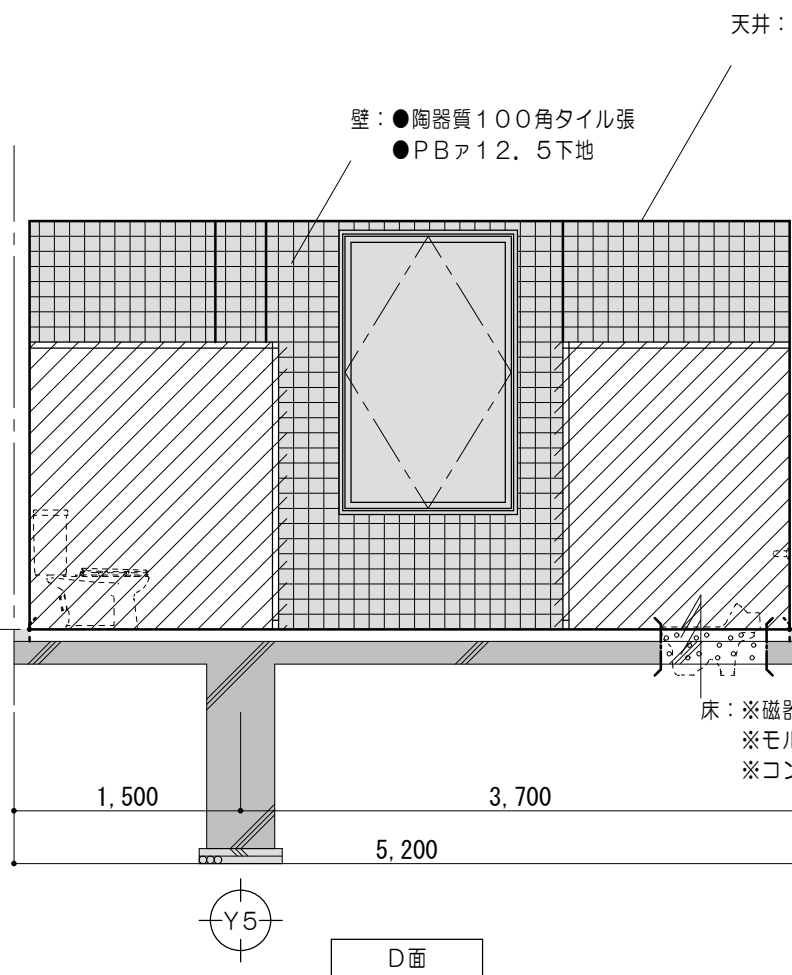
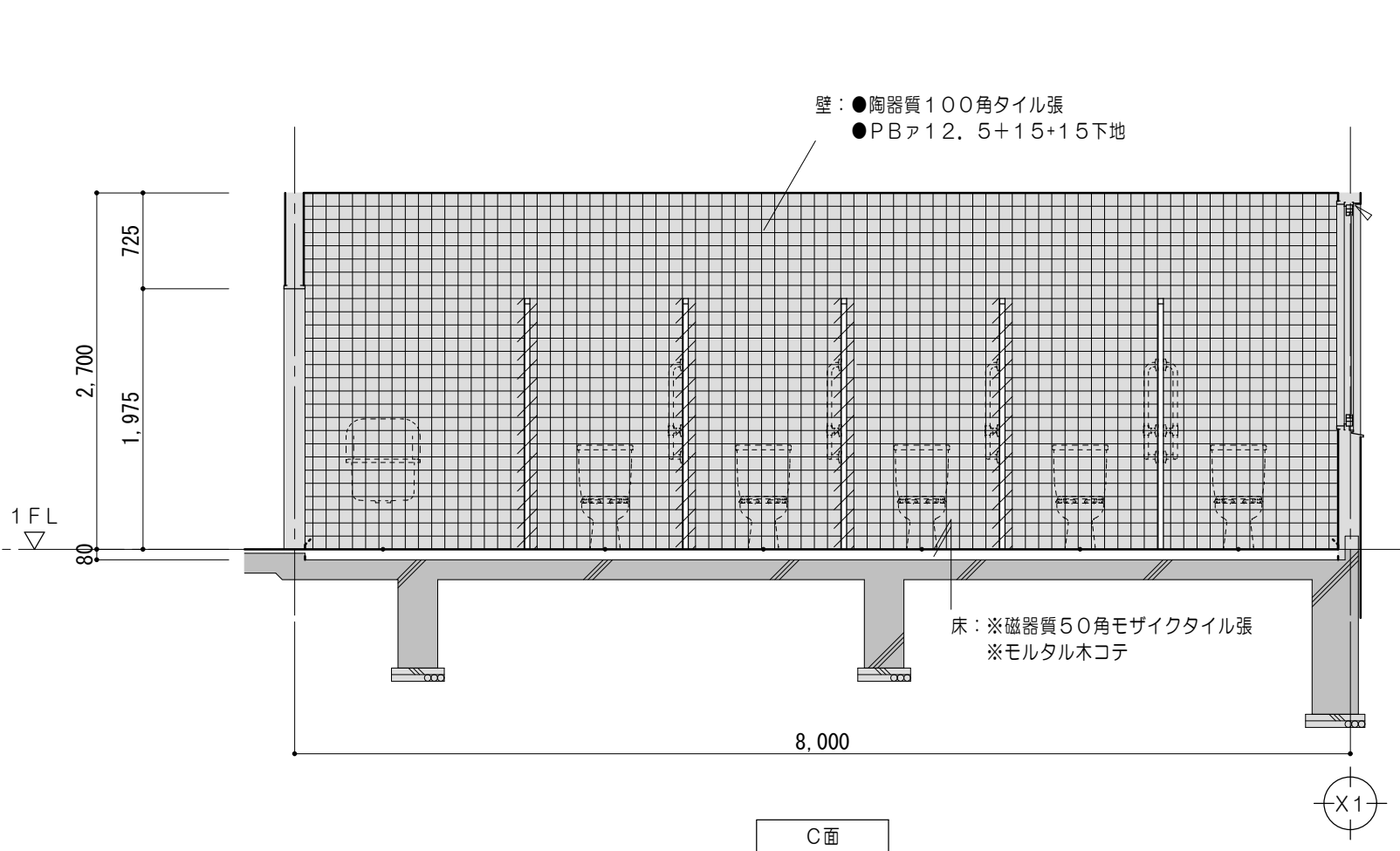
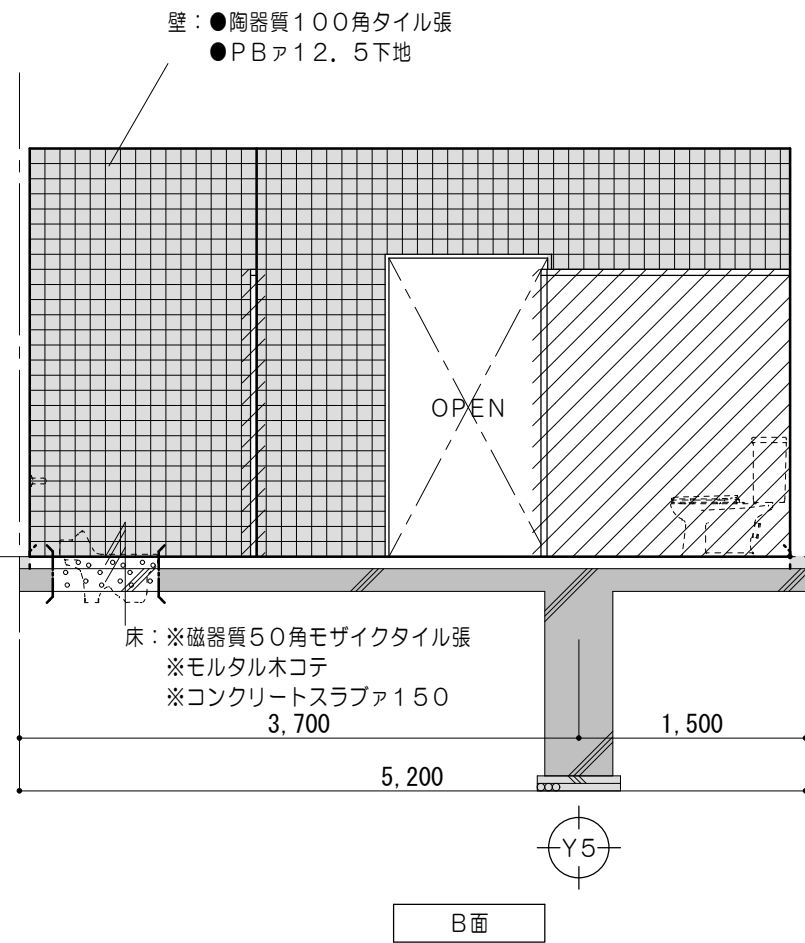
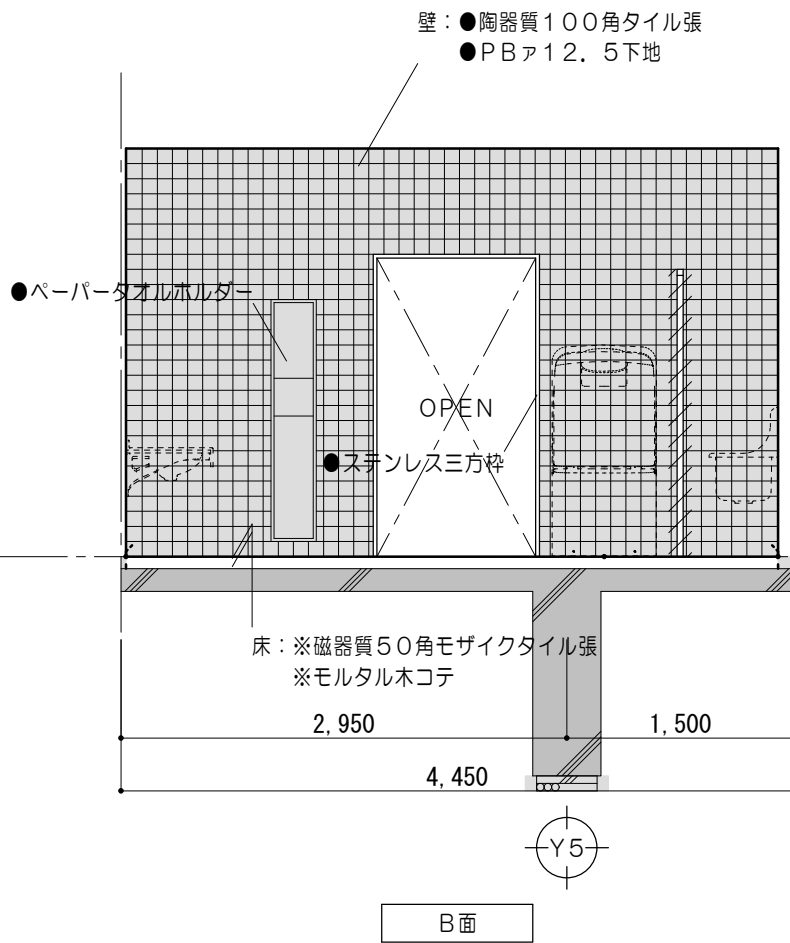
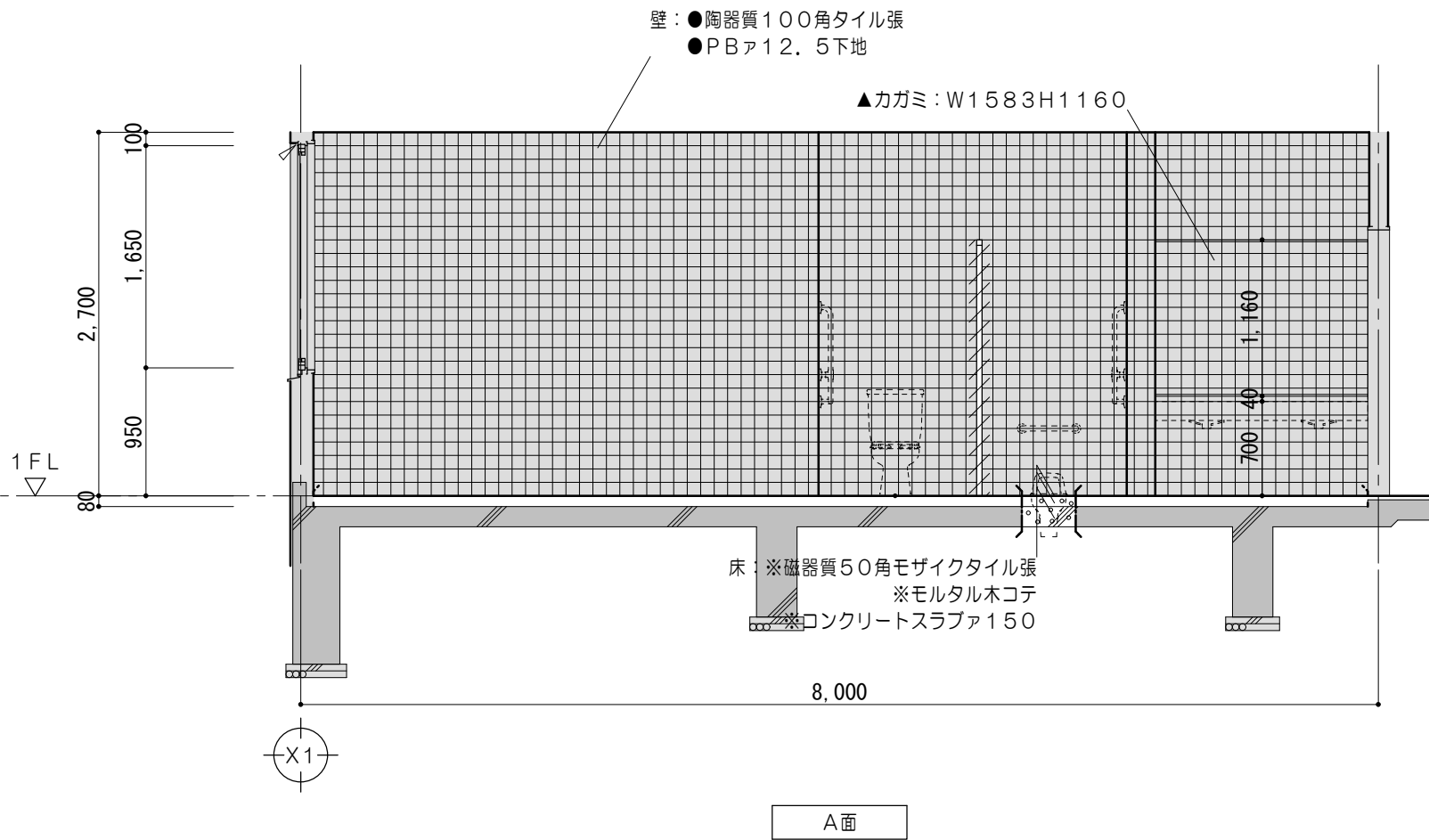
凡例 （工事内容）	
	既設躯体を示す
	既設のままを示す
	撤去間仕切壁を示す （LGS下地・建具共）
	壁仕上材 撤去範囲を示す
	壁仕上材・下地材 撤去範囲を示す
	床仕上材・下地材・コンクリート 撤去範囲を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗装を示す
※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事による。	
※（石綿含有※）の記載がある仕上は、アスベスト含有のものがあるものとして調査を行うこと。	



凡例 （工事内容）	
	既設躯体を示す
	取外し再取付を示す
	既設のままを示す
	各部詳細図番号を示す
※点線表記の衛生器具等は機械設備工事による。	

特 記 事 項		<div><div><div><div></div></div><div>MAINO</div></div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第3207846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図 <div>三橋 前田</div> 検図 <div>三橋 前田</div></div>	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事				設計日 R7/03/17						
	図面名称 改修後 1階展開図No.2（便所1（男））										縮 尺 A2:1/50 A3:1/70.5	図面番号 A043 (原図:A2)									





凡例（工事内容）	
	既設のまますを示す
	撤去間仕切壁を示す （LGS下地・建具共）
	壁仕上材 撤去範囲を示す
	壁仕上材・下地材 撤去範囲を示す
	壁仕上材・下地材・コンクリート 撤去範囲を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のまますを示す
◆	既設塗替を示す
※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事による。	
※（石綿含有※）の記載がある仕上は、アスベスト含有の おそれがあるものとして調査を行うこと。	

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式会社 前野建築設計

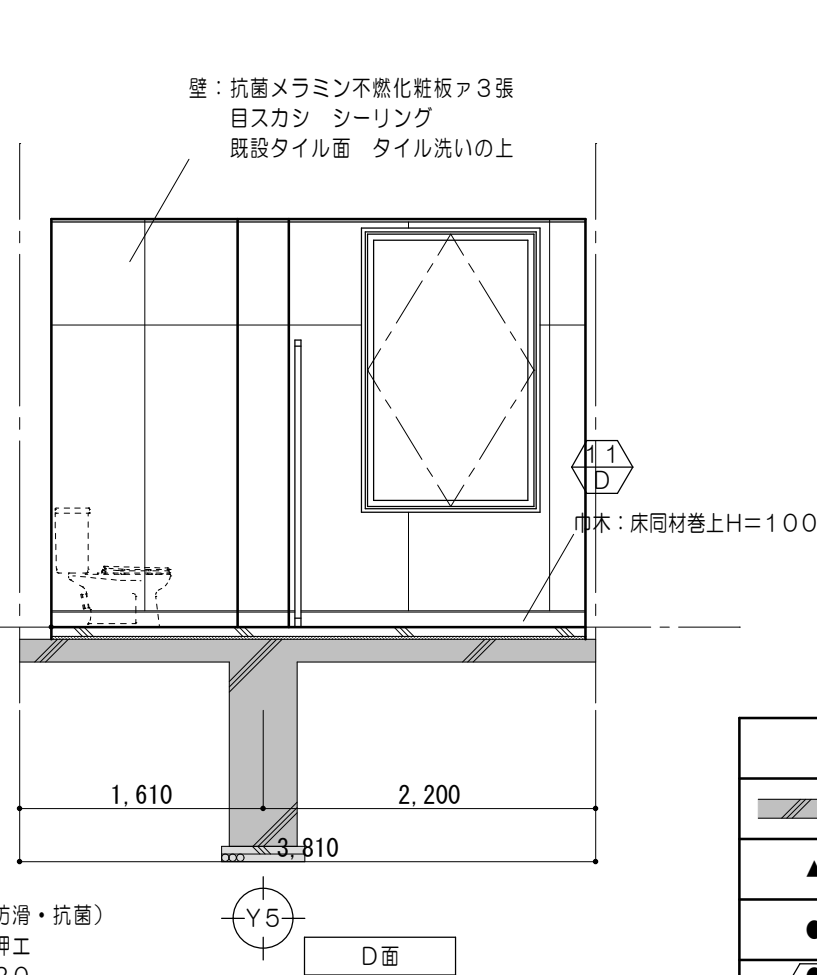
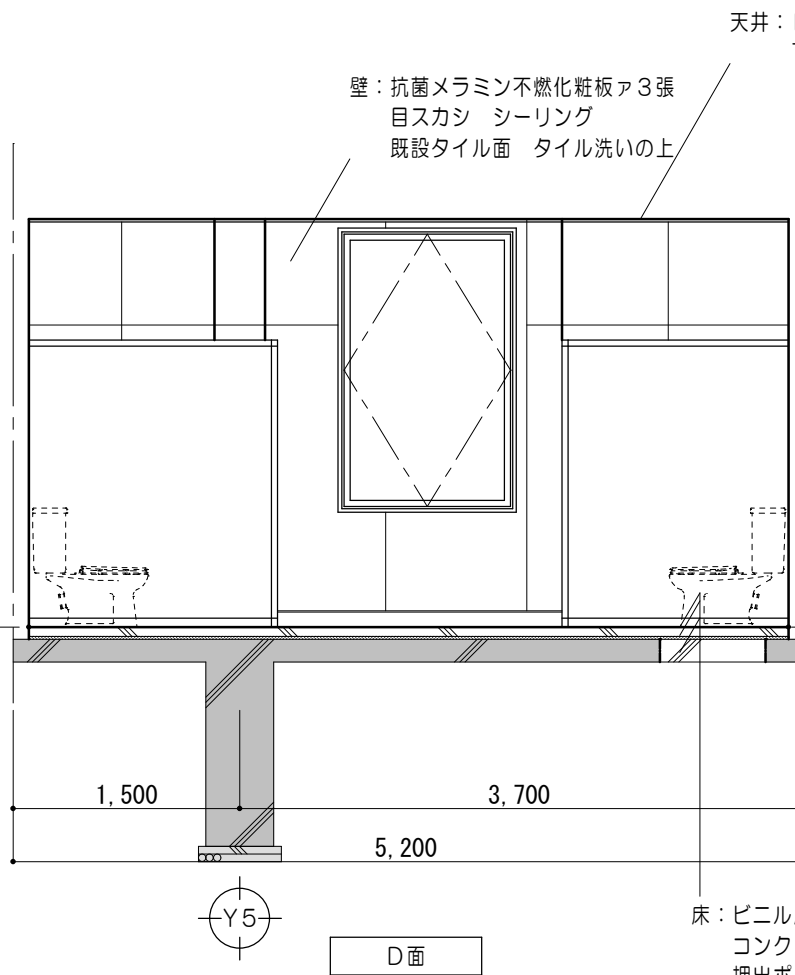
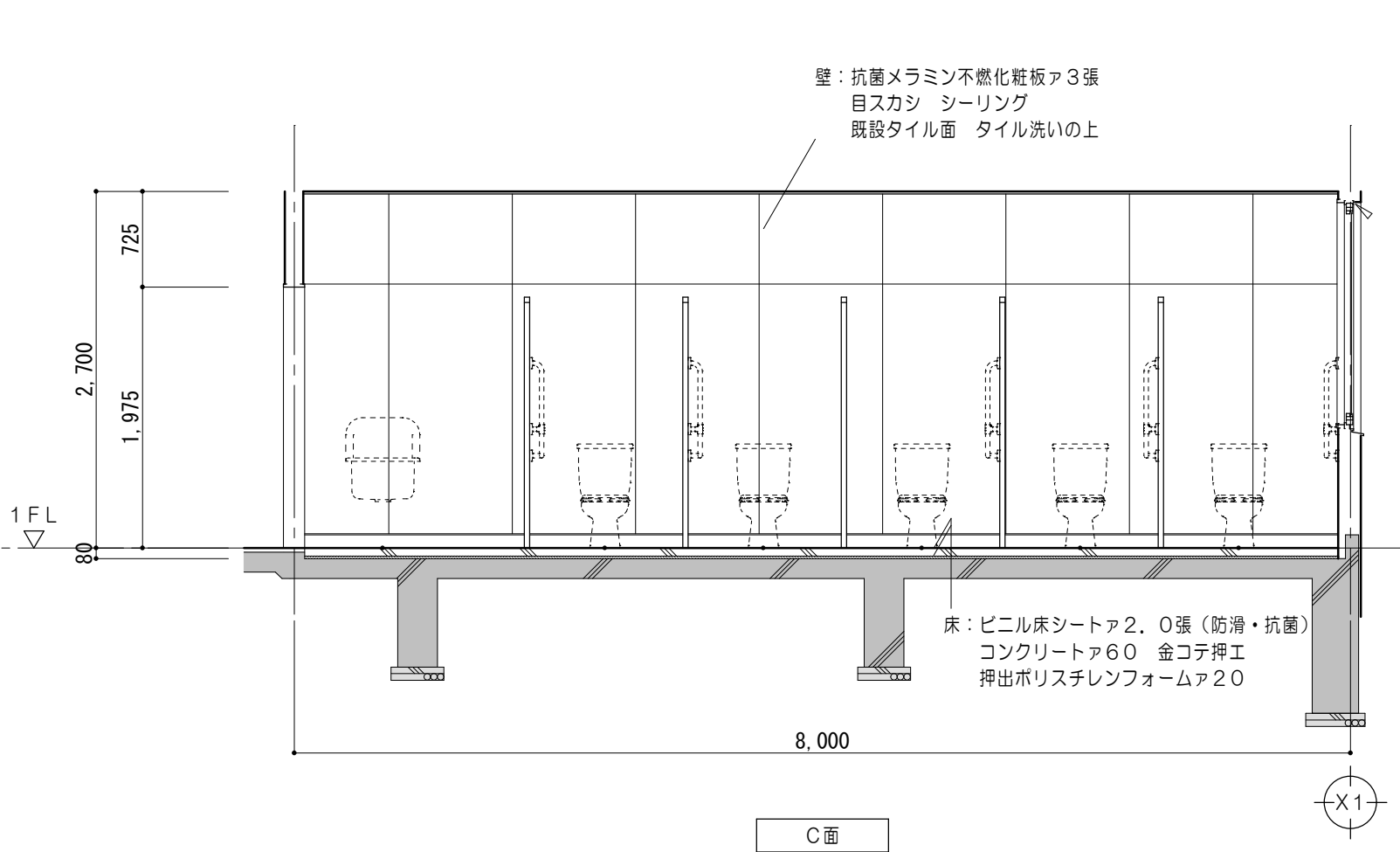
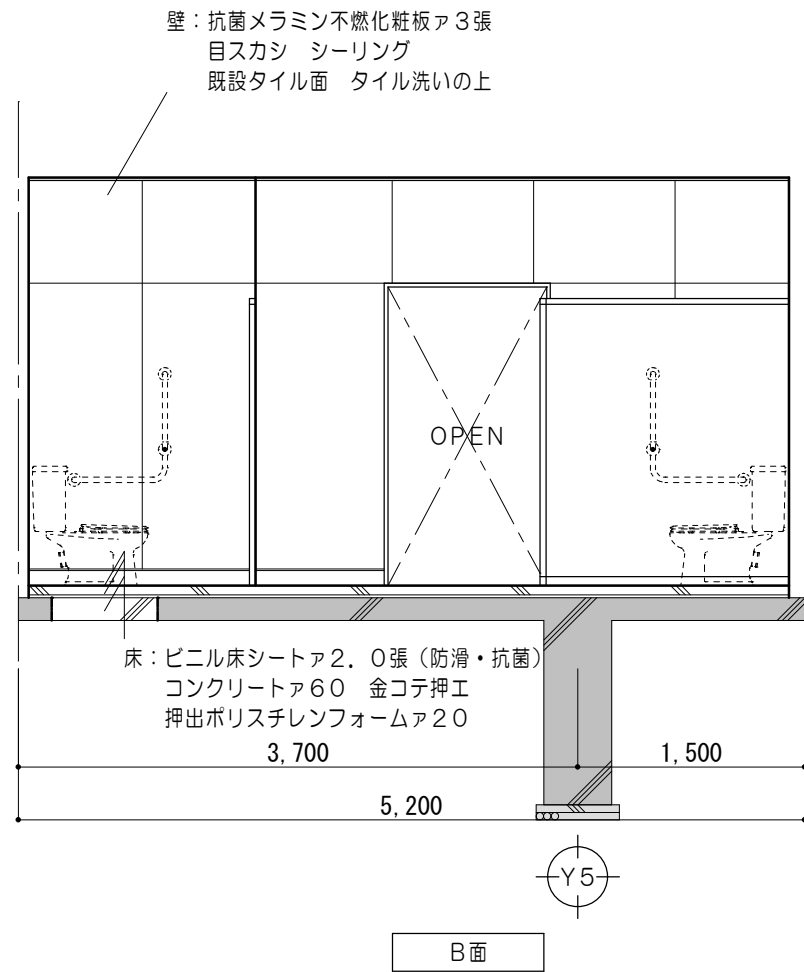
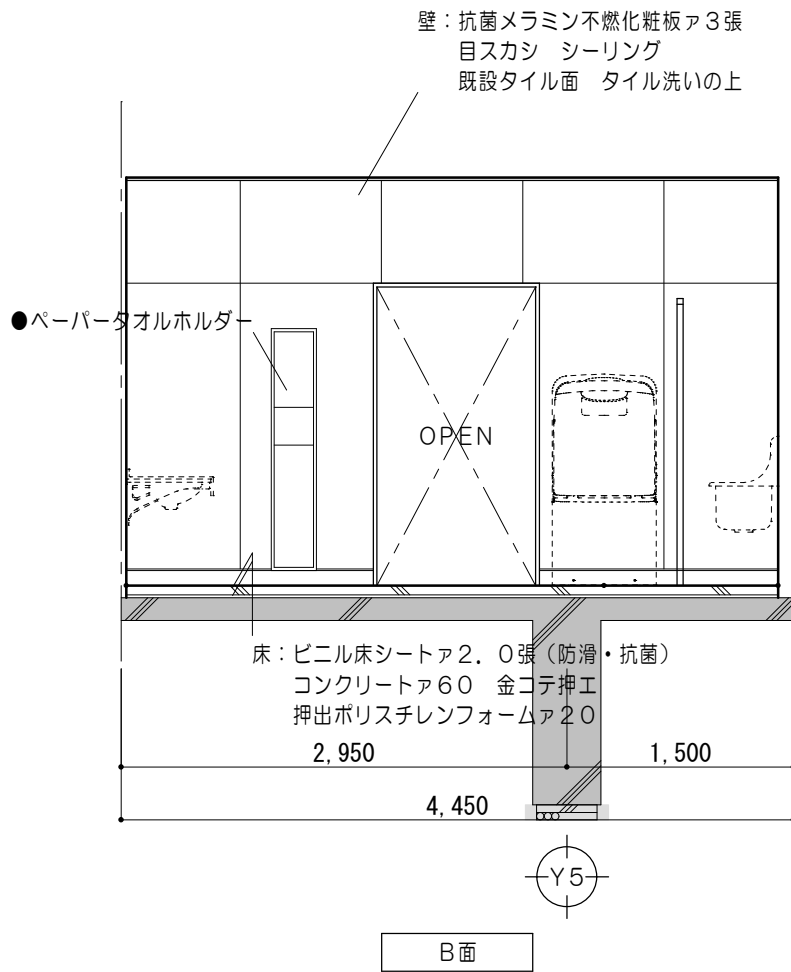
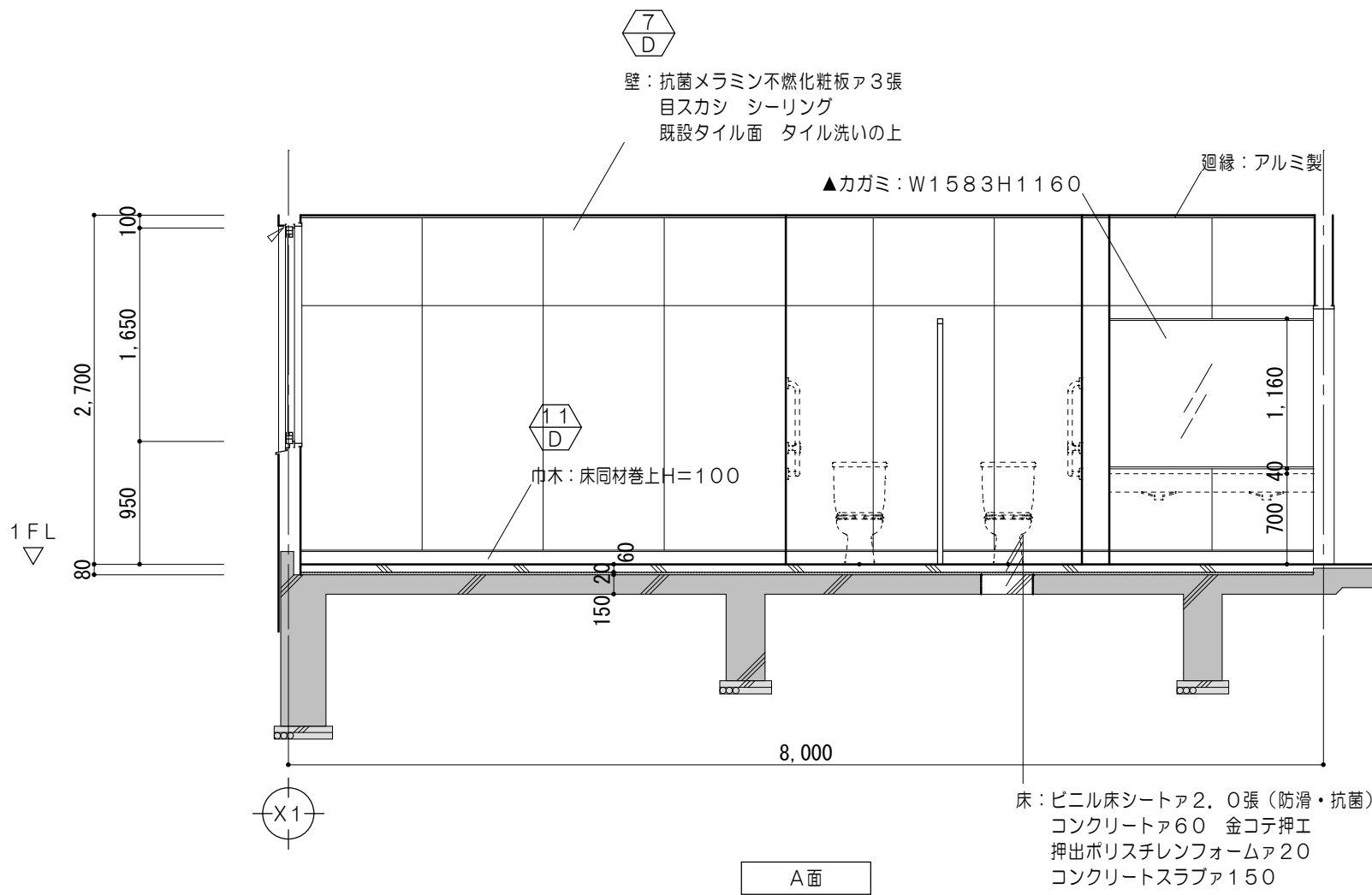
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当
-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------	------

法適合確認

作図 
検図 

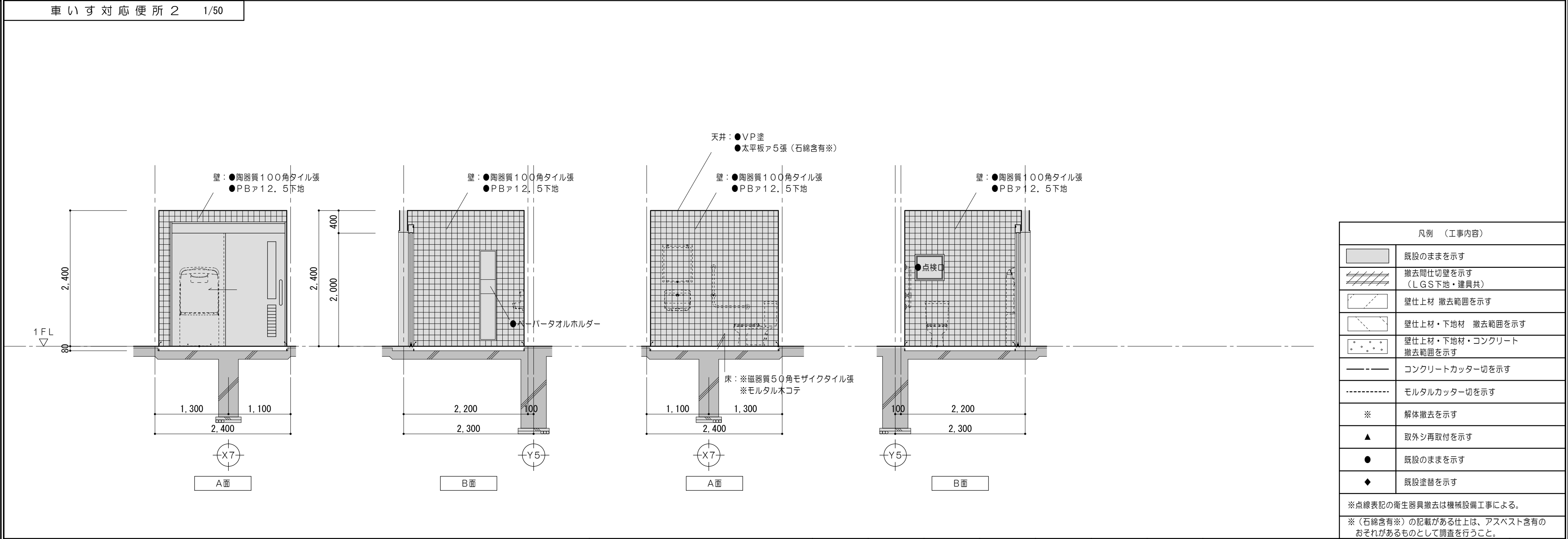
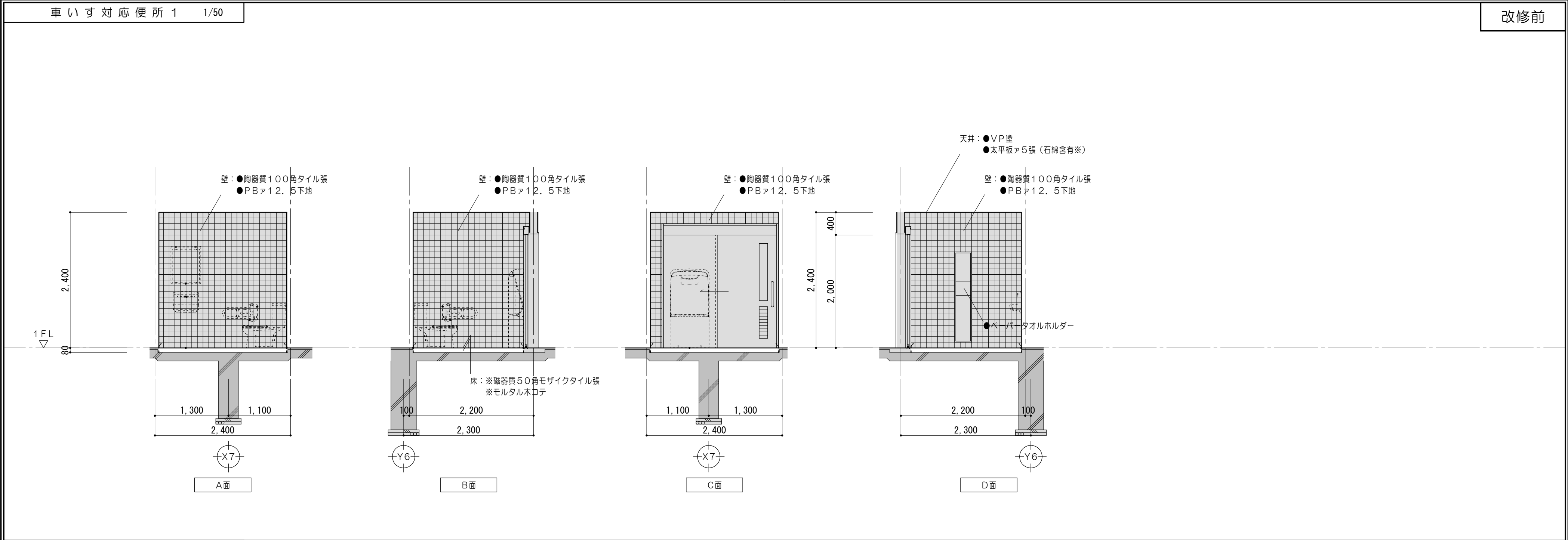
工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事	設計日 R7/03/17
図面名称 改修前 1階展開図No.3（便所1（女））	図面番号 A044 (原図:A2)
縮尺 A2:1/50 A3:1/70.5	



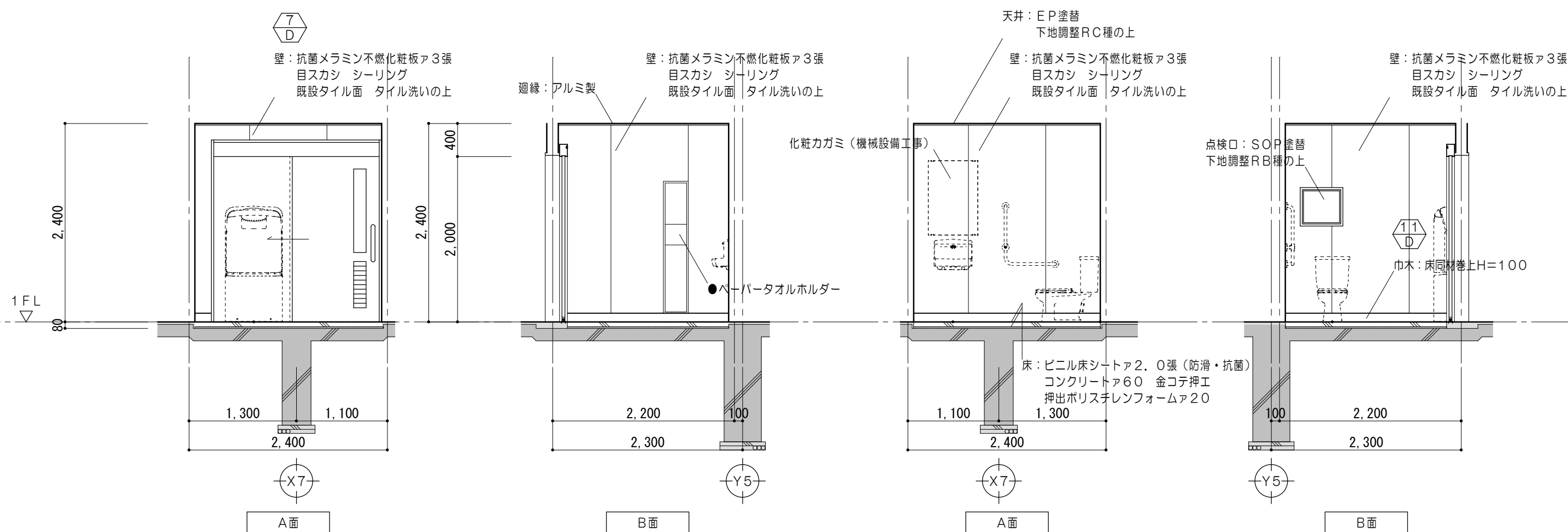
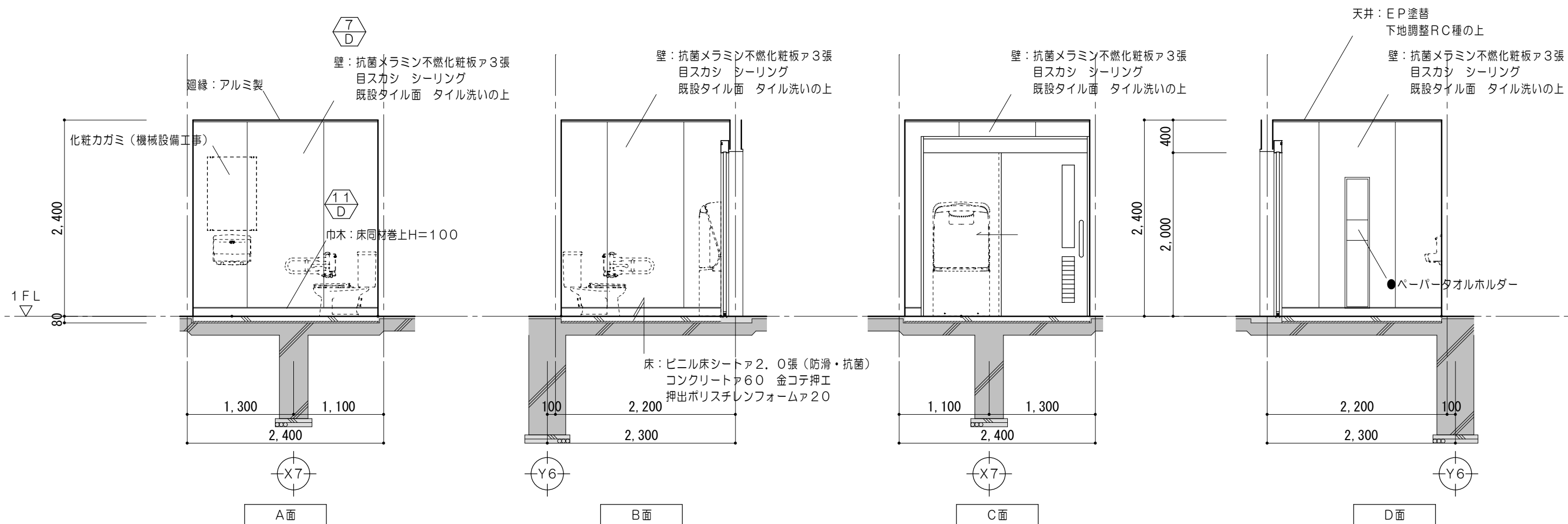
凡例（工事内容）	
	既設躯体を示す
	取外し再取付を示す
	既設のままを示す
	各部詳細図番号を示す
※点線表記の衛生器具等は機械設備工事による。	





特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-690号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 三橋 前田 検図 前田 三橋	工事名称 令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事 図面名称 改修後 1階展開図No.4（便所1（女））	縮尺 A2:1/50 A3:1/70.5	設計日 R7/03/17 図面番号 A045 (原図:A2)
---	--	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	------	------	-------	----------------------------	---	----------------------------	--



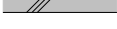
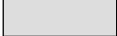

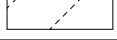
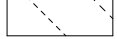
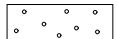

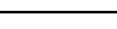
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	撤去間仕切壁を示す (LGS下地・建具共)
	壁仕上材 撤去範囲を示す
	壁仕上材・下地材 撤去範囲を示す
	壁仕上材・下地材・コンクリート 撤去範囲を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す
※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事による。	
※(石綿含有※)の記載がある仕上は、アスベスト含有の おそれがあるものとして調査を行うこと。	



凡例 （工事内容）	
	既設躯体を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	各部詳細図番号を示す
※点線表記の衛生器具等は機械設備工事による。	





	凡例 (工事内容)
	既設躯体を示す
	既設のまますす
	撤去間仕切壁を示す (LGS下地・建具共)
	壁仕上材 撤去範囲を示す
	壁仕上材・下地材 撤去範囲を示す
	床仕上材・下地材・コンクリート 撤去範囲を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のまますす
◆	既設塗替を示す

※点線表記の衛生器具撤去は機械設備工事にによる。

※(石綿含有※)の記載がある仕上は、アスベスト含有の  
おそれがあるものとして調査を行うこと。

